

天皇杯

全日本柔道選手権大会



結果・進行は
こちらから

令和7年

4/29 火祝

9:00開場
10:00開始

◎会場

日本武道館

東西線・半蔵門線・
都営新宿線
地下鉄「九段下」下車

◎テレビ放映

[NHK総合テレビ] 16:00~17:30(予定)
[NHK BS1] 13:45~15:50(予定)

Mobility Link

タイムズは、駐車場を含めたすべてのサービス拠点を、
快適なモビリティライフを送るために必要不可欠な場所に変え、
人々にとって魅力的な、モビリティ・リンクを形成していきます。



We make life better

当たり前になる快適さを、次々と。

(国内) パーク24株式会社 タイムズ24株式会社 タイムズモビリティ株式会社 タイムズサービス株式会社 タイムズコミュニケーション株式会社

パーク24ビジネスサポート株式会社 タイムズサポート株式会社 タイムズインベーションキャピタル合同会社

(海外) 台湾普客二四股份有限公司 TIMES24 SINGAPORE PTE. LTD. TIMES24 MALAYSIA SDN. BHD.

SECURE PARKING PTY LTD. NATIONAL CAR PARKS LIMITED

パーク24グループは、ニッポン柔道を応援しています。



大会会長
中村 真一

伝統の天皇杯全日本柔道選手権大会が、本年も日本武道館において盛大に開催されることを大変喜ばしく思います。

本大会は、体重無差別で「小よく大を制す」という柔道本来の醍醐味を味わえる、男子柔道の日本一を決める大会です。長年、柔道関係者のみならず、多くの方々からの注目を集め、数多くの名勝負が繰り広げられてきました。本年も、全国10地区から選出された選手及び前年の本大会、オリンピック、世界選手権で優秀な成績を収めた選手が、心技体の限りを尽くして頂点を目指します。加えて、本年はルールの改定があり、見応えのある試合が行われることを期待しております。

本大会に出場する選手の皆さんには、日本柔道界、そして社会全体を元気づけられるよう、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮し、またすべての柔道競技者の模範となるよう、常に礼節を重んじ、一本を取る柔道を目指して、正々堂々と戦っていただきたいと思います。

さて、本連盟では、現代社会における柔道の役割と価値を再定義すべく、長期育成指針を策定しました。「みんなの柔道」というスローガンのもと、多様性を認め合い、性別、年齢の違いや障がいの有無にかかわらず、全ての人々が個人の成長を感じ、助け合う。このような自他共栄の精神が広がっていくよう、活動を続けていきます。柔道競技者の皆様には柔道の「競技性」のみに固執せず、「人生の道」としての価値に焦点をあて、個人の成長、社会への貢献を目指していただきたいと思います。

おわりに、本大会を開催するにあたり、ご尽力いただいた関係各位に対し、厚く御礼を申し上げます。



目 次

大会次第	03
大会役員	04
大会要項	06
組合せ表	08
出場選手一覧	11
<hr/>	
【特別企画】	
前年優勝者インタビュー	中野 寛太 20
注目選手インタビュー	
令和6年全日本選手権準優勝	原沢 久喜 22
令和5年全日本選手権優勝	王子谷剛志 24
令和3年全日本選手権優勝	太田 彪雅 26
令和4年全日本選手権準優勝	影浦 心 28
令和4年東京都選手権優勝	佐藤 和哉 30
全日本選手権に挑む 軽量級＆中量級 五輪メダリスト＆世界王者 【永山竜樹・阿部一二三・橋本壯市・田中龍馬・田嶋剛希】	32
<hr/>	
予想座談会	35
出場選手データ	41
令和7年 地区予選主要記録	42
全日本柔道選手権の記録	55
令和6年 全日本柔道選手権大会 戦績表＆ダイジェスト	66
<hr/>	
【連載】全日本選手権を彩った名選手たち Vol.12	46
【特別寄稿】審判規程上の禁止技変遷 ~津村弘三~	50
<hr/>	
ルール	59
<hr/>	
優秀指導者表彰	57
大会係員	84
<hr/>	
2025世界選手権ブダペスト大会(6/13~6/20)日本代表	68

写真:講道館編輯部／(株)ジャパンスポーツコミッション／eJudo



開会式

1. 役員選手整列
2. 開会宣言 大会委員長 中里 壮也
3. 君が代斉唱
4. 会長挨拶 大会会長 中村 真一
5. 選手宣誓 選手代表 五段 橋本 壮市
6. 役員選手退場
7. 優秀指導者表彰
8. 記者クラブ表彰
9. 投の形 取 六段 瀧本 誠
受 五段 藤中 拓馬

試合

1. 一回戦 15試合
2. 二回戦 16試合
3. 三回戦 8試合
4. 四回戦 4試合
5. 柔の形 取 女子二段 茂木 琳華
受 女子三段 川原 輝子
6. 準決勝戦 2試合
7. 五の形 取 七段 福地賢志郎
受 六段 新井 栄二
8. 決勝戦

閉会式

1. 役員選手整列
2. 成績発表
3. 表彰
4. 閉会宣言 大会副委員長 道場 良久
5. 役員選手退場



大会役員

〈敬称略・順不同〉

【名誉会長】	上村 春樹	山下 泰裕				
【会長】	中村 真一					
【副会長】	伊藤 鉄男	西田 孝宏				
【顧問】	中村 史郎	稻葉 延雄	高村 正彦	室伏 広治	寺門 成真	遠藤 利明
	石井 淳子	冲永 佳史	楠 芳伸	迫田 裕治		
【参与】	二村 雄次	福田 富昭	西川 徹矢	嘉納 明石	小堀 秀毅	内海 章雄
	森 吉平	村田 啓子	東 行雄	天野安喜子	井手 孝浩	大迫 明伸
	尾形 敬史	小野沢弘史	川口 孝夫	小俣 幸嗣	塙澤 一彦	須坂 春樹
	高梨 幸輔	田中 等	千葉 翠	塙原 光男	鳥海又五郎	中谷 雄英
	谷本 歩実	藤田 弘明	細川 伸二	松本 秀作	諸井 三義	柳澤 久
	山本 洋祐	山本 四郎	佐藤 宣践	関 勝治	園田 勇	五十嵐寛司
	中村 良三	遠藤 純男	梅津 勝子	棟田 利幸	福島美智男	三上 和廣
	北 哲郎	加藤 弘人	郷田 博史	春日井淳夫	松井 黙	小志田憲一
	鯨島 元成	本郷 亮	小野山修平	高山 健	山本 国博	黒田 一彦
	鳥居 吉二	八木木通秋	辻本 修	正木 嘉美	山藤 哲夫	寛藤 次男
	小形 健二	中村 佳央	兒玉 篤	神谷 兼正	天野 玲子	高村江津子
	渡辺 涼子	塗師 純子	松田 基子	中村 淳子	田中秀一郎	近藤 智子
	北村 康央	前田 肇	佐藤 信英	御嶽 知昭	増地千代里	吉田 秀彦
	岩下 富夫	古川 隆士	藤村 利行	有井 克己	吉村 昭吾	大西 誠
	穴井 隆信	矢野 賢悟	徳田 真三	薪谷 翠	田川 晋治	奈木 宏昌
	蘭 信三	石角 洋子	岩田 三代	大江裕一郎	大森三起子	尾崎久仁子
	桐原 弘毅	久保啓太郎	坂本 森男	清水 昭子	園田 教子	塙崎 裕子
	樋口 真人	宗岡 正二	近石 康宏	梶木 壽	笹木 正信	野瀬 清喜
	岡泉 茂	小池 雅彦	吉田 敏男	山岸 裕二	赤羽由加子	高橋 進
	鎌塚 智樹	森 英也	鯨井 甫	山本 良	山田 利彦	上水研一朗
	仮屋 力	三上 靖夫	松永 大吾	神谷 宣広	井汲 彰	吉田 優也
	山部 佳苗	柿元 將希	磯村 元信	中村 美里	年藤 忍	平岡 拓晃
	木村 昌彦	小山 勝弘	與儀 幸朝	石井 孝法	山田 永子	増地 克之
	穴井 隆将	吉澤 穂波	岩崎 満	立川 克雄	平賀 秀忠	藤木 崇博
	川人 芳正	上田 重隆	正司 直樹	豊嶋 弘文	平間 哲雄	村上 幸士
	清水 定明	鈴木 賢一	中島 政司	向井 廣志	米山 徳彦	貝沼 尚
	津金 武寿	平田 裕康	中西 茂宏	野田 昭一	河原 月夫	今尾 省司
	河本 英典	古川 博史	高澤 雅樹	前田 秀司	高橋 一之	小茂田博文
	高木 謙治	小茂田 敦	佐原 恭輔	河津 修司	鳥居 敏文	上江洲智明
	川端 達夫	吉川 英夫	大杉 住子	中村 宇一	田中 秀和	長尾 淳彦

全日本柔道選手権大会

【委員長】中里 壮也

【副委員長】道場 良久

【委員】貝瀬 輝夫	石橋 桂子	秋山 澄子	若松 節子	菅波 盛雄	菅原 正明
永井多恵子	齋藤 芳才	鷹津 誠	宇津木俊博	宗 義明	佐藤 幸夫
森脇 保彦	坂本 恒夫	三浦 照幸	平 文紀	佐藤 勝	花岡 重喜
塩野 知継	榎 義治	伊志嶺朝秋	河崎 武夫	笹田 岩生	廣川 充志
石川 美久	佐藤 武尊	射手矢 岬	横山 喬之	久保田浩史	小谷 泰則
松岡 義之	貝山 仁美	諫訪 剛	鉢谷 竜三	大川 和也	小嶋 新太
金丸 雄介	塘内 将彦	小橋 秀規	加瀬 次郎	高橋 慎三	大島 修次
原田 新一	岩村 衡	福地賢志郎	高橋 宏明	千品 洋一	竹澤 稔裕
新井 栄二	山本 弘樹	斎藤 制剛	瀧本 誠	岡村 忠彦	竹渕 典子
中島 裕幸	奥 超雄	内海まゆみ	瀧名三代子	灰原 茉美	手島 奈美
萩野 元祐	橋本 真二	柳浦 康宏	竹内 猛	田村 和也	鮫島 康太
紺野 直能	大澤 利之	齊藤 志織	坂下 誠	高木 志貴	大竹 雄介
井上 芳明	西幅 孝弘	佐久間俊輔	平野 弘幸	向井 幹博	山本三四郎
眞喜志慶治	南保 徳双	大辻 広文	下山 陽邦	秋山日向子	長沼 太
桐生 習作	畠山 洋平	藤中 拓馬	岩永 憲門	有川 勇貴	増田沙由美
芝 明朗	田知本 遥	小倉 茂	平野 武士	深沢 規夫	木田 将量
岩渕 公一	永福 栄治	川島 一見	大八木 諭	岡部 洋興	浅田 千秋
本田 宗哉	小山 泰文	西村 義人	吉井 利夫	山田 保行	青木 富雄
松戸 鶴男	濱田 政盛	渡邊 建一	川嶋 直司	牧瀬 敏文	星野 博
市島大二郎	榎木 豊秀	瀧本 敏典	尻無 清孝	砂田 慶二	菊地 雄司
長内 康生	園田 雅明	高橋 健司	田辺 陽子	前瀧 大吾	石留 靖之
河野 文彦	赤澤 良太				

【実行委員長】中里 壮也

【実行委員】郷田 博史	加藤 弘人	道場 良久	松井 勲	小志田憲一	春日井淳夫
高山 健	西田 孝宏	岡泉 茂	大迫 明伸	山田 利彦	鳥海又五郎
永福 栄治	松本 麻美	福田 健二	向井 幹博		

【審判長】鯨井 甫

【審判委員】山本 良

【審判員】安藤 弥	金子 将也	武田 淳子	松本 勇治	大島 修次	岡田 保彦
鉢谷 竜三	眞喜志慶治	近藤 克幸	兒玉 篤	松田 基子	福岡 幸司
濱岡 瞳月	中橋 政彦	伊志嶺朝広			

【決技判定員】向井 幹博

【大会事務局】(事務局長)

(事務局員)	黒田 正人	大塚 由香	竹村 誠司	蒲原 光一	渡辺 崇
	関口 裕喜	多田 美穂	三浦 健一	時田 瞳	向井 幹博
	山本三四郎	南保 徳双	大辻 広文	仮屋 力	長沼 太
	畠山 洋平	金子 浩幸			

大会要項

- ①期 日** 令和7年4月29日(火・祝)午前10時00分開始(9時00分開場)
- ②会 場** 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5100
- ③主 催** 公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟
- ④後 援** 朝日新聞社、NHK、公益財団法人日本武道館
- ⑤特別協賛** 東洋水産株式会社
- ⑥参加選手**
- (1)推薦選手
 - ①前年度優勝者、2位入賞者
 - ②2024年パリオリンピックメダリスト(団体戦を除く)
 - ③2024年世界柔道選手権大会優勝者(団体戦を除く)
 - (2)地区選出選手
40名とし、地区別の選出数は以下のとおりとする。
- | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 北海道 | 東北 | 関東 | 東京 | 北信越 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
| 2 | 2 | 6 | 10 | 2 | 2 | 6 | 2 | 2 | 6 |
- (3)欠場の取り扱い
- ①推薦選手が欠場する場合は、これを補充しない。
 - ②地区選出選手が欠場する場合
 - (ア)欠場が出た地区がこれを補充する。
 - (イ)地区が補充できない場合には、開催地区(東京)がこれを補充する。
 - (ウ)欠場の補充は、令和7年4月25日(金)12:00までに届出のあったものまで認める。
- ⑦出場資格**
- (1)日本国籍を有し、当該年度全日本柔道連盟に登録している者。
 - (2)地区選出選手は、その地区を構成する都道府県柔道連盟(協会)を通して、前年度の全日本柔道連盟登録手続きを行っており、その地区において居住、勤務、在学の実態の伴ういずれかの条件を満たしていること。
 - (3)卒業、転勤等により、実態の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の変更がある場合には、変更先の地区から出場することができる。ただし、この場合は速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。
- ⑧地区大会及び** (1)各地区柔道連盟(連合会・協会)は、地区大会の日時・場所等が決定次第、大会事務局(講道館)まで連絡すること。
- 参加申し込み** (2)各地区柔道連盟(連合会・協会)は、必要事項を記入した所定の選手名簿に地区大会の記録を添付し、令和7年3月20日(木・祝)迄に大会事務局に必着するよう提出すること。
- (3)選手は、令和7年3月20日(木・祝)迄に全柔連HPから参加申込フォームに回答すること。
- ⑨審判規定**
- (1)国際柔道連盟試合審判規程および全日本柔道選手権大会申し合わせ事項にて行う。
 - ①試合時間は、準決勝まで5分間、決勝戦は8分間とする。
 - ②スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は、20秒間で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
 - ③「指導」による罰則は、4回目が与えられた時点で「反則負け」とする。
 - ④試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する。判定基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。
 - ⑤立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とする。
 - (2)試合場は、10m×10mの試合場内とし、周囲に4mの安全地帯を設ける。
 - (3)2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。※詳しくは別紙参照全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。(主催者は予備の柔道衣を準備しない)
 - (4)また、今大会は、衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で2着分用意することを推奨する。
- ⑩試合方法** トーナメント戦で行う。(敗者復活戦は行わない)
- ⑪組合せ抽選** 令和7年3月27日(木)講道館において行う。
- ⑫選手経費** 交通費および宿泊費は主催者が、規定に基づいて支給する。航空券及び特急券を含むJR乗車券等は、主催者が手配してチケットを送付する。
※交通の申し込み方法については、別紙申込書を参照のこと。
- ⑬審判会議** 令和7年4月28日(月) 17:00~18:00 講道館本館3階 第1会議室にて行う。
- ⑭選手説明会** 令和7年4月28日(月) 15:00~ 講道館新館2階 教室にて行う。

全日本柔道選手権大会

⑯表 彰 優勝者、2位、3位(2名)、5位(4名)を表彰する。

⑯ドーピング検査 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

⑰その他 (1)皮膚真菌症(トランスラント感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(2)脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。

- ・大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
- ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。

(3)傷害保険については、出場選手の傷害保険は、主催者が加入しその費用を負担する。本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負いません。

(4)個人情報、肖像権の取り扱いについて

- ・参加申込フォームに記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。
- ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信があることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
- ・大会時に撮影する映像(ケアシステム等)を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
- ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
- ・参加申込フォームへの記載により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記に関する承諾を得たものとして対応する。

(5)大会事務局

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30

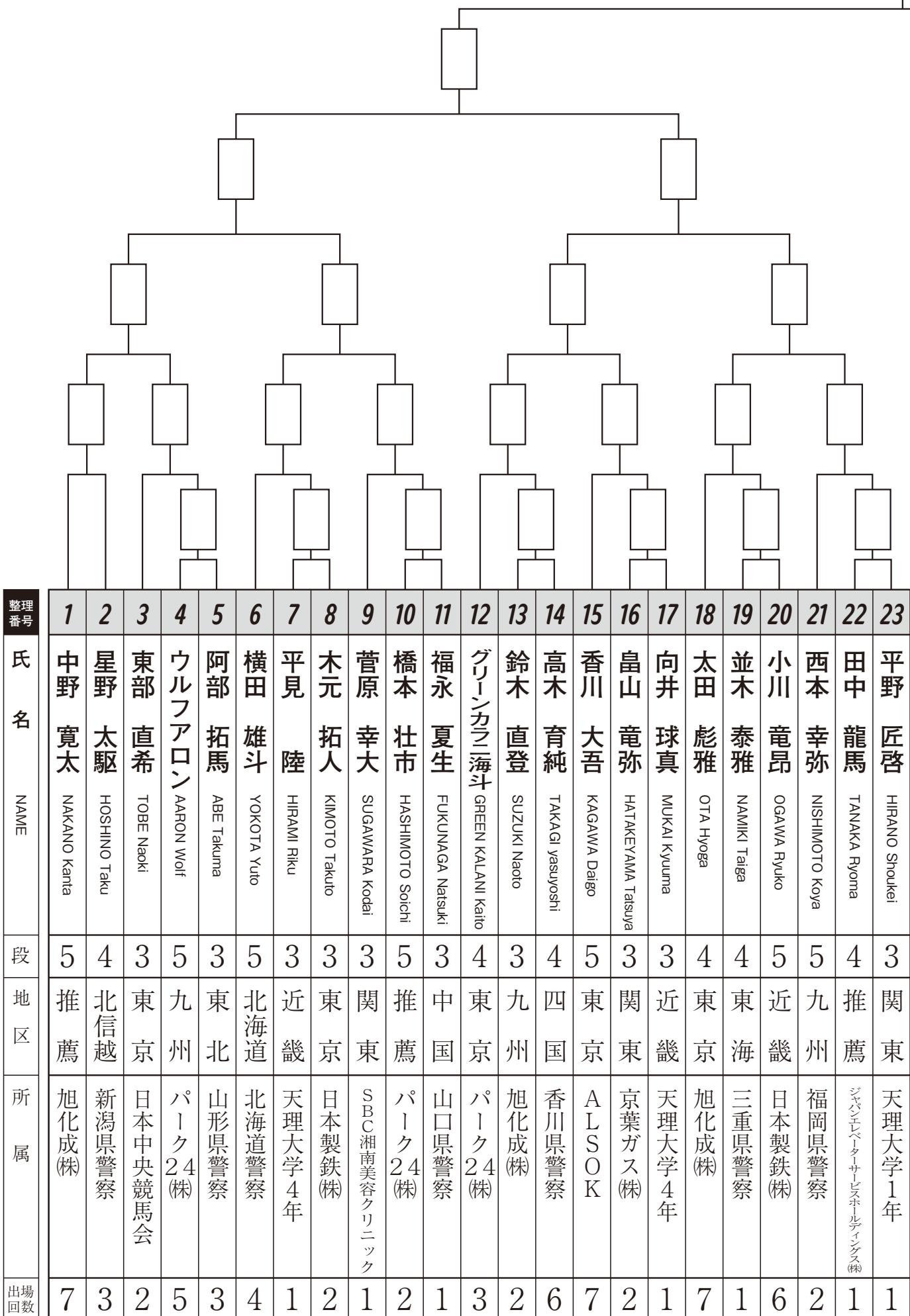
公益財団法人講道館 総務部

TEL 03-3811-7152／FAX 03-3811-7151／E-mail soumu@kodokan.org

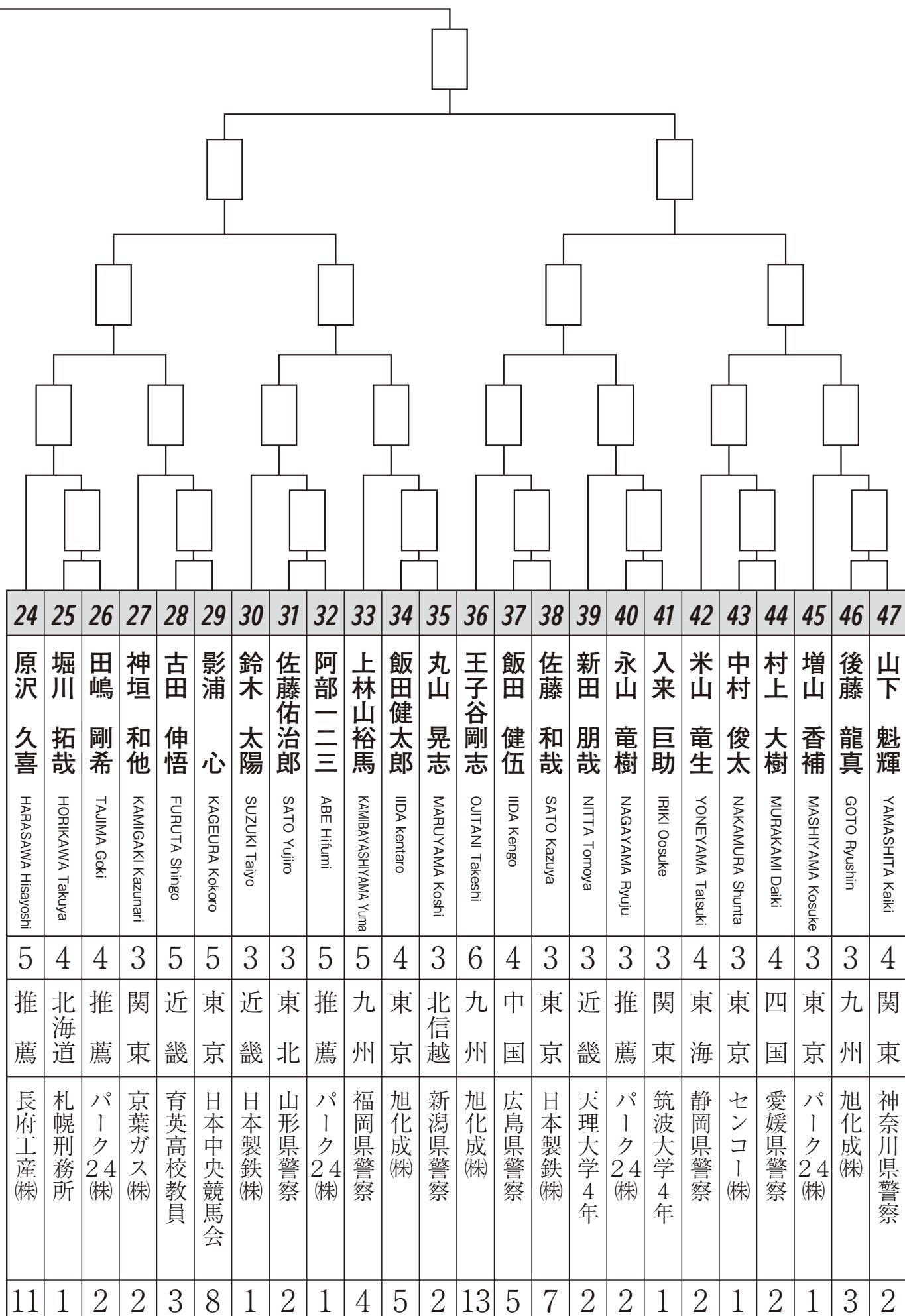
【大会日程】

期日	時間	内容	場所
4月28日(月)	14:30～	選手受付(ID支給)	講道館新館2階 教室
	15:00～	選手説明会	講道館新館2階 教室
	17:00～18:00	審判会議	講道館本館3階 第1会議室
4月29日(火・祝)	08:30～	選手開場	日本武道館
	09:00～	観客入場	
	10:00～	開会式	
	17:30～	閉会式	

組合せ表 令和7年全日本柔道選手権大会



全日本柔道選手権大会





マルちゃん 焼そば



マルちゃん焼そば
3人前の味を
カップ焼そばで再現!

令和7年

全日本柔道選手権大会

出場選手一覧

整理番号	地区
なまえ	名前
① 生年月日(年齢)	段位
② 身長・体重	
③ 出身校	
④ 出身道場	
⑤ 予選出場都道府県	
⑥ 所属	
⑦ 出場回数	
主な戦績	
※全日本シニア選手権大会は開催年度を表記	
大会への意気込み	

選手
プロフィール
記載内容



1 推 薦
なかの かんた
中野 寛太 五段

- ①平成12.9.30(24歳)
- ②182cm・133kg
- ③天理中学校・天理高校・天理大学
- ④桜井市柔道連盟
- ⑤
- ⑥旭化成株式会社
- ⑦7回目

R6全日本選手権優勝/R5講道館杯(+100kg)優勝/2024GS/パリ(+100kg)3位/2024GS東京(+100kg)優勝/2025GS/ワールド(+100kg)3位

今年も全日本選手権に出場できることを嬉しく思うと共に誇りに感じています。2連覇に挑戦できる喜びを噛み締めながら挑みたいと思います。



2 北信越
ほしの たく
星野 太驅 四段

- ①平成10.11.17(26歳)
- ②180cm・120kg
- ③相原中学校・作陽学園高校・東海大学
- ④白根柔道連盟鳳雛塾
- ⑤新潟県
- ⑥新潟県警察
- ⑦3回目

R2全国体育柔系学生 (+100kg)優勝

全日本選手権に出場できることを嬉しく思います。強い選手ばかりなので一戦必勝で感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。



3 東 京
とうべ なおき
東部 直希 参段

- ①平成11.7.13(25歳)
- ②172cm・118kg
- ③大成中学校・大成高校・日本大学
- ④ミキハウス少年柔道教室
- ⑤東京都
- ⑥日本中央競馬会
- ⑦2回目

R4全日本実業個人(+100kg)2位,R6 3位/R5全日本シニア(+100kg)2位/R6全日本実業個人(+100kg)3位

いつも応援していただきありがとうございます。自分の柔道を貫き、優勝を目指して精一杯頑張ります。

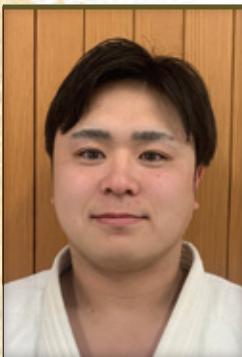


4 九 州
ウルファロン 五段

- ①平成8.2.25(29歳)
- ②181cm・96kg
- ③文京第一中学校・東海大浦安高校・東海大学
- ④春日柔道クラブ
- ⑤佐賀県
- ⑥パーク24株式会社
- ⑦5回目

H31全日本選手権優勝/2021東京五輪(-100kg)優勝/2024GS/パリ(-100kg)優勝/2024GSカザフスタン(-100kg)優勝

出場する前に負けることは絶対に考えていません。2回目の優勝を目指して最高な1日にします!



5 東 北
あべ たくま
阿部 拓馬 参段

- ①平成11.7.25(25歳)
- ②176cm・95kg
- ③最上中学校・新庄東高校・筑波大学
- ④新庄鍊成会、戸沢道場
- ⑤山形県
- ⑥山形県警察
- ⑦3回目

全日本の大舞台で試合ができること、応援して頂いている方々への感謝を忘れずに、自分の柔道を精一杯発揮できるよう頑張りたい。



6 北海道
よこた ゆうと
横田 雄斗 五段

- ①平成6.5.17(30歳)
- ②174cm・94kg
- ③国士館中学校・国士館高校・国士館大学
- ④帯広柔道少年団
- ⑤北海道
- ⑥北海道警察
- ⑦4回目

北海道代表として本大会に出場できることを誇りに思います。上位進出を目指して頑張ります。



7 近畿

ひらみ 陸 参段

①平成15.4.2(22歳)
 ②182cm・100kg
 ③天理中学校・天理高校
 ④初柔会西塾
 ⑤奈良県
 ⑥天理大学4年
 ⑦1回目

R6全日本学生体重別(-100kg)優勝/2025GPアッパーオーストリア(-100kg)3位

初の全日本の舞台で一つでも多く日本武道館の舞台で戦えるように頑張りたいと思います。



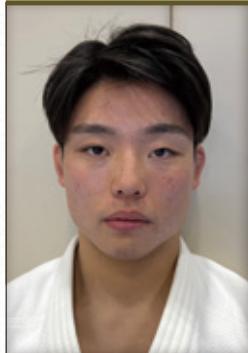
8 東京

きもと 拓人 参段

①平成9.7.27(27歳)
 ②190cm・130kg
 ③八街中央中学校・成田高校・日本大学
 ④明倫館杉崎道場
 ⑤東京都
 ⑥日本製鉄株式会社
 ⑦2回目

R5講道館杯(+100kg)3位,R6 2位

大学3年生以来の2度目の全日本選手権です。優勝目指して一戦一戦全力で戦い抜きます!



9 関東

すがわら 幸大 参段

①平成13.6.1(23歳)
 ②182cm・81kg
 ③角田中学校・柴田高校・日本体育大学
 ④柳柔会牛木道場
 ⑤千葉県
 ⑥SBC湘南美容クリニック
 ⑦1回目

R6全日本シニア(-81kg)3位/R5全日本学生体重別(-81kg)3位

幼い頃から憧れていた全日本選手権の舞台に立てるに感謝し、畠の上で全力を尽くして、この瞬間を思いきり楽しみたい。



10 推薦

はしもと 壮市 五段

①平成3.8.24(33歳)
 ②170cm・73kg
 ③東海大相模中学校・東海大相模高校・東海大学
 ④育成館道場
 ⑤
 ⑥パーク24株式会社
 ⑦2回目

2023ワールドマスターズ(-73kg)優勝/2023世界選手権(-73kg)3位/2024パリ五輪(-73kg)3位

出場は2回目になります。全力を出し切って頑張ります。みなさんの応援をよろしくお願いします。



11 中國

ふくなが 夏生 参段

①平成13.5.14(23歳)
 ②179cm・105kg
 ③大蔵中学校・崇徳高校・明治大学
 ④中家塾
 ⑤山口県
 ⑥山口県警察
 ⑦1回目

小さい頃からテレビで観ていた憧れの大会なので、悔いのないように全力で頑張ります。



12 東京

かいと グリーンカラニ 海斗 四段

①平成14.1.29(23歳)
 ②181cm・100kg
 ③文京第一中学校・日体大荏原高校・日本体育大学
 ④春日柔道クラブ
 ⑤東京都
 ⑥パーク24株式会社
 ⑦3回目

R6全日本選手権3位/R6選抜体重別(-100kg)3位/R6講道館杯(-100kg)優勝

この大会まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを忘れずに皆さんのが楽しめるような試合をして、強い気持ちで優勝目指して頑張ります!応援の程よろしくお願いします!



13

九州

すずき なおと
鈴木 直登 参段

- ①平成13.4.21(24歳)
- ②177cm・103kg
- ③四倉中学校・田村高校・東海大学
- ④宏道館柔道スポーツ少年団
- ⑤宮崎県
- ⑥旭化成株式会社
- ⑦2回目

観ている人が面白いと思うような柔道をしたい。私の柔道人生に勢いをつけるような大会にする。

14

四国

たかぎ やすよし
高木 育純 四段

- ①平成9.2.19(28歳)
- ②173cm・90kg
- ③灘中学校・神戸国際高校・天理大学
- ④社少年柔道団
- ⑤香川県
- ⑥香川県警察
- ⑦6回目

本大会で6回目の出場になります。本戦では、ひとつでも多く勝てるように頑張ります。



15

東京

かがわ だいご
香川 大吾 五段

- ①平成9.2.9(28歳)
- ②180cm・135kg
- ③可部中学校・崇徳高校・東海大学
- ④可部道場
- ⑤東京都
- ⑥ALSOK
- ⑦7回目

R4全日本実業個人(+100kg)優勝/R5 2位/R4講道館杯(+100kg)3位
/R5,R6選抜体重別(+100kg)3位

全日本選手権を取るためにたくさん準備をしてきました。精神的にも技術的にも体力的にも、とても充実しています。死力を尽くして優勝を目指します!



16

関東

はたけやま たつや
畠山 龍弥 参段

- ①平成12.2.3(25歳)
- ②180cm・100kg
- ③中野第十中学校・東海大浦安高校・山梨学院大学
- ④松前柔道塾
- ⑤千葉県
- ⑥京葉ガス株式会社
- ⑦2回目

R4全日本実業個人(-100kg)優勝/R6講道館杯(-100kg)3位

2回目の出場、とても嬉しく思います。応援してくださる方に応えられるよう、精一杯戦います。



17

近畿

むかい きゅうま
向井 球真 参段

- ①平成15.6.8(21歳)
- ②178cm・102kg
- ③天理中学校・天理高校
- ④田原本柔道連盟
- ⑤奈良県
- ⑥天理大学4年
- ⑦1回目

初めての全日本選手権の舞台で、緊張はすると思いますが、天理らしい柔道で全力を出し切ります。



18

東京

おおた ひょうが
太田 彪雅 四段

- ①平成9.12.9(27歳)
- ②180cm・128kg
- ③足利第一中学校・白鷗大足利高校・東海大学
- ④岩舟柔道会
- ⑤東京都
- ⑥旭化成株式会社
- ⑦7回目

R3全日本選手権優勝,R2 2位,H31,R5 3位/R5~7選抜体重別(+100kg)3連霸/2024GSタシケント(+100kg)優勝/2024アジア選手権(+100kg)優勝/2024GS東京(+100kg)2位/2025GSパワー(+100kg)優勝

いつもサポートしてくださる方々への感謝の気持ちを持って全力を尽くして覚悟を持って試合に挑みます。



19

東 海

なみき
並木たいが
泰雅

四段

- ①平成9.12.15(27歳)
 ②183cm・115kg
 ③大成中学校・大成高校・明治大学
 ④三重武道館
 ⑤三重県
 ⑥三重県警察
 ⑦1回目

全日本柔道選手権大会という名誉ある舞台で戦える事を誇りに思います。大会では日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちを胸に頑張ります。

20

近 畿

おがわ
小川りゅうこう
竜昂

五段

- ①平成5.12.29(31歳)
 ②183cm・109kg
 ③灘中学校・国士館高校・国士館大学
 ④将祥柔道館
 ⑤兵庫県
 ⑥日本製鉄株式会社
 ⑦6回目

R3,R6全日本実業個人(+100kg)優勝

全日本柔道選手権では、日頃の鍛錬を信じ、目の前の一戦に全力を尽くします。「一戦必勝」の精神で、どんな相手にも臆することなく、己の柔道を貫き、頂点を目指します。



21

九 州

にしもと
西本こうや
幸弥

五段

- ①平成7.8.9(29歳)
 ②185cm・100kg
 ③東長崎中学校・東海大相模高校・東海大学
 ④橋柔道教室
 ⑤福岡県
 ⑥福岡県警察
 ⑦2回目

H30警察選手権(-90kg)2位

本日で2回目の出場となります。今の自分の実力を知る良い機会だと思うので入賞を目指し頑張ります。



22

推 薦

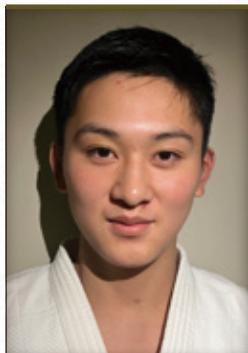
たなか
田中りょうま
龍馬

四段

- ①平成13.12.28(23歳)
 ②167cm・72kg
 ③昭栄中学校・佐賀商業高校・筑波大学
 ④精道館道場
 ⑤⁶
 ⑥ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
 ⑦1回目

R6選抜体重別(-66kg)優勝/2024世界選手権(-66kg)優勝/2024ワールドマスターズ(-66kg)優勝/2022アジア競技大会(-66kg)優勝

日本最高峰のこの大会に出場できることが1番の喜びです。本大会に出場できることに感謝し、自分の柔道がどれだけ通用するか楽しみに臨みたい。



23

関 東

ひらの
平野しょうけい
匠啓

参段

- ①平成18.8.19(18歳)
 ②187cm・100kg
 ③茅ヶ崎第一中学校・埼玉栄高校
 ④小川道場
 ⑤埼玉県
 ⑥天理大学1年
 ⑦1回目

R5,R6インターハイ(-100kg)優勝

小さい頃からテレビや観客席で見てきた憧れの舞台なので一つでも多くこの舞台で戦いたい。



24

推 薦

はらさわ
原沢ひさよし
久喜

五段

- ①平成4.7.3(32歳)
 ②191cm・120kg
 ③日新中学校・早稲田高校・日本大学
 ④大西道場
 ⑤⁶
 ⑥長府工産株式会社
 ⑦11回目

H27,H30全日本選手権優勝,R6 2位,H25,H28,R4 3位/2022GS東京(+100kg)3位/2016リオ五輪(+100kg)2位/2018世界選手権(+100kg)3位,2019 2位

この一年は最も深く柔道と向き合い、考え方を積んだ今、自信を持って、全力を尽くします。



25

北海道

ほりかわ たくや
堀川 拓哉 四段

- ①平成8.9.6(28歳)
- ②178cm・81kg
- ③西岡北中学校・東海大第四高校・東海大学
- ④花柔会スポーツ少年団
- ⑤北海道
- ⑥札幌刑務所
- ⑦1回目

R6全日本シニア(-81kg)優勝

今大会に出場できる事を大変嬉しく、誇りに思います。一戦一戦集中して試合に臨みたいです。



26

推薦

たじま ごうき
田嶋 剛希 四段

- ①平成9.7.27(27歳)
- ②168cm・86kg
- ③国士館中学校・国士館高校・筑波大学
- ④下志津柔道クラブ
- ⑤
- ⑥パーク24株式会社
- ⑦2回目

R5全日本選手権3位/R5~7選抜体重別(-90kg)3連覇/2024世界選手権(-90kg)優勝/2024GS東京(-90kg)3位

つまらない判定勝負は無し! の覚悟を持って、見てて面白い柔道を貫き戦います。大声援と拍手をよろしくお願いします!笑



27

関東

かみがき かずなり
神垣 和他 参段

- ①平成11.10.8(25歳)
- ②176cm・99kg
- ③熊野東中学校・崇徳高校・明治大学
- ④広柔道教室
- ⑤千葉県
- ⑥京葉ガス株式会社
- ⑦2回目

R3選抜体重別(-100kg)2位/R4講道館杯(-100kg)3位/2019世界ジュニア(-100)優勝

名誉ある本大会に出場できる事を心より嬉しく思います。日頃応援してくださる方々への感謝を胸に悔いなく戦いたいと思います。



28

近畿

ふるた しんご
古田 伸悟 五段

- ①平成8.10.4(28歳)
- ②178cm・100kg
- ③天理中学校・天理高校・天理大学
- ④平安道場
- ⑤兵庫県
- ⑥育英高校教員
- ⑦3回目

過去2度出場したがいずれも講道館で試合をした為、初の日本武道館での全日本となる。競技者としての立場は変わったが今まで培った天理柔道を体現したい。



29

東京

かげうら ここる
影浦 心 五段

- ①平成7.12.6(29歳)
- ②180cm・120kg
- ③松山西中学校・新田高校・東海大学
- ④松前柔道会
- ⑤東京都
- ⑥日本中央競馬会
- ⑦8回目

R4全日本選手権2位/R6選抜体重別(+100kg)2位/2021世界選手権(+100kg)優勝

応援してくださる方々に感謝して、今年こそ優勝したいと思います。応援の程宜しくお願ひいたします。



30

近畿

すずき たいよう
鈴木 太陽 参段

- ①平成14.8.13(22歳)
- ②180cm・120kg
- ③明洋中学校・天理高校・天理大学
- ④紀柔館
- ⑤奈良県
- ⑥日本製鉄株式会社
- ⑦1回目

R6全日本学生体重別(+100kg)3位/R6全日本学生WCT(+100kg)優勝

初めての大舞台なので、挑戦する気持ちを前面に出して自分の持っている力をすべて出し切れるように頑張ります。



31 東北
さとう ゆうじろう
佐藤佑治郎 参段

①平成14.2.26(23歳)
②168cm・81kg
③櫛引中学校・羽黒高校
④櫛引柔道スポーツ少年団
⑤山形県
⑥山形県警察
⑦2回目

普段から応援していただいている方々への感謝を忘れず、憧れの舞台での試合を楽しみたいと思います。



32 推薦
あべひふみ
阿部一二三 五段

①平成9.8.9(27歳)
②167cm・66kg
③生田中学校・神港学園高校・日本体育大学
④兵庫少年こだま会
⑤
⑥パーク24株式会社
⑦1回目

2021東京五輪(-66kg),24/パリ五輪(-66kg)優勝/2017,18,22,23世界選手権(-66kg)優勝

自分の柔道をして全日本柔道選手権大会という舞台を楽しみたいと思います。応援のほどよろしくお願いします。



33 九州
かみばやしやまゆうま
上林山裕馬 五段

①平成5.8.23(31歳)
②184cm・135kg
③鹿屋東中学校・東海大仰星高校・東海大学
④光武館内村道場
⑤福岡県
⑥福岡県警察
⑦4回目

R1警察選手権(+100kg)優勝

全日本選手権の舞台に出場出来ることに感謝し、応援してくださる方々に恩返しが出来るように一戦一戦頑張ります。



34 東京
いいだけんたろう
飯田健太郎 四段

①平成10.5.4(26歳)
②190cm・120kg
③大野北中学校・国士館高校・国士館大学
④湘南宮本塾
⑤東京都
⑥旭化成株式会社
⑦5回目

R4選抜体重別(-100kg)3位/2022GS/パリ(-100kg)3位/2023GS/パー(-100kg)優勝

今年から100kg超級に階級を上げ、パワーアップした姿を皆様にお見せできればと思います。日本武道館で試合ができる喜びをかみしめ全力を尽くします。



35 北信越
まるやま こうし
丸山 晃志 参段

①平成11.4.22(26歳)
②168cm・95kg
③白根第一中学校・神戸国際大付属高校・天理大学
④白根柔道連盟鳳雛塾
⑤新潟県
⑥新潟県警察
⑦2回目

日頃からたくさんの方に協力してもらい柔道ができていることを忘れず、執念を持って最後まで自分の柔道を貫き全力で戦います。



36 九州
おうじたにたけし
王子谷剛志 六段

①平成4.6.9(32歳)
②186cm・145kg
③東海大相模中学校・東海大相模高校・東海大学
④やまとご少年柔道クラブ
⑤宮崎県
⑥旭化成株式会社
⑦13回目

H26,H28,H29,R5全日本選手権優勝,H30 2位,H27,R6 3位

昨年の敗れた悔しさを原動力に今年も帰ってくることができました。皆さんの温かい声援に後押しされ、王子谷柔道を存分に披露します。

37 中 国

いいだ けんご
飯田 健伍 四段

①平成5.9.3(31歳)
②179cm・130kg
③合志中学校・崇徳高校・山梨学院大学
④春日柔道クラブ
⑤広島県
⑥広島県警察
⑦5回目

歴史ある本大会に出場できること嬉しく思います。
一戦一戦を全力で戦い抜いていきます。

38 東 京

さとう かずや
佐藤 和哉 参段

①平成7.4.6(30歳)
②181cm・123kg
③静岡学園中学校・静岡学園高校・日本大学
④NPO法人武道学舎
⑤東京都
⑥日本製鉄株式会社
⑦7回目

R3選抜体重別(+100kg)優勝,H31 2位/H30,R2講道館杯(+100kg)2位

本年も全日本選手権に挑戦できることを大変喜ばしく思います。昨年はベスト8で終わってしまったので今年こそ優勝を目指して力一杯戦います。

39 近 畿

にったともや
新田 朋哉 参段

①平成16.3.5(21歳)
②174cm・100kg
③天理中学校・天理高校
④振武館柔道場
⑤奈良県
⑥天理大学4年
⑦2回目

昨年は不甲斐ない負け方をしてしまったので、今年は一つでも多く勝ちたいと思います。

40 推 薦

ながやまりゅうじゅ
永山 龍樹 参段

①平成8.4.15(29歳)
②156cm・65kg
③大成中学校・大成高校・東海大学
④美唄市少年柔道会
⑤
⑥パーク24株式会社
⑦2回目

2024/パリ五輪(-60kg)3位/2023GS東京(-60kg)優勝,24 2位/H31選抜体重別(-60kg)優勝

柔よく剛を制すを体現する。最軽量級の私が重量級の選手を投げる事で柔道の素晴らしさを多くの人たちに伝えます。

41 関 東

いりき おおすけ
入来 巨助 参段

①平成15.7.19(21歳)
②182cm・160kg
③佐屋中学校・中京高校
④愛西柔道会
⑤茨城県
⑥筑波大学4年
⑦1回目

初出場のこの瞬間を心から楽しみにしていました。
昔からの夢を叶え、自分の持てる力を全てぶつけて勝ちに行きます!目指すはベスト8進出、全力で挑みます!

42 東 海

よねやまたつき
米山 龍生 四段

①平成12.2.6(25歳)
②180cm・115kg
③東海大静岡翔洋中学校・東海大翔洋高校・東海大学
④富士市柔道会
⑤静岡県
⑥静岡県警察
⑦2回目

2度目の挑戦になります。一戦一戦集中して勝ちにこだわって勝負していきたいと思います。

43 東京



なかむら しゅんた
中村 俊太 参段

①平成15.1.15(22歳)
②181cm・90kg
③佐屋中学校・中京高校・國學院大学
④愛西柔道会
⑤東京都
⑥センコー株式会社
⑦1回目

R6選抜体重別(-100kg)3位/R6全日本学生体重別(-100kg)3位

たくさん支えてくださる皆様のおかげでこの舞台で試合をすることができます。見ていて楽しいと思えるような試合にします!

44 四国



むらかみ だいき
村上 大樹 四段

①平成7.6.26(29歳)
②181cm・105kg
③日本学園中学校・日本学園高校・日本大学
④今治柔道会
⑤愛媛県
⑥愛媛県警察
⑦2回目

名誉ある全日本選手権の舞台に2年連続立てることに感謝し、一戦一戦全力で戦います。

45 東京



ましやま こうすけ
増山 香補 参段

①平成11.3.9(26歳)
②180cm・100kg
③修徳中学校・修徳高校・明治大学
④小松竜道場/香竜館
⑤東京都
⑥パーク24株式会社
⑦1回目

R6選抜体重別(-100kg)優勝/2023講道館杯(-100kg)2位/全日本実業個人(-100kg)2位/2022GS東京(-90kg)優勝

初出場ですが優勝目指して頑張ります。みなさんたくさんの応援をよろしくお願いします。

46 九州



ごとう りゅうしん
後藤 龍真 参段

①平成11.1.3(26歳)
②182cm・100kg
③鎮西中学校・鎮西高校・東海大学
④西合志少年柔道クラブ 尚志館
⑤宮崎県
⑥旭化成株式会社
⑦3回目

R1全日本学生体重別(-100kg)2位/R5全日本シニア(-100kg)2位

全日本柔道選手権大会に出場できることを大変うれしく思います。自分の柔道スタイルである、攻める柔道で粘り強くしっかりと勝ちあがります。

47 関東



やました かいじ
山下 魁輝 四段

①平成11.3.17(26歳)
②179cm・110kg
③神栖第二中学校・木更津総合高校・国士館大学
④一心館菅谷道場
⑤神奈川県
⑥神奈川県警察
⑦2回目

R4警察選手権(-100kg)3位,R5,R6 優勝

2回目の出場なので1回目よりいい結果を出して見てる人に面白いと思わせる試合をしたい。気合い! KKB魂!!

中野寛太

令和6年全日本王者

旭化成

「今年連覇できるのは私だけ。
正々堂々、小さくならずに
大きい技で一本を狙う！」

昨年の全日本選手権で見事初優勝を飾った中野寛太（24歳／旭化成）。学生時代から注目されていたものの、全日本選手権には6回出場して一度も2回戦を突破できていなかった。昨年も決して抜群の強さというわけではなかったが、しぶとく、粘り強く勝ち上がり、ついに悲願の『日本一』に輝いた。改めて昨年の大会を振り返っていただき、連覇を狙う今年の大会への意気込みを聞いてみた。

聞き手◎林 賢

NAKANO Kanta

—改めまして、昨年の全日本選手権優勝おめでとうございました。初優勝、どんなお気持ちでしたか。

中野 いやあ嬉しかったですね、率直に。試合も最初から最後まで苦しかったですし、優勝するまでのこの数年間、ずっと苦しかったので「やっと優勝できたあ」という安堵が大きかったです。

—確かに、昨年優勝するまで、全日本選手権とは相性が悪かったですよね。

中野 6回出場していたんですが、2回戦以上に行ったことなかったんですよ。一番優勝したい試合やのに一番結果が出せなくて本当に苦しかった。毎年この時期は苦しくて、去年優勝した時は「やっとやなあ」って、感慨深い思いが込み上げてきました。

—いつ頃から全日本で優勝したいと?

中野 昔から憧れてはいたんですけど、はっきり優勝したいと思ったのは高校生の時です。高3で初めて出場した時に、ここで勝つたらどんな気持ちなんやろうと思って、そこからは明確に目指すようになりました。大学の穴井隆将先生は、入学前から、「(天理大出身で)俺の次に全日本を獲るのはお前や」と言ってくれて、ずっと一緒に目指していました。ただ、大学時代は、出場はしていたものの、優勝どころか入賞にも届かなくて。でも社会人になってこうして優勝できて、一つ恩返しきれったかなと思います。本当に全日本選手権、日本武道館というのは格別だと思いました。

—観客席全員が一つの試合場を注目し、選手の技一つひとつに歓声が湧く。昨年、前田宗哉選手を投げた移腰、あれは本当に凄かった。観客がどよめいていましたもんね。

中野 あれは、うまいこといきました。お互いに技の攻防があった場面やったと思うんですけど、頭は冴えて冷静な感じでした。持ち上げた時、そのまま裏投にいこうと思ったんですけど。「あっ失敗する」と思って移腰に切り替えたんですよね。

—技の途中で切り替えたんですか?

中野 裏投にいっていたらまた失敗していたかもしれないのに、よかったです。

—講道館杯の中村雄太戦では豪快に自爆していましたもんね。

中野 はい。あれがよぎりました。

—中野さんは試合前、緊張されますか?

中野 けっこうしますね。

—昨年の全日本はいかがでした?

中野 初戦(2回戦)の相手が相手やったんで、それは緊張しましたね。

—香川大吾選手。直前の選抜体重別で負けていて、それがいきなり初戦。

中野 はい。香川さんとはそれまでも何度か試合していて勝ったり負けたりなんんですけど、本当に試合巧者なんですね。

—試合内容はほぼ互角。判定2-1でした。

中野 ただひたすら安堵でしたね。

—そして、3回戦が前田選手、4回戦が押領司龍星選手と中量級の選手が続きましたが、小さい選手はとくに苦手ではない?

中野 嫌とかはないですね。高校の時から団体戦でもそういう選手から4分で取らなかんという練習をやっていましたから。相手の様子を見ながらギアの上げるところを握りし

ているんで、苦手意識はないです。

—準決勝は会社の先輩・王子谷剛志選手でしたけれども、どうでしたかこの試合は。

中野 そうですね。(小外刈が)ハマっただけといえばハマっただけなんですけど、喜びは大きかったです。あの大舞台で、大先輩の王子谷さんとできたのは嬉しかったですね。

—そして決勝の原沢久喜選手。

中野 原沢さんの準決勝を見た感じで、体力的にもおそらく投げるのは難しいと。それで、確実に勝つためにどうしたらいいかと考えた時に、僕のほうが若手なので、体力勝負で8分間粘るしかないなと思いました。原沢さんが後半に上げてくるのはわかっていたんですが、かといって僕が前半に出し切ってしまうと後半やられる可能性もあると。それで、とりあえず8分間フルでコンスタンスに技を出すということを心掛けました。

—技の攻防だけでなく、心理戦も繰り広げられていたわけですね。

中野 投げたり、投げられたりというほうが面白いかとは思うんですけど、塙試合でも何でもいいからとにかく勝つ、勝利に徹したというのあります。

—結果、きわどい判定(2-1)ではありましたけど優勝。

中野 はい。一番はやっぱり安堵でしたね。やっと優勝できた…という。

—苦しかった一日…。

中野 あの日も苦しかったんですけど。それまでなかなか勝てなくて本当に苦しかったんで、報われたなあと。あと、毎年両親が来てくれているんですけど、なんか喜んでくれている顔を見られたらホッとしました。

—さて、今年の全日本選手権についてお聞きしたいと思います。まず初戦(2回戦)が星野太駆選手。練習や試合でやったことは?

中野 東海大で練習しましたが、受けが強い選手という印象です。なので、しっかりと崩しながら攻めたいと思いますね。

—3回戦には東部直希選手、ウルフアロン選手、どちらが上がってくると思います?

中野 難しいですよね。基本的にはウルフさんかなとは思うんですけどね。東部さんの安定感もすごいですね。お互いに絞り合いが強いんで、ちょっと想像つかないです。

—どちらがいいですか?

中野 どちらかというと、ウルフさんとやり

たいというのあります。

—4回戦に上がってくる可能性が高いのは木元拓人選手でしょうか? 橋本壮市選手や大学の後輩・平見陸選手もいますが。

中野 木元さん強いですよね。力が強くて、身体のサイズもあって、羨ましいです。でも、平見も強いですよ。学生の中では突出している、いつもバチバチ練習しています。

—中野さんとバチバチやりあうなんて嬉しいですね。続いて準決勝ですが。

中野 太田(彪雅)さんでしょうね。とにかく手堅いですね。それがやっぱり技術や巧さなんやなっていつも勉強になっています。

—太田選手にどのように勝つのか、イメージはありますか?

中野 5分で投げるというのはお互いにないと思うんですよね。たぶん太田さんも判定を意識してくると思うんですけど、それを上回るぐらい技出しも早くせなあかん。投げにいくイメージで、有効打をいっぱい出して、最終的には判定でも、という形ができたらしいなと思います。

—そしたらいいよいよ決勝になりますけれども、反対ブロックからは誰が上がってくると予想されますか?

中野 難しいですよね。上のブロックには原沢さん、田嶋(剛希)さんがいて、その下には影浦(心)さんがいる。下ブロックには王子谷さんに佐藤(和哉)さんもいますし…。王子谷さんか佐藤さんの勝ったほうが来る気がするんですが。怖いのは、勢いの乗った田嶋さんですね。やってみたいですね。

—やってみたいですか!

中野 結構パワフルな柔道するんで、やっていても楽しいやろうなと思いますね。

—それは見たい!

中野 全日本選手権の決勝なんていったら、田嶋さんが一番パワーを出しやすい環境ですよね。乗れば乗るほど強い選手ですし。

—最後に、今年の全日本どんな試合をしたいと思いますか?

中野 2連覇がかかっているとはいえ、それを重荷と考えず、2連覇に挑戦できるのは今年は私だけで、それは誇らしいことだと思うので、正々堂々と戦いたい。小さくならずに、大きい技をいっぱい見せたいというか、自分の柔道をしっかりやりきりたいと思います。

(電話取材／4月10日)



令和6年大会。原沢久喜との決勝は8分間にわたる激闘の末、旗判定に。中野が2-1の際とい判定ものにし初の全日本王者に輝いた

平成27年、30年全日本王者

HARASAWA Hisayoshi

原沢 久喜

「もちろん、優勝を目指している。
決勝に進み、来年の大会には
アメリカから参加したい！」

昨年大会で、6年ぶりに決勝進出を果たし健在を見せつけた原沢久喜（32歳／長府工産）。トップ選手としては「区切りをつけた」と言いつつも、自分の柔道自体を構造的に捉え、「量」を落とし「質」を高めた練習で、新たな境地に進んでいる。まずは、田嶋剛希との“運命の対決”に注目してほしい！

聞き手○林 紗



——アメリカに行くとお聞きしました。

原沢 はい、今年中には行きたいと思っていて、その準備をしているところです。

——競技者としては今回が最後？

原沢 決勝まで行ったらまた来年も出られるかなという考えも少しあるんですけどね（笑）。トップ選手としては、昨年ぐらいで区切りをついている部分もあるので、ここから先は「やれたらやる」という感じですかね。

——いまはどんな練習を？

原沢 昔のように「毎日やらないと！」みたいな意識はないですが、トレーニングをしっかりしながら練習もして、パフォーマンスが維持できるようにしています。練習は、母校の日大だけでなく、明治大に行ったり国士館大に行ったり、あとパーク24にも行かせていただいて、いい練習ができます。昔はめちゃくちゃ練習をして、それにより自信をつけ、感覚をどんどん研ぎ澄ましていくという感じでしたが、そのやり方は年齢とともに合わなくなってきたので、今は自分の柔道自体を構造的に捉えて、自分には何が大事なのか、自分の強み、弱みは何なのかといったことを整理した上で練習するようにしていて、量は昔より落ちていますけど、質の高い練習ができると思っています。

——アメリカに行く目的は？

原沢 当初はアメリカに限らず、海外に行って柔道指導をやりたいということと、同時に語学も学びたいと。あと、柔道を別の角度からみて、指導に関しても学びたいと思っていましたが、いろいろな国に行っていろんな指導を経験し、自分を実験台にしながら、何が正しいのかとか、技術をどう学べばいいのか、どう教えればいいのかということを考えたり

していくうちに、現役だと現役じゃないとかのこだわりがなくなってきたんですね。ある意味、自分はもう現役を退いているような状態と言えるかもしれないのですが、そうやって自分自身、トライしながらやることで、すごく勉強にもなっています。

——なんだか、新しいですね。

原沢 そうですね。新たな境地が見えてきたかなと思っています。実際にフランスやドイツ、スペイン、アメリカなどに行って、技術を教える中で、そもそも自分はどうやって強くなってきたんだろうとか、どうやったら技が掛かるのかを説明しないといけないわけです。すごい練習の積み重ねで身についたことを人に教える時に、ただ自分の感覚で教えるのではなくて、その方法論や練習法を、その相手と同じ立場に立って教えられることが大事だなと気づいて。いろんなことを言語化してから取り組むことで、自分が見てきた世界とは違うものがあるんじゃないかと思って、いま柔道に取り組んでいます。

——さて、話を全日本の話に戻して、今年の大会についての思いをお聞かせください。

原沢 思いですか…。もちろん優勝は目指していますが、いま自分が取り組んでいることや考えていることが実際にどこまで出せるのかが大事だと思っていて、それができれば、いいところまでいけると思っています。

——凄い楽しみになってきました！

原沢 ハードル上げちゃいましたかね（笑）。

——今年の最初の対戦相手は、田嶋剛希選手です。昨年の準々決勝では、GS4分8秒、「指導」3つ取られての反則負けでした。昨年のインタビューでは、あの試合が非常に悔しいというお話をされていましたが、さっそくり

ベンジの機会がきました。

原沢 初戦が田嶋選手というのは、なかなかキツい組み合わせですが、昨年の田嶋選手との試合が、自分の考え方を変えたきっかけなので、ある意味、運命なのかなと…。

——運命の対決！ この対決を一段と興味深いものにしてくれますね（笑）。

原沢 （笑）。オリンピックが終わって、もう一度全日本選手権で頑張ろうと思い、自分なりに体も仕上がって、いい状態で臨んだ大会で、初めて下の階級の選手に負けて、かなりショックだったんですよね。体力的な衰えももちろんあるんですけど、そういうことを考える中で、もっと自分の柔道や技術の部分にフォーカスして考え直した結果、もっとできたんじゃないかという考えにいたって、そこからは、戦術的な部分をもっと意識するようになったという感じですね。

——俄然楽しみになってきました。

原沢 実際に出せるかどうかは、やってみないとわからないんですけどね（笑）。机上の空論にならないよう頑張ります。

——今年も決勝進出を果たし、来年は、アメリカからの参加を期待しております！

（電話取材／4月7日）



昨年は6年ぶりに決勝進出を果たした原沢。後半、中野寛太を追い込んだが、旗判定1-2で惜敗

A TRUE MOMENT

SEIKO

どれだけ準備しても、まだ足りない。
どんな悪条件も、言い訳にはできない。
セイコーは、アスリートと同じ
汗をかいている。それは、スポーツ
だけが刻むことができる真実の
瞬間をつかまえるため。A TRUE
MOMENT. スポーツには、ココロ
や人生を振り動かす瞬間がある。



スポーツタイマー
SPORTS TIMER
各種競技大会やイベントで使用できる大型 タイマー。タイム計測の他にも、時刻やカウント ダウン・アップなど様々な表示が可能。

平成26、28、29、令和5年全日本王者

OJITANI Takeshi

王子谷剛志

「初戦から厳しい戦いになるが、前に出て技を出す。今まで培ってきたものをすべて出し切る」

初めて『日本一』に輝いた平成26年から10年以上もトップクラスで活躍を続ける王子谷剛志(32歳／旭化成)。今年は九州選手権を抜群の強さで制し13回目の出場を勝ち得た。「体の衰えは感じますよ」と笑うが、今まで培ってきたものをすべて出し切ると『ミスター全日本』は今年の大会でも優勝を目指して闘志を燃やす。

聞き手○林 翼

——九州選手権は圧勝だったようですね。

王子谷 今回、選抜体重別が新ルールで戦う初めての大会で、九州選手権は、基本昨年のルール、プラス「足持ちあり」というところでした。ただ僕の場合、足持ちを使ってしまうとその後の選抜体重別に影響があると思ったので、受けに重点をおいて準備していたんですが、九州選手権では寝技への移行がスムーズにいって優勝できました。

——王子谷選手が延岡に行かれて何年になります?

王子谷 5年ですね。

——もうそんなに経ちますか。王子谷さんが延岡に行って、旭化成の強さが一段と増した印象があります。

王子谷 ありがとうございます。主将もやっているので、そう言っていただけると嬉しいです。全日本選手権で優勝した2023年に1人目が生まれて、去年もう1人生まれて2人の子供に恵まれました。自分一人だったらここまで現役をやってこなかったと思いますが、結婚して、もう一段頑張ろうと延岡に来て、気づいたら今年33歳。家族が一番のエネルギーになっているのは間違いないんですけど、それ以外にも、宮崎の人たち、僕に関わってくれるいろんな人たちがずっと応援してくれているというのがやりがいになっているので、皆さんには本当に感謝しています。

——九州選手権優勝という結果、試合内容を見ても、衰えている感じはないでしょんね。

王子谷 いやいや衰えていますよ(笑)。できることできないことがはっきりしてきています。でも、できないことに目を向けるとネガティブになるんですけど、逆にできること、成長できていることにフォーカスすると、自

分自身がポジティブでいられます。そのことに気付けたことが延岡に来てよかったことだと思います。技にしても、まだ試合では活かしきれていないけど手札として持っているものが数多く存在するので。それが自分の強みになっていると思います。

——いまなお進化を続けているんですね。それでは、今年の大会についてお聞きしたいと思いますが、2回戦、いきなり山場です。

王子谷 佐藤和哉選手だと思いますが、佐藤選手とは講道館杯でも3回戦であたっていますし、比較的の前の方であたるイメージがあります。厳しい戦いになると思いますね。

——ここを勝ち上がると、新田朋哉選手、永山竜樹選手、入来巨助選手の勝者ですが。

王子谷 面白いですね。おそらく新田選手ですかね。たしか昨年、原沢(久喜)選手と戦って判定だったと思うんですけど。それぐらいの力があると考えると新田選手なのかなと。大学の後輩の永山選手に頑張ってもらいたいところではありますけど…。

——その下のブロックからは、誰が上がってくると思います。

王子谷 個的には大学、会社の後輩の後藤龍真とやりたいんですけど、ここも増山(香補)選手、山下(魁輝)選手、あと中村(俊太)選手もいますからね。中村選手が上がってくる可能性があるなと思っています。思い切りのいい選手なので、勢いに乗ると怖いですね。

——準決勝はどうでしょう。原沢選手、田嶋剛希選手、影浦心選手…。

王子谷 その下に飯田(健太郎)もいますよ。

——飯田選手、最近どうですか?

王子谷 延岡に来て伸び伸びとやっています。後輩たちもいい刺激をもらって、いい稽

古ができていると思います。強いですよ。

——では、飯田選手の可能性もありますね。誰が上がりますかねえ?

王子谷 いやあ難しいですね。全員に可能性があると思うので、ここは誰というのは決めずに行きましょう(笑)。

——わかりました(笑)。さて決勝です。誰が上がってくると思いますか?

王子谷 ここも難しいですね。中野(寛太)選手、ウルフ(アロン)選手、太田(彪雅)選手の誰かだとは思います。

——結果は見てのお楽しみということにしましょうか(笑)。満員の日本武道館で、ぜひ、最高のパフォーマンスを見せてください。最後に、今年の全日本選手権、どんな大会にしたいですか。

王子谷 前に出て、どんどん技を繰り出すのが僕の柔道スタイルなので、そこを皆さんに見てもらいたいなというところと、自分がこれまで培ってきたものをすべて出し切る大会にしたいなと思っています。初戦から厳しい相手だというのは重々承知しています。だからこそ、自分の熱量を最大にして、試合当日、畠の上に立ちたいと思います。

(電話取材／4月10日)



誰かが決めたルールに、しばられない発想を。
誰かが決めた限界を、壊していく活動を。
誰かが決めた常識を、疑っていく哲学を。
誰かが決めた枠組みに、おさまらない夢を。
技術、という共通の言語で。
企業も、国も、文化も超えて。
すべてのいのちと暮らしに貢献するために。



はみだせ! うみだせ! 旭化成

Asahi KASEI

令和3年全日本王者&2025世界選手権代表

OTA Hyoga

太田 彪雅

「世界選手権の代表の自負と
プレッシャーを背負いながら
畳に上がる」

令和3年に全日本選手権を制した太田彥雅（27歳／旭化成）だが、その後は令和4年ベスト8、令和5年3位と優勝から遠ざかっている。選抜体重別では安定した強さを見せて3連覇し2年連続世界選手権代表に選ばれた。全日本王者として世界に挑むため、今大会は落とすわけにはいかない。念願の日本武道館で頂点に立てるか。

聞き手○林 紗



——昨年は、5月に世界選手権があり、代表の太田選手は全日本選手権には出場されませんでした。昨年、大幅なルール変更がありましたが、どのようにご覧になりましたか？

太田 延長なしの旗判定に変わり、苦戦している選手がいるなと思いましたし、全日本選手権は普通のルールと違うので、勝つのがさらに難しい大会になったという印象を受けました。旗判定になり、100kg超級以外の選手にもチャンスが出てきたと感じましたね。

——今年はさらにルールが変わり、「足取りあり」になりました。小さい選手にも大きい選手と戦える武器になると言われますが、大きい選手にもメリットがありますよね。予選の東京都選手権に出られていかがでしたか。

太田 実際、私も初戦、掬投で勝ったんですけど、足持ちがあったらあったで、やはり使いたくなっちゃうなとは思いました。ただ、逆に相手から足持ちされることを考えなくてはいけないので、強い技は出しづらい部分もあるんですよね。

——なるほど。太田さんの場合は世界選手権もあるから、異なるルールで試合するのはややこしいですね。

太田 そうなんですよ。世界選手権で足を持たないようにしないと（笑）。

——本ですね。実際に戦ってみて、どちらがやりやすいというのはありますか？

太田 どっちがいいとかはないですね。おそらく自分の場合は、掬投にしても朽木倒にしても、相手の技を受けて、返すのに使うみたいな感じになると思います。

——なるほど。では、今年の大会についてお聞きしたいと思います。まず組み合わせを俯瞰で見ていかがですか？

太田 自分のグループは、他に比べるとそこまで強豪が集中していないかなと。

——例えば右側のブロック。原沢久喜選手、田嶋剛希選手、影浦心選手のところ、王子谷剛志選手と佐藤和哉選手が2回戦であたっていたり、厳しい組み合わせもありますね。

太田 九州チャンピオンと東京チャンピオンが2回戦で対戦するんですもんね。左側のブロックでも東部直希選手とウルフアロン選手が2回戦で対戦し、勝ち上がれば中野寛太選手。ここもすごいですよね。

——太田選手は順当にいけば、4回戦で香川大吾選手とグリーンカラニ海斗選手の勝者と対戦。本当に凄いカードだらけですね。

太田 レベル高いですよね。推薦選手が多いので、見応えのある試合も多いと思います。

——太田選手にとって、最初の難関になるかと思いますが、4回戦の香川選手かグリーン選手。どちらが上がってくると思いますか？

太田 本当にわからないですね。どちらも柔道が巧い選手ですからね。

——では、どちらが嫌ですか？

太田 普段から練習していて、お互いによくわかっている香川先輩のほうが嫌かもしれないですね。とにかく受けが強くて、乱取でも投げることはあまりないです。

——準決勝は誰が来そうですか？

太田 誰が来るというより、ウルフ先輩とやりたいです。稽古ではよくやりますが、試合したことがないので、ぜひやってみたい。

——ラストチャンスですもんね。頑張って上がってきもらいましょう。

太田 いや、僕も上がりたいといけないんですけどね（笑）。

——ウルフ選手とはどう戦いますか？

太田 普段から乱取もよくやっているんですけど、必ず釣り手を切ってくるので、まずは釣り手勝負で負けないこと。釣り手で負けたらガンガン攻められるので、ウルフ先輩の形にさせないことです。あと……（秘秘秘）。

——完全に対策もできている感じですね。

太田 普段の稽古も、試合であたることを意識してやってきましたから。

——では最後、決勝ですけれども。

太田 難しいですね。たぶん王子谷先輩か佐藤選手のどちらかかなと。でも、増山香補選手も強いんですよね。動きが速くてバランスもよくて。王子谷先輩か佐藤選手だとは思うんですけど、増山選手もあり得るかなと。原沢選手、田嶋選手、影浦先輩が来ることもありそうだし……。

——たしかに、難しいですね。とりあえず、ここは濁しておきますか（笑）。では最後に、今年の全日本選手権、どんなふうに戦いたいですか？

太田 世界選手権100kg超級日本代表の自負を持ち、そのプレッシャーも背負いながら畠に上がりたいと思います。今年の世界選手権には全日本王者として臨みたいと思います。

（電話取材/4月11日）



令和3年大会。初の全日本選手権優勝はコロナ禍の講道館だった。日本武道館で再び日本一になれるか？

共に、 頂きへ。

生活スタイル・産業 プロセスの
革新に取り組む企業様と共に
みらいの仕組みを創造します



MAMEZOU
K2TOP HOLDINGS

私たちは、
東京都練馬区大泉学園にある
豆蔵柔道クラブを応援しています

株式会社豆蔵K2TOPホールディングス
東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル14F

令和4年全日本選手権ファイナリスト

KAGEURA Kokoro

影浦 心

「ルール変更で得意技も復活。
ハイブリッドになった戦いで
今度こそ優勝をつかみ取る！」

令和4年大会で決勝進出を果たした影浦心（29歳／日本中央競馬会）だが、あと一步のところで涙を飲んだ。あれから2年。延長がなくなつて判定決着となり、逆背負投（韓国背負）、足取りの解禁により攻撃がハイブリッドになったと話す影浦。変わったルールも最大限駆使し悲願の頂点に挑む。

聞き手○林 納



——令和4年準優勝で優勝まであと一步でしたが、昨年は準々決勝で判定負け。なかなか思うような結果が出せていません。

影浦 そうですね。昨年の試合を通して思ったのは、もっと見せ方を研究しなければいけないということ。判定勝負では印象も大事になってくるので、そのあたりを考えた試合をしないといけないと思いました。

——昨年、今年とルールも変わってきていますから戦い方も変わってきますよね。今年から足取りも認められるようになりました。

影浦 足取りに関しては、東京選手権を経験してみて、違う競技かと思うくらいの違いを感じました。一発逆転もあり得ますしね。

——確かに、東京選手権では、選手の皆さんがあなが足取りを使いこなしていて驚きました。

影浦 でも、結局は地力が強いというか、シンプルに柔道が強い人が強いのかなとは思います。足取りばかりを狙っていても、力で負けていたら使えないですし。

——影浦選手は足取りやその対応を練習に取り入れているんですか。

影浦 そうですね。練習はやっています。でも、足取りをメインにしているわけではなくて、組み負けた時や嫌な組み手になった時の打開策として使おうかと思っています。試合で山場がなかったり、膠着状態が続いた時に、ひとつ、そういう飛び道具的なものがあると、試合の流れを変えられるのかなと思いますね。

——今年の組み合わせはいかがですか？

影浦 結構恵まれた組み合わせだと思います。——原沢久喜選手と田嶋剛希選手が2回戦であたり、その勝者と対戦することになるかと思いますが、原沢—田嶋戦はどう読みます？

影浦 難しいですよね。原沢先輩が左をつい

て奥襟をバンバン叩いて、出し入れして5分間過ごしたら原沢さん。でも田嶋選手はたぶん相四つか好きだと思うんですよね。技の引き出しもいっぱいあるし、見せる柔道だしつ…ということで、わからないです(笑)。

——どちらに上がってきてほしい？

影浦 去年負けているので、原沢先輩とやりたいですね。

——大きい選手を得意とする影浦選手としては、原沢選手のほうがやりやすい？

影浦 そうですね。でも、『めくり』と『韓国背負』ができなくなった頃から2回全日本で敗北して。そこから相四つの小さい選手対策を徹底的にやったので前ほど小さい選手はイヤではありません。『韓国背負』も復活したので、よりハイブリッドになれた気がします。

——影浦選手たちの下のブロックからは誰が上がってくると思いますか？

影浦 實力的に言ったら飯田（健太郎）選手か近畿で優勝した鈴木（太陽）選手ですかね。飯田選手とは最近、全日本の合宿で組みましたけど、シンプルに強いです。内股はキレるし、集中していないと一発飛ばされる可能性もある。乗ったら怖い選手だと思います。

——準決勝には誰がくると予想しますか？

影浦 王子谷（剛志）先輩か佐藤（和也）選手だと思いますが、一番下のグループ、増山（香補）選手と後藤（龍真）選手、山下（魁輝）選手のところも、上がり方次第でわからないですね。増山選手が抜けた場合、準決勝に来る可能性も十分にあると思います。

——なるほど。続いて、決勝に上がってくるのは誰と予想しますか？ 選抜では大学の後輩の太田彪雅選手に敗れていますが。

影浦 今の太田は本当に強いですよ。びっく

りしました。やろうと思ったことが全然できなくて。もう少し工夫が必要だと思いましたね。でも、中野選手と太田だと、中野選手が上がる感じがしますよね。太田は中野選手が苦手みたいで、たぶん試合で勝ったことないんじゃないですかね。

——相性ってありますよね。ちなみに影浦選手の嫌な選手というか苦手な選手は？

影浦 けっこう負けている太田ですかね。太田は手堅くて、冒険しないんですよ。そこが強い。罠にはまってくれないんですよ。

——最近の影浦選手の柔道は、昔ほど意表を突く攻撃がない気がしますけど。

影浦 意識してそうしています。何か変わらないともう一段上に行けないかなと思って。

——決勝は誰と対戦したいですか？

影浦 希望を言えば、ウルフですね。なかなか厳しいブロックに入っていますが、相性的には悪くないと思うので。全然あると思います。あとは、仕上がり次第ですね。

——ウルフ選手との決勝見たいですね。では最後に、全日本でどんな試合をしたい、どんな試合を見せたいか、お聞かせください。

影浦 優勝という結果だけを目指して、本気で勝ちに行きたいと思っています。



令和4年大会決勝。影浦は斎藤立と14分21秒に及ぶ激戦の末に惜敗。初優勝への思いは強い

う日

わたしの物語が

走ります。

その馬を、

家族と思う人がいる。

親友と思う人がいる。

相棒と思う人がいる。

夢と思う人がいる。

馬と生きる仕事がある。

馬と紡ぐ物語がある。

石川由依 小清水亜美 鈴木真之介 鈴代紗弓

田中啓太郎 長谷川育美 花守ゆみり 前野智昭 (五十音順)

演出 小林大祐 アニメーション監督 山下清悟 作画監督 刈谷仁美 キャラクター原案 田巻智子 実況 小堺歩(ラジオNIKKEI)

主題歌 Aimer / crossovers

アニメムービー全国公開中



ご視聴はこちらから



馬券は20歳になってから、ほどよく楽しむ大人の遊び。馬券は正規の窓口で。

令和7年東京都選手権優勝

SATO Kazuya

佐藤 和哉

「羽賀さんとの対戦で初めて感じた観客と一体になったような感覚。ここで優勝したいと鮮明に思えた」

今年の東京都選手権を制し、全日本選手権7回目の出場を果たした佐藤和哉（30歳／日本製鉄）。高校3年生、18歳の時に初出場したものの、大学時代は東京都選手権を突破できず苦しい日々を過ごした。昨年の羽賀龍之介との一戦で、改めて確認した全日本選手権の素晴らしさと優勝への思い。今大会にかける意気込みを聞いた。

聞き手○林 紗



——今回が7回目の出場となります、佐藤選手にとって、全日本選手権はどんな大会なのでしょうか？

佐藤 学生時代から優勝したい、一番獲りたいタイトルですが、年齢を重ねてその気持ちはさらに強くなっています。

——これまで全日本選手権では結果が出せていません。自分でも、思うようにいかないなという思いはあるのでしょうか？

佐藤 大いにあります。大学時代はずっと東京都選手権を突破できなくて悩まされ、悔しい思いをしてきました。極めつけが大学4年の時、代表選手決定戦で負けて、柔道嫌だな、やめたいなと思いました。その時、名古屋で新入社員研修が1か月くらいあって柔道から離れなければならなくなり、そこでやる気が回復したんですけど、それぐらい東京都選手権はきつかったです。全日本に出ても緊張やケガでなかなか力を出せず嫌な思いばかりでした。それが昨年、羽賀龍之介さんと戦った時に、観客と一体になったような感覚があったんですよね。決勝戦じゃなくても、自分が打つ技、相手の打つ技一つひとつにこんなに盛り上がってくれる本当に素晴らしい大会、気持ちのいい大会などと初めて思えたんです。羽賀さんの胸を借りて、全日本選手権に対する考えが大きく変わり、ここで優勝したいと鮮明に思いました。

——今年の組み合わせはいかがですか。2回戦でいきなり王子谷剛志選手と対戦です。

佐藤 厳しいですね。王子谷選手とは令和2年の大会で戦っているんですけど、とにかく強いんですよ、全日本の王子谷選手は。

——どう戦いますか？

佐藤 試合時間5分だと、やはり印象勝負じ

ゃないですか。王子谷選手の『圧』は本当に凄いんですよね。ただ、新ルールでは場外「指導」があまりとられなくなっているので、少し心に余裕が出て、戦術の幅も広がると思うので、勝機はあると思っています。王子谷選手は、旭化成をまとめる本当に凄い人だと思うし、人間性も素晴らしいので凄く尊敬しています。だからこそ、自分のすべてをぶつけ勝ちたいという思いがあります。

——いい試合が見られそうですね。

佐藤 でも、その前に1回戦の飯田健伍さんですね。飯田さんは上半身のパワーは半端ないですし、寝技もうまい選手ですから、先のことは考えず、大事に戦いたいと思います。

——試合の時には、対戦相手の予想、研究はするタイプですか？

佐藤 私、トーナメントをほぼ見ないんですよ。誰が上がってくのかわからないし、対戦選手を想定して対策を考えても、うまく実行できないんですよね。器用でもないし。なので、その瞬間瞬間に對処するタイプです。

——では、雑談としてお付き合いいただきたいと思いますが、準決勝には、原沢久喜選手、田嶋剛希選手、影浦心選手…、誰が上がってくと思います？ 田嶋選手以外とは、試合をしたこともあると思いますが。

佐藤 そうですね。田嶋選手とは試合はないんですけど、練習はかなりやっていて、本人からは組み合わせが出る前から、「先輩、準決勝か決勝でやりたいですね」と言われて、「いや俺はやりたくない」と言ったんですよね(笑)。で、組み合わせが発表されてから、「準決勝ですね」って凄い笑顔で言われて。その時は、「盛り上げる試合をしよう」と話しました。

——田嶋選手らしいですね。

佐藤 そうですね。でも田嶋選手、本当に強いですよ。思い切りもよくいい選手です。

——では、誰と準決勝で戦いたいですか？

佐藤 正直に言うと、誰とでもやりたいです。原沢先輩はずっと倒したいと思っていましたし、おそらく今回、先輩は最後の試合になると思うんで、勝って引導を渡したい。尊敬する先輩だからこそ、僕で終わらせたいという思いがあります。(影浦)心は同じ年で何度も戦い、勝ったり負けたりしてきた選手なので、お互いこの年齢で全日本の準決勝で戦えるとなったら、それは普通に嬉しいです。

——決勝には誰が来ると思いますか？

佐藤 太田選手か中野選手ですかね。選抜の太田選手の試合を見ても、フィジカルもあるし、組み手も巧いし、ルールにも対応できています。技の引き出しも豊富。一昨年の講道館杯で負けているので、きっちり借りを返したいと思います。中野選手には選抜で負けましたが、いい感触だったんで、次は勝ちたいですね。選抜以降、何が何でも勝とうという強い意志があるので、誰が上がってきてもいいです。何試合でもできるよう、当日までよく走り込んで大会に臨みたいと思います。

(電話取材／4月12日)



令和6年大会3回戦。佐藤和哉と羽賀龍之介の一戦。素晴らしい技の攻防で何度も会場を沸かせた



朝日のように赤く輝く鉄が、きょうも製鉄所で生まれています。長い歴史の中で、鉄を使い文明を築いてきた人類。「軽い鉄」「強い鉄」「環境にやさしい鉄」など、世の中のあらゆるモノを進化させるために、日々、鉄の進化も続いている。



スペシャルサイト



NIPPON STEEL

日本製鉄

全日本選手権に挑む 5人の軽量級&中量級の 五輪メダリスト& 世界王者

体重無差別で行われる全日本選手権。大会の大きな見所の一つは、軽量級&中量級選手の活躍だ。今大会には、昨年のパリオリンピックのメダリスト、アブダビ世界選手権優勝者が推薦され、その中から5人の軽量級・中量級選手がエントリーした。全日本選手権の3週間前には全日本選抜体重別選手権もあり、その2か月先には世界選手権があるという過酷なスケジュールの中、あえて全日本選手権に挑む5人のチャレンジャーたちに、選抜体重別の会場で、ほんの一言ではあるが、大会に臨む思いを聞いた。



永山竜樹

【パリオリンピック60kg級銅メダリスト】

小さい自分が勝つてこそ
全日本選手権。
投げて会場を沸かします



阿部一二三

【パリオリンピック66kg級金メダリスト】

どこまで自分の柔道が
重量級に通用するのか
ワクワクしています

——初戦の入来巨助選手は160kg。約100kgの差です。

「そんなに重い選手はなかなかいないので、ちょっと想像つかないんですけど、自分が勝つことによって、柔道は小さくても大きい選手に勝てるという証明になると思うので、必ず勝ちにいきたいと思います」

——しっかり組むことが永山選手の柔道だと日頃からおっしゃっています。今回は相当厳しい相手ですが。

「そうですね、でもその柔道しかやってきてないので。組み合うとちょっと危ないかもしれません、スピードを生かしつつ、組んで投げる柔道をしたいと思っています。ルールも、足を取れるということで軽量級に有利に働く部分もあると思います。もちろん、足を持たれて持ち上げられたらひとたまりもないで、そうならないように。自分も高校生くらいまでは足持ちのあるルールでやってきたので、若い選手と比べて有利かと思いますので、そういう技術を使いながら勝ちにいきたいと思います」

——おそらく全日本選手権史上最大の体重差だと思います。それについてはどう思いますか？

「やっぱりどうせやるなら大きい選手がいいと思っていました。ここで小さい自分が勝ってこそ全日本選手権だと思うので、そこはすごくワクワクしています。難しいのはわかっていますが、勝つだけじゃなく、大きい選手を投げて勝つことに意味があると思うので、投げて、会場を盛り上げたいと思います」

——ついに、全日本選手権初挑戦ですね。

「出場するチャンスは今までに何回かあったんですけど、1回も出てこなかったので、パリオリンピックが終わり、ロスまで4年間ということで、このタイミングしかないかなと。ただ、世界選手権が2か月後ということで難しいタイミングではありますが、一度は出てみたいという思いが強かったので出ることになりました。(全日本選抜体重別で負った)ヒジのケガの状況・様子を見ながらになりますが、出る以上は全力で戦いたいと思います」

——ルールも特別ルールです。どんな試合になると？

「すごく厳しい戦いにはなるとは思うんですけど、足持ちがOKだったり判定だったり、軽量級が重量級に対して、面白い試合ができるルールだとは思います」

——このルールに合わせた練習は？

「いや、全然。選抜体重別があったので、できてないです。これから3週間くらいしかないですけど、全日本選手権のルールで練習して、少しでも身体に馴染めばいいかなと思っています」

——全日本選手権に出ることに対する気持ちは？

「軽量級が、あの日本武道館の観客の前で試合ができるというのは楽しみですね。中学生、高校生の頃とかは、重量級と試合することもあったんですけど、大学生、社会人になってからは全然ないので、どこまで自分の柔道が通用するのか、本当にワクワクしています」

——さっそくですが、今大会の目標を。

「全日本選手権に関しては、目標は1回勝てればいい、面白い試合ができればいいと思っていたんですけど、前回3位になれたことだったり、世界チャンピオンになったことで、やはり『三冠』柔道家になりたいなという思いが出てきたので、ちょっと欲深く、優勝を目指して頑張りたいと思っています」

——昨年は初出場で3位。初の全日本はどうでしたか？

「最高でしたね。本当に名譽ある舞台とはこういうことだなという感じで。畳に立てただけで本当に嬉しかったですし、ウォーミングアップの時に試合場に入っただけでも、ああ、やばいという感じでした」

——今回は1回戦が堀川拓哉選手、勝てば前回準々決勝で戦った原沢久喜選手です。今回はどう戦いますか？

「判定ありになったので、自分にとってはやりやすいと思うんですよね。原沢さんを投げ切ることはやはり難しかったですし、必死に頑張った結果、なんとか勝てたという試合だったので。今年はああいう消耗戦にはならないじゃないですか。5分間頑張るということで、自分には向いているというか、やりやすくなると思うんです。でも、その中でも判定を狙う試合じゃなくて、見ている人が面白い柔道をするのが自分の一番の軸なので、しっかりとリスクを背負って投げにいく、返される覚悟で投げにいく、そんな戦いをしたいと思っています」



橋本壮市

【パリオリンピック73kg級銅メダリスト】

自信もありますし、
一戦一戦自分のいいところを
出し切って戦いたい



田嶋剛希

【アブダビ世界選手権90kg級優勝】

夢は『三冠』柔道家。
判定を狙う試合じゃなく、
リスクを背負って投げにいく！

——大会展望では、優勝候補にも挙げられています。

「本当ですか？ 自分、足取りもまたくないし、足取りルールの中で自分がどうなるのか全然想像つかないんですよね。でも期待してもらっていることは、選手として本当に幸せなことなんで、その期待に応えられるような試合をお見せしたいと思います」



田中龍馬

【アブダビ世界選手権66kg級優勝】

全日本選手権には憧れや
挑戦したい気持ちが昔からあった
すごく嬉しい楽しみ

——全日本選抜体重別はケガで欠場されましたか。

「だいぶ良くはなっているので、全日本選手権までにはしっかり治して、いい準備をして臨みたいと思います」

——全日本選手権に出場することに対する思いを。

「やはり世界で唯一の無差別の試合なので、それに挑戦できることは誇りに思いますね」

——2017年世界選手権で優勝して翌18年(平成30年)の大会に推薦出場。それ以来の出場ですが。

「前回出場した時は、全日本独特の雰囲気を感じ、開会式から緊張した覚えがあります。あの舞台で試合できるというのは、柔道家として本当に嬉しく思いますね」

——出場するにあたり、無差別ということで迷いは？

「まったくないです。軽量級が出られる機会はめったにないで、ぜひ出たいという気持ちでした」

——大きい選手との練習は？

「全日本選手権に出ることを決めてからは、大きい選手と、全日本のルールで練習しています。本当にメチャクチャ楽しいですし、柔道の魅力の一つは小さい選手が大きい選手を投げることでもあると思うので、そういうところを見せられたらいいなと思っています。自信もありますし、一戦一戦自分のいいところを出し切って戦いたいと思います。同世代の選手で残っているのは自分くらいだと思うので、同世代代表じゃないんですけど、そういう思いも込めて戦いたいと思っています」

——体重無差別の全日本選手権に出ることについて、不安はありませんか？

「不安はありません。全日本選手権に関しては、憧れであったり挑戦したいという気持ちが昔からありました。学生時代には予選から出場することを考えたりもしたんですけど、階級別の試合もありましたし、個人戦で、結果が出てきているところだったので、挑戦する機会がありませんでした。そんな中で、今回推薦で出場できるということだったので、それならぜひ挑戦してみたいという気持ちになりました。団体戦では重量級の選手と中学生や高校生の時からやってきましたので、自信というほどではないんですけど、自分の柔道が重量級の選手、大きい選手に対してどれだけ通用するのかなというワクワク感は常に持っているので。今回、そういう機会が得られたということに関しては、すごく嬉しいですし、とても楽しみでもあります」

——今回の初戦・平野匠選手にはどんな印象を？

「関東を優勝で突破してきている選手なので、若いけど強い選手だと思います。自分は実際にはできなかったんですけど、もし関東予選に挑戦していたらどうだったんだろうという思いもあるので、関東で優勝している平野選手との試合はそれを試す機会なのかななど。どういう試合になるのか、まったく想像つかないんですけど、思い切り戦いたいと思っています」

おかげさまで
90周年

イベントで働く。

もっと大きな感動が、ここにある。

輝く人びとを本気で支えたい。90年かけて磨いた技術と経験で、
裏方としてイベントを創る。それが私たちシミズオクトです。



シミズオクト

シミズオクト



これぞまさに全日本選手権!
軽量・中量の五輪メダリスト&世界王者も参加し
超豪華なオールスター戦が実現!

激戦必至!

中野寛太の連覇か、
90kg級世界王者・田嶋剛希の
初優勝か!?

販売開始早々にアリーナのチケットはほぼ完売。1階指定席も大会1か月前の時点では残りわずかとなった今年の全日本選手権。それもそのはず、今年の全日本選手権には超豪華な顔ぶれが揃った。ここ数年優勝争いを演じる実力者たちに加え、推薦選手として軽量・中量クラスのパリオリンピックのメダリスト、昨年の世界選手権チャンピオンがエントリー。1回戦から見逃せないカードの連続となることは間違いない。例年以上に難しくなった大会展望と優勝の行方を、岡田弘隆八段、岡泉茂七段、廣川充志六段の御三方に語っていただいた。(3月30日、講道館にて実施)

●出席者………岡田弘隆八段(筑波大学)

岡泉 茂七段(日本製鉄株式会社)

廣川充志六段(桐蔭横浜大学)



座談会の様子



岡田弘隆八段

本大会の見どころと 優勝候補について

岡田 本日はご多忙のこと、お集まりいただきありがとうございます。今年の全日本選手権は、私たちが選手時代に戦っていたルールとほぼ同じであり、また推薦選手として世界選手権だけでなく、オリンピックのメダリストが複数出場するなど、日本一を決めるに相応しい条件が揃っており、見所が多く、非常に楽しみな大会です。従来であればすぐに予想を始めるところですが、ルールが前回と大きく異なるため、要点だけをざっと説明しておきたいと思います。

本大会は2025年1月に改正された国際柔道連盟試合審判規定と、本大会申し合わせ事項によって勝敗を決します。結論から申しますと「指導」が消極的、防御姿勢、偽装攻撃の3つに集約され、また組み合った状態から相手の下半身を持って攻防することができるようになり、技の打ち合いによる真っ向勝負がし易い環境が整いました。

岡田 昨年と同じなのは試合時間(準決勝戦まで5分間、決勝戦は8分間)、技の評価が「一本」、「技あり」、「有効」の3種類であること、抑え込みの時間(20秒間で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」)、4回目の「指導」で反則負けとなること、そして試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行わず、判定で勝敗を決するということですね。

岡田 その通りです。延長戦がないため、判定で勝敗を決する場合、審判員は試合全体を通じた態度、技の効果と巧拙、反則の有無等から総合的に優劣を判断する必要があります。**廣川** もし選手が「前半の攻防が審判員の印象に残りにくい」と判断したら、前半に温存して、ラスト1分で攻めまくるなど、戦術を工夫するケースも出てきそうですね。

岡田 まさしくその通りで、地区予選の勝ち上がりを見ても、判定を意識した戦い方をしている選手が見受けられました。審判員は目の前の攻防を注視する一方で、試合開始から終了までの全体を思い返しながら判定に備えるなどの心構えが必要になるでしょう。

岡田 身長の高い選手が内股を掛けてきたら、小柄な選手は腰を出して防ぐことしかできなかつたのが、これからは掬投などで切り返せるようになったことは大きいですね。

岡田 軽量級や中量級の選手が大きい相手にも真っ向勝負を挑み易くなかったことは、柔道の醍醐味が選手にも観客にも伝わり易くなつたと思います。これが冒頭で申し上げたように、本大会が面白いと言える理由の1つです。それではいつも通り、本大会の優勝候補から見ていきましょう。まず前年優勝の中野寛太、2位の原沢久喜、3位のグリーンカラニ海斗と王子谷剛志の4選手に加え、優勝経験のある太田彪雅、久しぶりに全日本に挑戦するウルフアロン、そして2024世界選手権90kg級金メダリストの田嶋剛希、2021世界選手権100kg超級金メダリストの影浦心、東京地区優勝の佐藤和哉などを中心とした優勝争いが予想されます。岡田先生、いかがでしょうか?

岡田 優勝争いには、昨年優勝した中野を軸として、岡田先生が挙げられた選手たちが絡んでくると思います。面白いところでは、推薦で出場するパリオリンピックメダリストの永山竜樹、阿部一二三、橋本壮市、そして

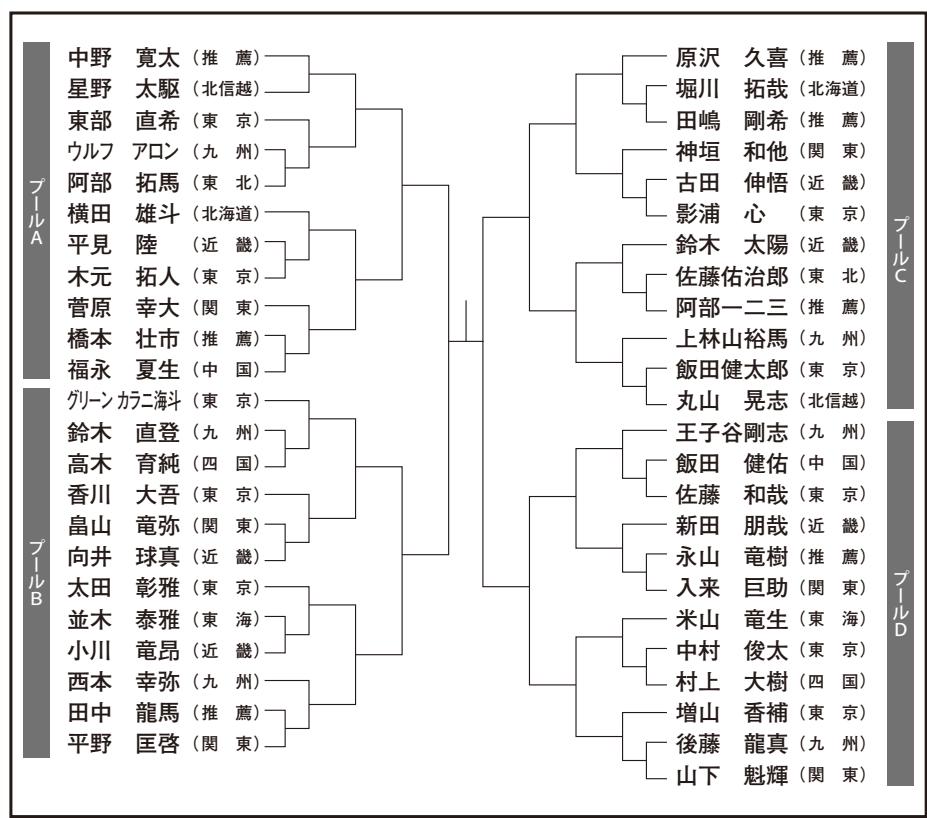


一昨年の準々決勝カード『原沢久喜vs田嶋剛希』が2回戦でいきなり実現する可能性が大きい。前回、会場を沸かせた両者の対決は今回も見逃せない

2024年世界選手権66kg級金メダリストの田中龍馬など、比較的軽いクラスの選手たちにも期待しています。重量級とも戦い易いルールの中で、熾烈な予選を勝ち抜いてきた選手たちとどのような戦い方を演じ、会場を盛り上げてくれるのか、それが柔道の魅力を発信する大きな力になると思います。

岡田 廣川先生はいかがでしょうか?

廣川 両先生のおっしゃった選手たちに、私も注目しています。特に田嶋は、闘争心があり賢い選手でもあるので、今回のルールの特性を理解し、多彩な攻めで上位に進出してくる可能性を秘めていると思います。延長戦があった2023年大会では、中量級ながら3位入賞を果しているので、5分間の試合時間であれば、攻め切って判定勝ちする展開も作れるのではないかと思います。故古賀稔彦先生がこの大会で決勝戦まで進まれた時のことを思い出します。





王子谷剛志vs佐藤和哉。決勝で対戦してもおかしくない実力者2人が2回戦で激突! 激戦必至の好カード。そして、勝ち上がるのはたった1人、果たして…?

一~三回戦、好試合が期待される対戦について

岡田 一回戦から三回戦まで、すべて好試合が予想されるものばかりなので選ぶのが大変ですが、いくつか取り上げてご紹介したいと思います。プールAの三回戦、中野対ウルフの試合は優勝争いを左右する重要な一戦となるでしょう。共に力を付けてきている平見陸と木元拓人も見所です。橋本の組み手の強さは、福永夏生との試合でも十分感じるのではないかと思います。プールBは多彩な選手が揃っていますが、太田が頭1つ抜けている印象です。プールCは、二回戦で原沢と田嶋が対戦し、その勝者が影浦と対戦することになると思いますが、この試合も優勝争いに響く大一番になるのではないかと。プールDは、王子谷、飯田健伍、佐藤和哉と地区予選1位の選手が固まっていますが、二回戦で王子谷と佐藤という実力者同士の対戦となるでしょう。5分間の中での攻め方をしっかりと考えれば佐藤が勝つ可能性も十分考えられ、この試合の勝者がベスト4まで駒を進めると思います。では次、廣川先生お願いします。

廣川 昨年優勝の中野が二回戦から登場するので、緒戦の動きが興味深いところです。中量級で昨年飯田健太郎を破った阿部拓馬ですが、緒戦は優勝経験のあるウルフが地力で勝

っている印象です。三回戦の中野とウルフの対戦は、前半戦の大きな山場であり、注目の一戦となるでしょう。ウルフはパリオリンピック後、国体で活躍しましたが、中野も十分な稽古を積んでおり、力を発揮すれば有利に試合を進めると思います。平見は学生のトップで今年3月のグランプリ・アッパー・オーストラリアで3位入賞し、木元も昨年の講道館杯とグランドスラム東京で2位となるなど、安定した成績を残している実力者同士がどのような試合をするか楽しみです。その下は期待も込めて橋本の勝ち上がりを予想します。自分よりも大きな福永、菅原幸大との対戦ですが、左右の技を駆使する橋本にとっては決してやりにくい相手ではないと思います。木元と橋本の勝者が、中野とウルフの勝者と対戦することになるでしょう。

そしてプールBでは、二回戦でグリーンと鈴木直登の対戦を予想します。学生の団体戦で活躍した社会人の鈴木ですが、昨年講道館杯を制し、勢いのあるグリーンがわずかに勝るのではないかと思います。その下は、地力では香川大吾だと思いますが、畠山竜弥が5分間を有効に使って攻め抜けば、判定で勝ち上がる可能性もあります。三回戦はグリーンと香川もしくは畠山の対戦になるかと思いますが、グリーンが勢いに乗って勝ち上ると予想します。その下は優勝経験のある太田が有力ですが、中学校時代からトップを走り、30歳まで続けている小川竜昂は素晴らしい選手だと思いますし、高校生で関東を制した平野匠啓は柔道が柔らかく寝技も強い印象です。2024年世界選手権66kg級メダリストで、ロサンゼルスオリンピック候補の田中龍馬との試合も興味深いですね。田中は体重無差別で団体日本一を決める全日本学生優勝大会でも起用されていることからも、自分より大きな相手との戦い方を知っています。この戦いの勝者は西本幸弥と対戦しますが、彼は裏投などが得意で、トリッキーな動きもでき、ひと筋縄ではいかない相手です。九州地区予選ではウルフに掬投で一本勝ちするなど、相手の下半身を持って攻撃する技を効果的に使い、出場権を得ました。ベテラン指導者が多く在籍する警察では下半身への攻撃や防御に関する知識や経験が、現役選手たちに伝承されている様子が見られます。双手刈や踵返などを駆使する警察所属の選手たちの戦いぶりも、柔道ファンにはたまらないのではないかと思います。

プールCでは、田嶋が全日本シニア81kg級で優勝し、所属を警視庁から札幌刑務所に変えた堀川拓哉と緒戦で顔を合わせます。堀川は北海道地区予選で重い相手に腕挫十字固で



廣川充志六段

一本勝ちするなど寝技もある選手ですが、田嶋が地力で勝るのではないかと思います。田嶋と原沢は2023年大会の四回戦で対戦し、延長戦の末、「指導」の累積による原沢の反則負けで、田嶋が攻め勝ちましたので、今回も田嶋にとって分が良いのではないかと思います。影浦は本大会の決勝の舞台を知る実力者であり、非常に器用な選手なので、相手が大きくても小さくても対応できると思います。佐藤佑次郎は昨年後藤龍真を判定で破り、小川雄勢と判定までもつれ、会場を沸かせました。オリンピック66kg級連覇の阿部一二三と対戦しますが、お互いファイターなので、ガツガツ技を出し合う白熱した勝負が期待されます。阿部がしっかり勝ち切れば、勢いに乗って鈴木太陽にも勝つ可能性があるでしょう。飯田健太郎も技のキレに加え、120kgまで増量した体の扱いに慣れてきたと思いますので、実力を発揮してもらいたいと思います。

プールDは共に学生時代から実績のある飯田健伍と佐藤和哉との対戦ですが、激戦区東京を1位通過した佐藤が有利に試合を進め、二回戦で王子谷と対戦すると予想します。王子谷の圧力は健在ですが、円熟味を増してきた佐藤がいなしたり、足技などで勝機を見出さないのでないかと思います。永山と入来巨助は、体重差がおよそ100kgの組み合わせです。永山は講道館で開催された令和2年大会に初出場し、緒戦で90kg級の選手に優勢勝ちし、二回戦では飯田健太郎に一本負けしましたが、延長戦まで戦い抜き、会場を沸かせました。東海大学の上水研一朗監督からも「永山は重量級ともしっかりやれる」と聞いたことがあります。ただ入来も器用で破壊力があるので簡単にいかないでしょうが、永山が股下に潜り込んで背負投で投げることも、なくはないかなと。

岡泉 永山が投げたら盛り上がるでしょう。

岡田 まさしく観客の皆さんはそれを期待し



岡泉茂七段

でいると思います。今回、入来には申し訳ないですが、間違いなく敵役になると思います。彼は私と所属が同じなので、「観客は小柄な永山に味方するので、覚悟して試合に臨むよう」と指導しています。

岡泉 これはもしかして、全日本史上最も体重差のある試合なのではないでしょうか？

岡田 間違いないと思います。

岡泉 故高木長之助先生と、故南喜陽先生との試合ぐらいあるかもしれませんね。

岡田 高木先生は160kgはなかったと思うので、地区予選では分かりませんが、本選で永山対入來のような100kg近い体重差の試合はなかったと思います。

岡泉 皇宫警察の渡辺浩稔先生と故古賀稔彦先生の試合も体重差がありましたよね。ただ古賀先生は75kgくらいで、渡辺先生は160kgあるかないかだったと思います。これだけ歴史のある大会で初めてのことが起こるというのも珍しいですね。

岡田 他にも見所がたくさんあり、今年の全日本は絶対に面白いと思います。永山と入來が入場してきただけでも会場は大盛り上がりになると思います。さて話を勝ち上がりに戻して、廣川先生から続きを聞きましょう。

廣川 試合後半になれば軽量級が有利になるので、序盤で入來が投げることができれば入來が勝つと思います。ただケンカ四つですで、入來が胸が合わせづらく、捕らえることができないまま試合後半になれば、軽量級の永山が優位になる。ここは大胆に永山の勝ち上がりを予想します。そして三回戦で永山が王子谷と佐藤の勝者と戦うとなると、これはまた大いに会場を沸かせてくれるでしょう。その下は、学生になって非常に伸び、長身で攻撃的な柔道をする中村が有利です。その下では、100kg級に階級を上げて選抜体重別を制し、背負投を得意とする増山香補が、ルールとも相性が良く、順調に勝ち上がるのではないかと思います。

岡田 ありがとうございます。続いて岡泉先生、お願ひします。

岡泉 廣川先生がほとんどポイントを抑えてくださったことを前提に、少し付け加えていきたいと思います。プールAの中野対ウルフは、重要な一戦になると思います。国体での戦いぶりからウルフは好調だと思いますが、中野は中量級のような素速い技出しや組み手の巧さもあり、十分な稽古も積んでいることから、ここは中野の勝ち上がりを予想します。推薦の橋本は、本大会に向けた準備次第では実力者ですので、一、二回戦を勝利する可能性はあるでしょう。平見と木元は共に力をつけている選手同士で面白い勝負になると思います。

ますが、相四つに強い木元が、三回戦まで勝ち上がると考えられます。木元は選抜体重別にも出場するので、その試合内容は全日本選手権当日のコンディションや試合ぶりにも影響してくるでしょう。昨年3位のグリーンは上り調子ですし、その下は香川が一枚上手なので三回戦で進んでくると思います。太田はケガや不調といった話も耳に入っていないので、他に付け入る隙を与えず、勝ち上がるこれが考えられます。インターハイ等で見た平野は若干線が細い印象でしたが、関東優勝という戦績を挙げたことは、この半年でかなり体ができてきたことを物語っているのではないかと思います。今後の活躍が期待される平野がどれだけの戦いをするか注目ですね。

プールCは強豪が名を連ねており誰が勝ち上がるかは予想しにくいところです。ベテランの原沢は、昨年決勝まで勝ち上がるなど、この大会への強い思いと、高い調整力を感じます。田嶋も3位に入賞したことがあり、全日本にかける強い気持ちがあり、楽しみです。影浦は地力もあり器用なので、古田や神垣にもうまく対応して勝ち上がると思います。阿部一二三については、パリオリンピックで連覇を達成しましたが、男女混合団体戦決勝で、フランスの1つ階級が上の選手に敗れた際、得意の袖釣込腰が掛かっていなかった記憶があります。体格に優る相手に対してどこまでの試合ができるか気がかりです。東京予選を見ると、飯田は技の威力はありますが、増量した体がまだ馴染んでいない印象もあったので、勝ち上がりに苦労すると、三回戦で活きの良い鈴木と対戦して翻弄される可能性もあり得ると思います。

プールDでは大ベテランで出場選手の中で最多の優勝経験を持っている王子谷の存在感がありますが、先生方もおっしゃるように組み手や足技の巧さもある佐藤の勝ち上がりを、期待値も込めて予想したいと思います。永山は入來、その次も勝ち進み、大会を盛り上げる意味も含めて頑張ってほしいと思います。その下は戦歴を見ても、また担ぎ技が得意な増山の勝ち上がる可能性が高いでしょう。

ベスト4に進む選手たちの 対戦について

岡田 ありがとうございます。先生方のお話で、ベスト8の顔ぶれが浮かんでまいりました。ここからさらにベスト4進出者を予想していきましょう。岡泉先生、お願ひします。

岡泉 プールAは中野だと思います。木元も有力ですし、昨年の講道館杯でケンカ四つの香川にも一本勝ちするなど成長を見せていますので期待したいところですが、中野の多彩

な組み手と技に、どこまで通用するかと考えると、厳しいのではないかと思います。プールBは太田の実力が抜けているので、番狂わせが想像しづらく、順当に勝ち上がると思います。プールCは最も予想が困難ですが、現在の勢いという点で田嶋と影浦、この両選手のどちらかがベスト4に名乗りを挙げると思います。プールDは佐藤が王子谷を破れば、増山とベスト4を賭けてぶつかり、通常の展開になれば佐藤が勝ち上がると思います。

廣川 私もプールAは中野がディフェンディングチャンピオンの貫禄を見せ、ベスト4に進出すると予想します。プールBはグリーンと香川の対戦の勝者が、太田と対戦すると思いますが、国内外の大会でも安定した成績を残している太田が勝ち上がる考えています。プールCは原沢、田嶋、影浦と実力者がひしめいて非常に難しいところですが、気力体力が充実している田嶋が原沢を破って勝ち進み、ベスト4を賭けて業師の飯田健太郎と対戦すると予想します。5分間、足取りも可能なルールの下であれば、田嶋が優位に試合を進めると予想します。プールDは、佐藤和哉が相四つですが王子谷の圧力を組み手でいなしで勝ち進み、増山にも対応して、準決勝戦まで勝ち上がると思います。

岡田 ありがとうございます。両先生の予想はほぼ一致していました。様々な可能性が考えられましたが、私も実は先生方と同じ顔ぶれがベスト4に残る可能性が最も高いと考えていました。整理しますと、プールAは中野、ウルフ、木元など実力者もいますが、これからピークを迎えるとする第1シードの中野が一枚上手ではないかと予想します。プールBも、太田が取りこぼすことなく、順当に勝ち上がると思います。プールCは原沢、田嶋、影浦と、候補が多く最も予想が難しいですが、相性という点で考えると、2年前に延長戦で原沢を下した田嶋が有利ではないかと考えます。田嶋は元々大きな相手を苦にせず、多彩な技を持っており、重量級相手に簡単にはいかないとは思いますが、総合的に考えて田嶋が会場を沸かせつつ勝ち上がると思います。世界チャンピオンで、一度この大会の決勝で涙を呑んだ影浦は強い気持ちを持って大会に臨んでくるかと思いますが、田嶋は左右の技や寝技など、たくさんの手札を駆使して勝ち上がると思います。その次に対戦するであろう飯田健太郎とは国士館高校の先輩後輩の関係で、学生時代に団体戦で対戦しており、その時は田嶋が一本勝ちしています。お互いに投げる技を持っており、正直どちらが勝つか分かりませんが、わずかに田嶋が可能性で勝り、ベスト4に進むと思います。そしてプー

準決勝戦予想 ①



中野 寛太 VS 太田 駿雅

(旭化成)

連覇を狙う中野と令和3年王者の太田、旭化成の同門対決。先日の選抜体重別を制し今年も世界選手権代表となった太田と昨年の全日本王者・中野との一戦は事実上の決勝戦と言ってもおかしくないカード。果たしてどちらが決勝へ駒を進めるか

ルDは、王子谷と佐藤和哉の勝者が勝ち上がると、多くの方々が考えるところだと思います。私は正直分かりません。本当に真の力を比べたら、王子谷がわずかに上回っていると思いますが、両先生は佐藤と予想したのは、彼が王子谷の力をいなす実力があると見たからで、私はその意見を尊重したいと思います。昨年の3位とベスト8、共に東京と九州を1位通過しており、甲乙つけがたい両者だと思います。続きまして準決勝戦の対戦を予想していきましょう。

準決勝の対戦について

岡田 これだけ多くの優れた選手が集まる大会ですから、ピンポイントで予想することは困難ですが、なんとかベスト4までの勝ち上がりを考えました。続いては、この4人を前提に、準決勝戦を予想していきたいと思います。岡泉先生から、お願いします。

岡泉 中野と太田は同所属です。中野は昨年の予想座談会でも有力視しており、その通りに日本重量級のホープとしての力をつけてきていると思います。また太田も27歳と、まだ老け込むような年ではなく、むしろ一番良い時期だと思います。組み手でも、ケンカ四つが影響するような選手同士ではないと思います。去年も申し上げましたが、材料としては選抜体重別での100kg超級の試合を見てから考えたいのですが、座談会の時期的にも難しいので、やってみないと分からない要素が多いのが正直なところです。ただ大きなケガなどがなければ、昨年優勝し「今年も勝つ」という中野の意気込みが強いと思うので、気持ちの面で中野が勝つのではないかと予想します。

反対のパート、田嶋と佐藤和哉の試合はあまりイメージが湧かないところです。実業団

の大会などでも、対戦はなかったと記憶しています。気がかりなのは、昨年の実業団体対抗大会で佐藤が81kg級の北條嘉人(パーク24)と対戦し、引き分けたことです。中量級で試合巧者の田嶋が先手で技を掛け続ければ、判定で有利になるかと思います。佐藤が先に投げて勝つ展開も考えられますが、緒戦から王子谷と対戦するなど、ここまで試合でかなり消耗していることが予想されます。田嶋は攻守のバランスが良く、「ここだけ気をつけておけば良い」という相手ではないので、序盤で投げてポイントを奪うことが難しく、田嶋が判定に持ち込んで勝利する可能性が若干高いのではないかと思います。

廣川 中野と太田はグランドスラム東京2024の決勝戦で対戦しており、この時は中野が内股で勝利しています。グランドスラムバレー2025では、直接対決はなかったものの、太田が優勝、中野は3位でした。実力者同士ですが、直接対決の成績から考えると、中野の勝ち上がりを予想するのが妥当ではないかと思います。田嶋と佐藤和哉の対戦ですが、昨年岡泉先生がおっしゃっていたように右下のゾーンは勝ち上がるごとに試合間隔が短くなるというお話があり、タフな試合の中で佐藤がどれだけリカバリーの時間が取れるかが準決勝戦に影響してくると思います。リカバリーの時間の差、そして相手の試合を見ながらの対策を立てられる時間を持てるという2点は、田嶋に有利に働くと思います。右相四つ、この組み合わせと本大会のルールから総合的に判断すると、田嶋の勝ち上がりを予想します。

岡田 ありがとうございました。私も中野対太田は、中野が気持ちの面で有利ではないかと予想します。全日本は中野が昨年優勝して第1シードに配されていますが、選抜体重別では太田が第1シードです。所属でも中野は

準決勝戦予想 ②



田嶋 剛希 VS 佐藤 和哉

(パーク24)

(日本製鉄)

日頃からよく練習をしているという両者。田嶋から佐藤に「先輩、準決勝あたりますね。盛り上がる試合をしましょう」と笑顔で言われたという。両選手ともに、ここまで道のりは厳しいが、実現すれば抜群に面白い試合になることは間違いない!

後輩であり、日本代表の選考では追う立場にあるため、中野が気持ちの面では有利になるかと思います。

田嶋と佐藤和哉は、共に強豪選手の中におり、厳しい勝ち上がりが予想されます。2023年大会の準決勝戦、田嶋は王子谷と対戦し、最後に大内刈で勝負にいったところを返されて敗れましたが、非常に良い試合ぶりでした。ただ延長戦がない現在のルールでは、2年前よりも消耗せずに勝ち上がることができ、佐藤の四回戦を見て準決勝戦のイメージを作つて試合に臨むことができるため、若干有利に試合を進めて決勝に駒を進めると思います。

岡泉 田嶋の勝ち上がりは相当にタフだと思います。原沢、影浦、飯田、佐藤と、厳しい試合が続きます。

岡田 その通りですね。ただ田嶋はそういう選手との試合を心から楽しみにしていますし、投げなくても判定で勝てるというルールであれば、手札が多いので有利な展開を作つて思います。大きな選手に奥襟を持たれて頭を下げさせられた状態からでも、勇気を出して攻めに転じる度胸と技もありますので、期待も込めて勝ち上がりを予想します。

天皇杯のゆくえ

岡田 それではいよいよ中野対田嶋で、決勝戦を予想していきましょう。5分間だった準決勝戦までとは異なり、決勝戦は8分間です。廣川先生、いかがでしょうか?

廣川 お互いに消耗して決勝戦に勝ち進むと思いますが、自分より重い選手たちと戦ってきた田嶋のほうが消耗の度合いが激しいと思います。また中野は昨年決勝の場を踏んでおり、その経験が有利に働くと考えられますし、世界選手権出場を目指し、モチベーションも高いでしょう。田嶋は全日本向きの真っ向勝

負を好む選手ですので、駆け引きをせず、最初から「やるかやられるか」の勝負を仕掛けると思います。田嶋の猛攻を中野が堪え、変化して勝つのではないかと思います。

岡泉 中野がやはり有利ではないかと思いますが、この組み合わせの中で、私たちに決勝まで勝ち上がることを予想させる田嶋は、期待値の高い選手だと改めて思いました。決勝戦まで来た時、田嶋が「出し切った」と満足していなければよいなと思います。この熾烈なトーナメントを勝ち上がって中野との対戦を迎えた時、「ワクワクする」「勝負したい」という気持ちが残っていれば、勝機はあるのではないかという気がします。しかし勝負は甘くない世界ですので、ここまでしっかりと上がってくるための戦いぶりを考慮しつつも、やはり中野が地力を発揮して連覇を達成するのではないかと思います。

岡田 お二方とも中野の勝利を予想されました。私は廣川先生がおっしゃったように、田嶋が開始早々「やるかやられるか」の勝負を中野に挑むという予想は同じですが、そこで田嶋が中野を投げる可能性も十分にあると考えています。田嶋は左右の背負投、接近戦、寝技もできるなど、多彩な技を持っています。田嶋は中野の試合を見ながら、どの技が噛み合うかをイメージして決勝に臨むと思いますので、もし用意した技がハマれば、皆さんのがびっくりするような結果になると思います。そう期待しつつも、皆さんの意見を尊重し、多数決で中野の優勝をここでは予想したいと思います。どちらが勝つにせよ、また決勝に限らず、この大会では面白い試合がたくさんあると思います。小手先の勝負ではなく、真っ向勝負をする柔道本来の面白さが詰まった試合になると思います。

大会への期待

岡田 大会への期待と言えば、ここに齊藤立、永瀬貴規、村尾三四郎、新井道大が加われば、さらに面白い大会になると思います。各選手の事情がありますから、それは尊重しなければならないことですが、彼らが全日本に挑戦するとしたら、オリンピック後の本大会がタイミング的には良かったと思います。それでも永山、阿部、橋本、田中といった軽量級の推薦選手も多く名乗りを上げてくれていて、間違いなく盛り上がると思います。これほど強い選手が名を連ねた全日本は久しぶりなので、早く見たいです。

岡泉 大会運営側からすると、大会を盛り上げることが使命になります。満席になるようサイン会や柔道教室、交流などを企画する流

決勝予想



中野 寛太 VS 田嶋 剛希

(旭化成)

(パーク24)

182cm130kg、豪快な払腰、大外刈に巧みな足技、そして組み手も巧いディフェンディングチャンピオンの中野と、172cm90kg、背負投、袖釣込腰に大内刈、アグレッシブな攻めが身の田嶋。満員の会場が総立ちになるような熱い試合を期待したい!

れがありますが、やはり出場選手が大会を盛り上げるのだということが一番効果的のではないかと、今回の座談会で再認識しました。もちろん、こういった凄い選手たちが出ることを一般の方々に周知することも大切ですし、柔道関係者だけで盛り上がっているだけでは不十分だと多います。「柔道の日本一を決める大会だ」と言える大会になっていますので、私たちのPRの仕方も重要だと感じています。ただ世界チャンピオンが日本にこんなにいる競技は柔道しかありませんから、出る人が出ればやはり盛り上がるのだと思いました。

廣川 私からは2点。大学の教員という立場から、出場選手の中での学生の割合が少ないことが気になっています。所属の移動等がありますが、今回は平見、平野、入来、鈴木、中村の5名でした。柔道界の社会人の層が厚いことの現れでもあります、学生などの若い世代が出席して活躍することは、その後に続く人たちにも刺激になると思います。もう1点は、足取りが再び認められるようになったことです。オールドテクニックとなっていた掬投や朽木倒などの技術が久しぶりに日本武道館で見られることが楽しみです。

岡泉 「決まり技は掬投」って会場アナウンスを聞きたいですね。東京予選でも、掬投などを掛けていた選手がいました。

岡田 東京予選で敗れましたが81kg級の佐々木健志に加え、永瀬や村尾が加わったら

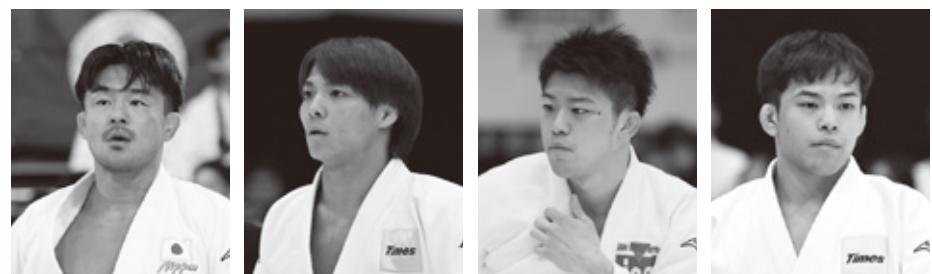
黙っていても人が集まってるでしょう。日本を代表する選手が出場しやすい時期に全日本を開催することが望ましいと思います。ルールについては、冒頭で申し上げたように、細かな罰則で「指導」が与えられることがなくなり、技による攻防と決着が多くなると思われます。また本大会で足取りを解禁したことで、本来の柔道の攻防を世界に発信するよい機会になったと思います。本大会の試合を見た世界の人々が「こういう柔道のほうがダイナミックで面白い」という認識になれば、柔道のルールもまた変わってくるのではないかと思います。日本が今後の柔道のあり方を世界に示していく意味でも、本大会は重要ですし、そうなることを期待しています。

最後になりますが、今回のルール改正がポジティブな結果を生むために、一言だけ申し上げます。改正の狙いは、真っ向勝負をしやすくし、柔道本来の魅力を発信することにあると思います。従って、身体の大きな選手が、ルールを悪用して小さな選手に柔道をさせないようなことがあれば、せっかくの試みが台無しになってしまいます。すべての選手が真的日本一を決める場だということを自覚して、この大会にふさわしい、正々堂々とした柔道をしてくれることを期待します。

皆さん、本日はありがとうございました。

(文中敬称略)

(提供：講道館機関誌『柔道』編輯部)



ケガのリスクもある中、果敢に体重無差別の全日本選手権にチャレンジするパリオリンピックのメダリストと昨年の世界選手権チャンピオンたち(左から橋本、阿部、田中、永山)。彼らの戦いぶりにも大いに注目してほしい

出場選手データ

※これは、令和7年3月20日にエントリーされた時点でのデータです(段位、年齢、職業は大会当日)

■段位

	令2	令3	令4	令5	令6	令7
六段			1	2	1	1
五段	13	10	15	4	9	12
四段	14	14	9	13	12	13
参段	23	21	22	21	20	21

■年齢

	令2	令3	令4	令5	令6	令7	
最高	35	33	33	34	33	33	橋本壮市
最低	19	19	20	18	18	18	平野匠啓
平均	25.5	25.9	26.2	25.8	26.2	26.2	

■身長

	令2	令3	令4	令5	令6	令7	
最高	193	193	193	193	194	191	原沢久喜
最低	156	173	160	170	168	156	永山竜樹
平均	180.0	180.6	179.7	181.9	180.4	178.5	

■体重

	令2	令3	令4	令5	令6	令7	
最高	150	165	160	155	145	160	入来巨助
最低	65	73	60	81	81	65	永山竜樹
平均	105.1	107.5	109.2	113.2	109.3	105.6	

■職業

	令2	令3	令4	令5	令6	令7
警察官	14	7	13	12	14	14
会社員	27	24	26	17	20	26
教職員	2	1	1	2	1	1
刑務官	0	3	1	1	3	1
学生	6	7	5	6	3	5
その他	1	3	1	2	1	0

■出身校(在学生含む)

	令2	令3	令4	令5	令6	令7
東海大	15	11	13	15	12	14
天理大	5	4	7	5	8	9
日本大	3	2	4	2	5	5
筑波大	5	3	6	5	4	4
国士館大	6	8	4	3	3	4
明治大	4	5	6	2	1	4
日本体育大	2			1	1	3
山梨学院大	2	2			1	2
國學院大		2		1	1	1
羽黒高					1	1
近畿大	2	2	1	1	1	
星槎道都大				1	1	
岡山商科大				1	1	
鹿屋体育大					1	
関西大					1	
中央大	2	2	1	1		
弘前大		1		1		
福岡大	2	1		1		
札幌大		1	1			
金沢学院大		1	1			
埼玉大			1			
早稲田大			1			
桐蔭横浜大			1			
松山大	1					
大東文化大	1					

全日本柔道選手権大会

■令和7年 全日本柔道選手権 選手出場回数

回数	氏名	地区	出場年
13	王子谷剛志	九州	H23 H26 H27 H28 H29 H30 H31 R02 R03 R04 R05 R06 R07
11	原沢 久喜	推薦	H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 R04 R05 R06 R07
8	影浦 心	東京	H26 H30 H31 R02 R03 R04 R06 R07
	佐藤 和哉	東京	H25 H26 H31 R02 R03 R06 R07
	太田 彰雅	東京	H30 H31 R02 R03 R04 R05 R07
	香川 大吾	東京	H26 H27 H29 R03 R04 R06 R07
	中野 寛太	推薦	H30 H31 R02 R04 R05 R06 R07
7	小川 竜昂	近畿	H28 H29 R02 R03 R04 R07
	高木 育純	四国	R02 R03 R04 R05 R06 R07
	飯田健太郎	東京	H30 H31 R02 R06 R07
	飯田 健伍	中国	H24 H28 R02 R03 R07
	ウルフアロン	九州	H26 H27 H29 H31 R07
6	横田 雄斗	北海道	R02 R03 R04 R07
	上林山裕馬	九州	H30 H31 R05 R07
	阿部 拓馬	東北	R04 R06 R07
	グリーンカラニ海斗	東京	R05 R06 R07
3	星野 太駿	北信越	R05 R06 R07
	古田 伸悟	近畿	R02 R03 R07
	後藤 龍	九州	R02 R06 R07
	永山 竜樹	推薦	R02 R07
	田嶋 剛希	推薦	R05 R07
	橋本 壮市	推薦	H30 R07
	佐藤佑治郎	東北	R06 R07
2	神垣 和他	関東	H30 R07
	島山 竜弥	関東	R06 R07
	山下 魁輝	関東	H30 R07
	木元 拓人	東京	H30 R07
	東部 直希	東京	R06 R07
	丸山 晃志	北信越	R06 R07
	米山 竜生	東海	R05 R07
	新田 朋哉	近畿	R06 R07
	村上 大樹	四国	R06 R07
	西本 幸弥	九州	R02 R07
	鈴木 直登	九州	R02 R07
1	阿部一二三	推薦	
	田中 龍馬	推薦	
	堀川 拓哉	北海道	
	菅原 幸大	関東	
	平野 匠啓	関東	
	入来 巨助	関東	
	増山 香補	東京	
	中村 俊太	東京	
	並木 泰雅	東海	
	鈴木 太陽	近畿	
	平見 陸	近畿	
	向井 球真	近畿	
	福永 夏生	中国	

R07

■職業別

	推薦	東京	近畿	九州	関東	北海道	東北	北信越	東海	中国	四国	計
警察官 刑務官 自衛官				上林山 西本	山下	横田 堀川	阿部(拓) 佐藤(佑)	星野 丸山	並木 米山	飯田(健伍) 福永	高木 村上	15
学生				新田 平見 向井	平野 入来							5
会社員		中野 原沢 阿部(一) 田嶋 田中 永山 橋本	佐藤(和) 木元 グリーン 飯田(健太) 太田 中村 影浦 増山 東部 香川	王子谷 鈴木 西本 上林山 ウルフ 後藤	神垣 菅原 畠山							26
教職員他				古田								1

■出身校別(大学在学生を含む)

	推薦	東京	近畿	九州	関東	北海道	東北	北信越	東海	中国	四国	計
東海大	永山 橋本	太田 影浦 香川		王子谷 鈴木 西本 上林山 ウルフ 後藤		堀川		星野	米山			14
天理大		中野		鈴木 平見 新田 古田 向井	平野			丸山		高木	9	
日本大	原沢	佐藤(和) 木元 東部								村上	5	
筑波大	田嶋 田中			入来	阿部(拓)						4	
国士館大	飯田(健太)	小川		山下	横田						4	
明治大	増山			神垣					並木	福永	4	
日本体育大	阿部(一)	グリーン		菅原							3	
山梨学院大				畠山					飯田(健伍)		2	
國學院大		中村									1	
羽黒高					佐藤(佑)						1	

令和7年 全日本柔道選手権大会 地区予選主要記録

北海道

横田雄斗が 6年ぶり2度目の代表に

優勝：横田 雄斗(北海道警察)

2位：堀川 拓哉(警視庁)

3位：澁谷裕次郎(北海道警察)

[予選トーナメントAブロック]

▼ブロック準決勝

横田 雄斗○ 扱 腰 △木村 祐太
(北海道警察) (公務員)

瀧田真太郎● 優勢[僅差] △高道祐太郎
(北海道警察) (北海道警察)

▼ブロック決勝

横田 雄斗○ 合 技 △瀧田真太郎

[予選トーナメントBブロック]

▼ブロック準決勝

中村 亮介○ 大 内 刈 △駒走翔太郎
(北海道警察) (刑務官)

堀川 拓哉○ 合 技 △吉田 幸平
(警視庁) (北海道警察)

▼ブロック決勝

堀川 拓哉○ 合 技△ 中村 亮介

[予選トーナメントCブロック]

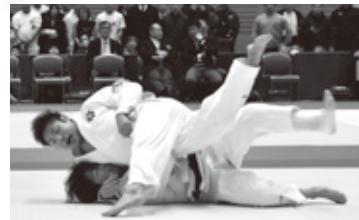
▼ブロック準決勝

古場 幸能○ 優勢[大外刈] △廣海 隼人
(札幌大) (北海道警察)

澁谷裕次郎● 優勢[僅差] △相木 飛磨
(北海道警察) (北海道警察)

▼ブロック決勝

澁谷裕次郎● 優勢[僅差] △古場 幸能



決勝リーグ。横田が堀川から「技あり」を奪う



決勝リーグ。堀川が腕挫十字固で澁谷に一本勝ち

[決勝リーグ・試合結果]

	横田 雄斗	堀川 拓哉	澁谷裕次郎	戦績	順位
横田 雄斗		○ 合技	○ 腕挫十字固	2勝0敗	1位
堀川 拓哉	△		○ 腕挫十字固	1勝1敗	2位
澁谷裕次郎	△	△		0勝2敗	3位

東 北

阿部拓馬、佐藤佑治郎が 今年も全日本出場決める

優勝：阿部 拓馬(山形・山形県警察)

2位：佐藤佑治郎(山形・山形県警察)

3位：片山 謙心(福島・田村高校)

▼予選トーナメント2回戦

佐々木 成○ 反 則 △高橋 諒
(盛岡少年刑務所) (秋田県警察)

阿部 拓馬○ 横四方固 △伊藤 裕輝
(山形県警察) (福島刑務所)

佐々木 輝○ 小 外 掛 △神成 太壽
(秋田県警察) (青森刑務所)

片山 謙心● 優勢[僅差] △後藤 昌毅
(田村高校) (山形県警察)

佐藤佑治郎○ 背 負 投 △菊地 諒
(山形県警察) (秋田県警察)

高橋 幸汰● 優勢[僅差] △我妻 賢吾
(東北学院大学) (田村高校)

▼予選トーナメント3回戦

阿部 拓馬● 優勢[僅差] △佐々木 成

片山 謙心○ 片 十字 絞 △佐々木 輝

佐藤佑治郎○ 背 負 投 △高橋 幸汰



入賞者。左から3位の片山、優勝の阿部、2位の佐藤



決勝リーグ、阿部と片山の熱戦の様子

	阿部 拓馬	佐藤佑治郎	片山 謙心	戦績	順位
阿部 拓馬		○ 不戦勝	△ 横四方固	2勝0敗	1位
片山 謙心	△		△	0勝2敗	3位
佐藤佑治郎	△	○ 横四方固		1勝1敗	2位

関 東

高校生の平野匠啓が 関東大会を制し全日本へ



優勝：平野 匠啓(埼玉・埼玉栄高校)
 2位：神垣 和他(千葉・京葉ガス)
 3位：菅原 幸大(千葉・SBC湘南美容クリニック)
 4位：畠山 龍弥(千葉・京葉ガス)
 5位：入来 巨助(茨城・筑波大学)
 6位：山下 魁輝(神奈川・神奈川県警察)

▼準々決勝

畠山 龍弥○ 優勢[僅差] △藤永龍太郎(京葉ガス)

平野 匠啓○ 優勢[僅差] 黒田 佑斗(埼玉栄高校)

神垣 和他○ 優勢[僅差] △山下 魁輝(京葉ガス)

菅原 幸大○ 優勢[小外刈] △川島 溪太(SBC湘南美容クリニック)

▼全日本選手権出場者決定戦

入来 巨助○ 優勢[小内刈] △岩渕 晃大

山下 魁輝○ 優勢[僅差] △西願寺哲平

▼5位・6位決定戦

入来 巨助○ 不戦 △山下 魁輝(神奈川県警察)

▼準決勝

平野 匠啓○ 不戦 △畠山 龍弥

神垣 和他○ 崩上四方固 △菅原 幸大

▼3位決定戦

菅原 幸大○ 不戦 △畠山 龍弥

▼決勝

平野 匠啓○ 被裟固 △神垣 和他

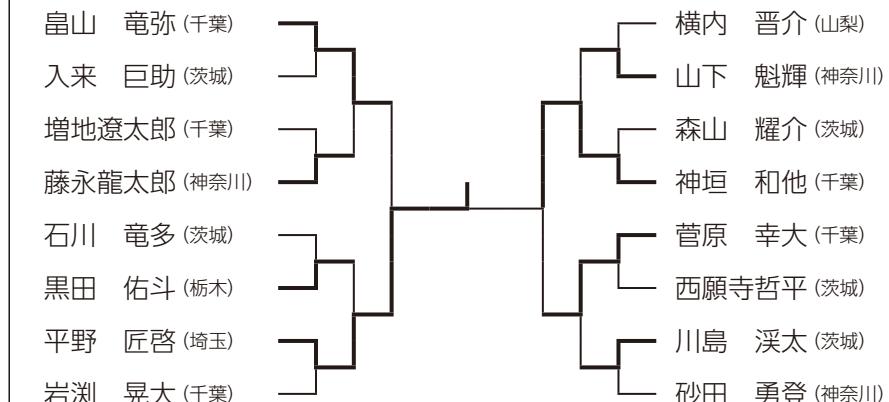


本戦出場者。右から優勝の平野、2位の神垣、3位の菅原、4位の畠山、5位の入来、6位の山下



決勝。平野が隅落で神垣から「有効」を奪い、袈裟固に抑え一本勝ち

■関東トーナメント(ベスト16以上)



東 京

佐藤和哉が6年ぶりに東京制覇 悲願の全日本優勝に闘志燃やす



優勝：佐藤 和哉(日本製鉄)

2位：木元 拓人(日本製鉄)

3位：グリーンカラニ海斗(パーク24)

3位：飯田健太郎(旭化成)

5位：太田 彪雅(旭化成)

5位：中村 俊太(國學院大学)

5位：影浦 心(日本中央競馬会)

5位：増山 香補(パーク24)

代表選手：東部 直希(日本中央競馬会)

推薦選手：香川 大吾(ALSOK)

▼トーナメント5回戦

中村 俊太○ 反則 △東部 直希

木元 拓人○ 朽木倒 △海堀 陽弥

飯田健太郎○ 背負投 △熊坂 光貴

増山 香補○ 優勢[僅差] △森 健心

グリーンカラニ海斗○ 大内刈 △一色 勇輝

影浦 心○ 優勢[僅差] △小川 雄勢

太田 彪雅○ 合技 △佐々木勇翔

佐藤 和哉○ 横四方固 △井手 翔真

▼代表選手決定戦

東部 直希○ 優勢[有効] △佐々木勇翔

▼準々決勝

木元 拓人○ 扱巻込 △中村 俊太

飯田健太郎○ 優勢[僅差] △増山 香補

グリーンカラニ海斗○ 優勢[僅差] △影浦 心

佐藤 和哉○ 不戦 △太田 彪雅

▼準決勝

木元 拓人○ 崩上四方固 △飯田健太郎

佐藤 和哉○ 優勢[僅差] △グリーンカラニ海斗



本戦出場を決めた選手たち。右から優勝の佐藤、2位の木元、3位の飯田、グリーンカラニ、5位の中村、影浦、増山、太田と東部

▼決勝

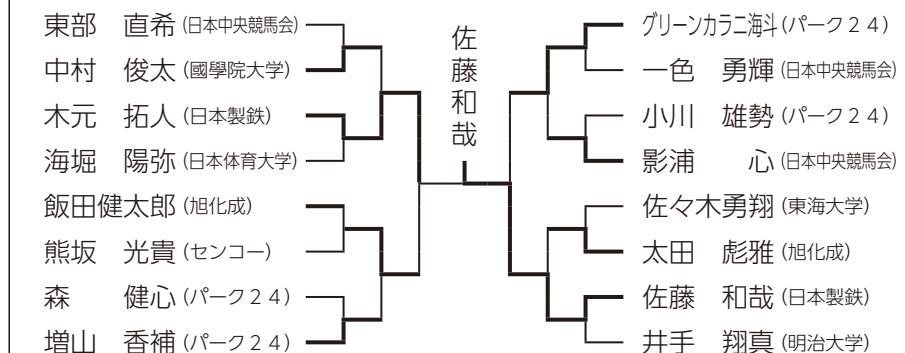
佐藤 和哉○ 優勢[僅差] △木元 拓人



決勝。木元を大外刈で攻める佐藤

優勝旗を授受する佐藤。

■東京トーナメント(ベスト16以上)



北信越

星野太駆が連覇で 3年連続の全日本へ

優勝：星野 太駆（新潟・新潟県警察）

2位：丸山 晃志（新潟・新潟県警察）

3位：中川 直治（石川・金沢刑務所）

▼準決勝

星野 太駆○ 優勢[僅差] △中川 直治

丸山 晃志○ 大内 刈 △近藤 拓也

▼決勝

星野 太駆○ 裂 紗 固 △丸山 晃志

▼敗者復活最終戦(2位決定戦)

丸山 晃志○ 優勢[僅差] △中川 直治

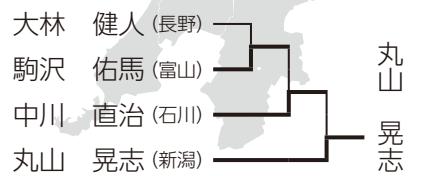
■北信越トーナメント(ベスト8以上)



本戦出場を決めた星野(右)と丸山

■敗者復活戦

*優勝者に敗れた選手によるトーナメント



東 海

並木泰雅が初優勝で 初の全日本選手権出場決める

優勝：並木 泰雅（三重・三重県警察）

2位：米山 竜生（静岡・静岡県警察）

3位：石川 智啓（愛知・アドヴィックス）

4位：南 大志（三重・皇學館大）

▼予選Aリーグ順位

1位：石川 智啓（愛知・アドヴィックス）

2位：並木 泰雅（三重・三重県警察）

3位：松垣 游太（岐阜・岐阜県警察）

4位：井上 直弥（静岡・静岡県警察）

▼予選Bリーグ順位

1位：南 大志（三重・皇學館大）

2位：米山 竜生（静岡・静岡県警察）

3位：岩崎 渉（岐阜・岐阜県警察）

4位：下田 雄太（愛知・アドヴィックス）

[決勝リーグ・試合結果]

	南 大志	石川 智啓	米山 竜生	並木 泰雅	戦績	順位
南 大志		△	○ 技あり	△	1勝2敗	4位
石川 智啓	○ 小外刈		△	△	1勝2敗	3位
米山 竜生	△	○ 有効		○ 有効	2勝1敗	2位
並木 泰雅	○ 合技	○ 儅差	△		2勝1敗	1位

*予選リーグで対戦した対戦者は決勝リーグでは再戦はせず、予選リーグの結果を決勝リーグの成績として反映させる

近畿

鈴木太陽が初優勝で全日本出場 天理大学生が本戦に4名進出

優勝：鈴木 太陽（奈良・天理大学）

2位：小川 竜昂（兵庫・日本製鉄）

3位：新田 朋哉（奈良・天理大学）

3位：平見 陸（奈良・天理大学）

5位：古田 伸悟（兵庫・育英高校教員）

5位：向井 球真（奈良・天理大学）

▼準々決勝

新田 朋哉○ 優勢[有効] △古田 伸悟

(天理大) (育英高校教)

小川 竜昂○ 優勢[僅差] △山本 瑛介

(日本製鉄) (大阪府警察)

平見 陸○ 体 落 △向井 球真

(天理大) (天理大)

鈴木 太陽○ 優勢[僅差] △辻本 拓記

(天理大) (兵庫県警察)

▼5位決定戦(全日本選手権出場者決定戦)

古田 伸悟○ 巴 投 △山本 瑛介

向井 球真○ 優勢[僅差] △辻本 拓記

▼準決勝

小川 竜昂○ 優勢[技あり] △新田 朋哉

鈴木 太陽○ 不 戰 △平見 陸

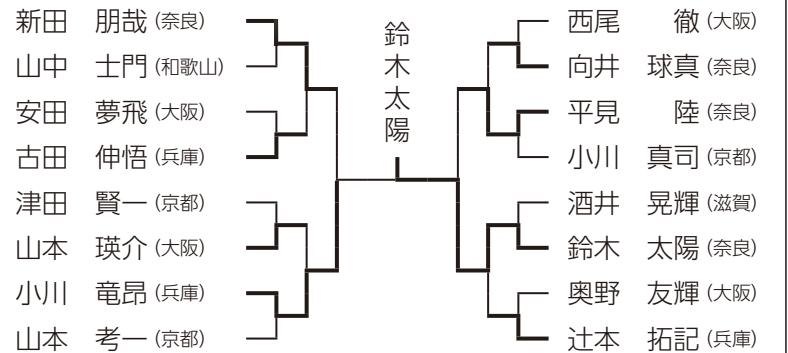
▼決勝

鈴木 太陽○ 優勢[僅差] △小川 竜昂



本戦出場者。右から優勝の鈴木、2位の小川、3位の平見と新田、5位の古田と向井

■近畿トーナメント(ベスト16以上)



中 国

ベテラン・飯田健伍が優勝 4年ぶり5度目の全日本出場果たす



優勝：飯田 健伍（広島・広島県警察）

2位：福永 夏生（山口・山口県警察）

3位：大坂常汰朗（広島・崇徳高校）

4位：枇杷木勇樹（広島・広島刑務所）

▼準々決勝

枇杷木勇樹○ 優勢[技あり] △美濃 大将（広島・広島刑務所）（鳥取・鳥取刑務所）

福永 夏生○ GS 反則 △八木 郁実（山口・山口県警察）（広島・広島県警察）

大坂常汰朗○ GS 反則 △中原 翔大

（岡山・崇徳高） （鳥取・鳥取県警察）

飯田 健伍○ 縦 四方 固 △石田 清吏（広島・広島県警察） （山口・東亞大）

▼準決勝

福永 夏生○ 合 技 △枇杷木勇樹

飯田 健伍○ 支釣込足 △大坂常汰朗

▼3位決定戦

大坂常汰朗○ 不 戰 △枇杷木勇樹

▼決勝

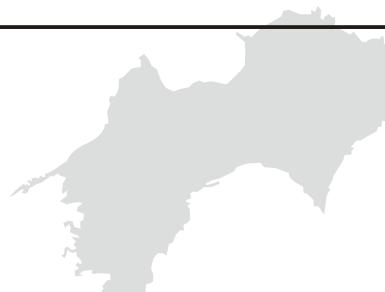
飯田 健伍○ 合 技 △福永 夏生



表彰式。優勝の飯田(左)と2位の福永

四 国

高木が四国大会V6! 6度目の全日本選手権出場



優勝：高木 育純（香川・香川県警察）

2位：村上 大樹（愛媛・愛媛県警察）

3位：岩崎 恒紀（香川・香川県警察）

【予選A組リーグ戦】

1位：村上 大樹（愛媛・愛媛県警察）

2位：岩崎 恒紀（香川・香川県警察）

3位：松長 佳吾（徳島・徳島県警察）

4位：石河 匠（高知・高知県警察）

【予選B組リーグ戦】

1位：高木 育純（香川・香川県警察）

2位：福井 健太（愛媛・愛媛県警察）

3位：川村 陸（高知・高知県警察）

4位：堀田 雅大（徳島・徳島北高校教員）

▼準決勝

村上 大樹○ 優 勢 △福井 健太

高木 育純○ 大 外 刈 △岩崎 恒紀

▼3位決定戦

岩崎 恒紀○ 不 戰 △福井 健太

▼決勝

高木 育純○ 体 落 △村上 大樹



表彰式。優勝の高木(手前)と2位の村上

九 州

王子谷剛志、圧巻のオール一本勝ち 5度目の全日本王者目指す



優勝：王子谷剛志（旭化成）

2位：鈴木 直登（旭化成）

3位：西本 幸弥（福岡県警察）

3位：上林山裕馬（福岡県警察）

5位：後藤 龍真（旭化成）

5位：ウルファロン（パーク24）

▼準々決勝

王子谷剛志○ 体 落 △安田 拓洋（旭化成）

西本 幸弥○ 押 投 △ウルファロン（パーク24）

鈴木 直登○ 扱 腰 △田中慎太郎（福岡県警察）

上林山裕馬○ 肩 車 △後藤 龍真（福岡県警察）

（旭化成）

▼全日本選手権出場者決定戦

後藤 龍真○ 優勢[有効] △安田 拓洋

ウルファロン○ 大 外 刈 △田中慎太郎

▼準決勝

王子谷剛志○ 片 羽 絞 △西本 幸弥

鈴木 直登○ 腕挫十字固 △上林山裕馬

▼決勝

王子谷剛志○ 崩上四方固 △鈴木 直登



本戦出場選手。左から優勝の王子谷、2位の鈴木、3位の上林山、西本、5位のウルフ、後藤



決勝戦の様子

■九州トーナメント(ベスト16以上)

王子谷剛志（旭化成）

西田 将樹（熊本県警察）

安田 拓洋（長崎日大高教）

川田 修平（旭化成）

上林山勇斗（鹿児島県警察）

西本 幸弥（福岡県警察）

渡邊 大樹（熊本県警察）

ウルファロン（パーク24）

王子
谷
剛
志

田中慎太郎（福岡県警察）

永田 賢斗（長崎刑務所）

森 雅顕（熊本県警察）

鈴木 直登（旭化成）

上林山裕馬（福岡県警察）

江藤 康太（熊本県警察）

笠原 大雅（福岡県警察）

後藤 龍真（旭化成）

【特別企画】

全日本選手権を彩った 名選手たち



Vol.12

プログラムの特別企画として毎回好評をいただいている『全日本選手権を彩った名選手たち』。かつて全日本選手権に出場した選手たちに、ご自身の全日本選手権の思い出、全日本選手権への思いをお聞きして

いるこの企画も、いつの間にか12回目を迎えた。誌面の都合上、今年もわずか5名ではあるが、日本武道館のひのき舞台で熱い戦いを見てくれた柔道家にお話をお聞きした。

取材◎西森 大／林 翼



養父直人

◎出場12回(平成2、4~14年出場)

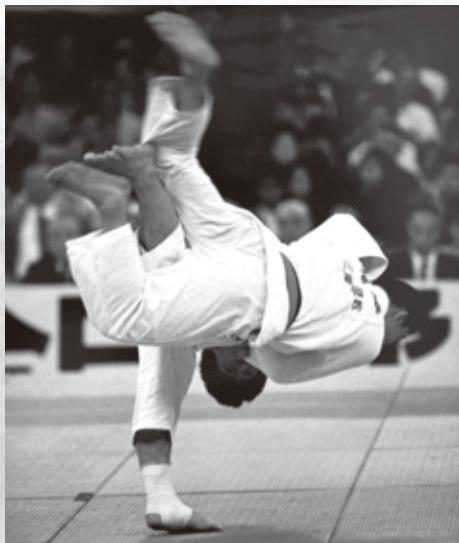
天理大学2年の時に初めて出場してベスト8。緊張して何をしているか分からぬうちに勝ってしまった印象です。さらに上位をと意気込んだ翌年は、近畿予選で中谷弘さんに判定負け。出られませんでした。その年は中谷さんが3位入賞、当時の近畿はレベルが高かったです。それから毎年近畿予選には慎重に挑むようになりました。当時、一番プレッシャーがかかる大会でした。

私の柔道は、オーソドックスに釣り手と引き手、両方ともしっかりと持つ、「一本」を取りにいくスタイル。「一本」を取りにいった技がうまくかからなかつたら「技あり」や「有効」になる。そんな意識でした。天理の

先生方の指導がそうでしたし、私自身もその柔道に魅力を感じていました。

天理大を卒業して新日鐵広畠に進みました。仕事に慣れるまでは大変でしたけど、練習相手が充実していて、普段からすごくいい練習ができました。ケガした時のケアやトレーニングも専門家に見てもらえるようになって、技の切れも増したと思います。26歳くらいまでは優勝してオリンピックに出たい、という気持ちでした。しかし、小川直也さんと金野潤さんに勝てず、3年連続で3位。やっぱり1回は優勝したかったですね。いろんな人からよく聞かれるのが「小川直也さんと篠原信一さんはどっちが強かった?」。小川さんは強かったです。リーチが長くなんとかしようとしてもできない。だけど投げられる気はそれほどしなかった。後輩の篠原は怖いけど、自分にも投げるチャンスはあった。そんな感じですね。

途中から母校の天理高校で指導するようになりました。その後は10回出場が目標になりました。教え子の高校生を付き人として全日本選手権に連れていいくというのもモチベーションになっていました。一番印象に残っている試合は、最後12回目に登場した時です。初出場の向川肇さんに払腰できれいに一本負け。豪快に投げられたことで、「やるだけのことはやりきった」という気持ちになりました。実はこの年は、教え子の穴井隆将と一緒に出場を狙っていたんです。現役高校生と先生が同時に出場というのは後にも先にもないだろう、やってみよう。結果、彼が近畿予選で敗れたので果たせなかったんですが、本番では付き人をしてもらいました。その後、彼は平成21年、平成25年と全日本選手権で2回優勝する選手に成長してくれた。嬉しかったですよ。今回の大会にも教え子の古田伸悟(育英高校教員)が、私と同じように教員をやりながら出場します。頑張ってほしいです。



◎出場2回(平成3、5年出場)
山崎茂樹

全日本選手権を意識したのは、近畿大学を卒業後、旭化成に入社してからです。学生時代は体重別で国際大会を目指す気持ちが強かったので、周囲の全日本選手権への思いや評価の高さに驚きました。初出場は社会人2年目。実は入社後しばらくは環境の変化に戸惑い、調子を崩していました。学生時代は組み手で優位に立ち、相手が嫌がって切りにくるところに合わせて投げるのが得意でしたが、延岡の先輩たちは、こちらがいい組み手になんでも切りにこない。トレーニングも山や海辺を走るのが中心。自分の柔道が分からなくなっていました。しかし関東や関西への出稽古が認められるようになりました、徐々に調子を取り戻し、九州予選を3位で突破しました。

準々決勝で小川直也さんと対戦する組合せだったので、勝つつもりで準備をしていました。しかし、大会1週間前に左肩の靱帯を断裂、柔道人生で一番大きなケガでした。一旦は出場を諦めましたが、当時の大迫明伸コーチをはじめ、全日本選手権の重みを知る先生方から説得され、部分麻酔を打って畠に上がることを決めました。

初戦の相手は、近大福山高校の後輩、葉山充さん。左手はほとんど使えませんでしたが、体は疲れが抜けてよく動き、腕挫十字固で一本勝ち。いけそうだという手応えを得ました。2回戦は中村佳央さん。右相四つから腕を一本背負投のように抱える左大外刈で一本勝ち。この日はスタミナに不安があり早く決めたい意識があったので思い切りが良かった。麻酔注射は3回までと言われており、この試合のあと最後の注射をし、テープでしっかりと固定しました。3回戦の堀越英範さんはケンカ四つ。内股で基本通り相手の股の真ん中をすくうことができました。準々決勝、小川さんとの試合では、大迫さんから「相四つの背負投を無防備に受ける癖がある」と助言を受けていました。実際、大迫さんはその数年前に左背負投で小川さんを何度も浮かせて勝っています。どのタイミングで仕掛けるかがカギで、「最後まで取っておけ」と言われていたのですが、開始早々にチャンスが来て、かけてしまった。きれいに投げて観客も沸いたのですが、判定は「有効」。その後は小川さんに、左手に力が入っていないことがばれたのでしょうか、最後は左脇をすくわれ肩の痛みに耐え切れず「参った」しました。勝って大迫さんと握手する映像が浮かんでいたのですが…残念でした。

全日本選手権の価値を本当に理解できたのは、現役を引退した後です。あの場所に立ち活躍したこと、いろいろな方の記憶に残り、自分自身にとっても立ち返る場所になっています。19年前から仕事のかたわら「新越谷 山崎道場」という道場を立ち上げ、子どもたちに柔道を教えています。全日本選手権の舞台で学んだことも含め、私を取り巻く様々な方へ柔道の魅力を伝えていきたいと思います。



窟田 茂
◎出場7回(平成6~12年)

私は小学校4年生から柔道を始めたんですけど、全日本選手権はテレビで見ていました。その頃の私にとっては、全日本選手権というのはテレビで見る大会。出ている選手は世界選手権やオリンピック、国内外で活躍するような凄い選手ということで、なんというか、遠い憧れの大会という感じでした。年齢も所属も関係なく、体重無差別でその年の日本一を決めるというのが、子供ながらにかく凄い大会だなと思っていました。

初めて全日本選手権に挑戦したのは20歳、東海大学2年の時でした。講道館で行われた東京都予選の出場決定戦で、大学の先輩である

北田晃三さんにたまたま勝てて、凄く嬉しかった記憶があります。それで3年生になった4月に初めて出場しました。

初めての全日本選手権は、試合場は1mくらい高くなっているし1試合場しかないという、それまでに経験したことのない独特の雰囲気で、とにかく緊張しました。結果は初戦敗退。試合が終わって、夕方帰る時に「今日は緊張しすぎて、何もできないまま終わっちゃったなあ」と思ったことを覚えています。

全日本選手権には7回出させていただいて、あまり結果は出せなかつたんですけど、非常にいい経験をさせていただきました。全日本に出てくる選手は皆さん本当に強くて、なかなか勝つことはできませんでした。あの頃は、どうやったら勝てるだろうとずっと考えていた気がします。平成12年、その年が最後の出場になったのですが、2回勝ってベスト8に上がって、最後は篠原(信一)さんに内股で投げられました。

印象に残っている大会は2回目の出場の時ですかね。2回戦で北海道警察の野村幸生さんとあたったんですが、たまたまきれいに内股が決まりまして。あれは嬉しかったですね。その後、3回戦で大学の先輩の中村佳央さんに判定で負けたんですけど、もし中村さんに勝っていたら、静岡の同じ道場出身の秋山勝彦さんと試合できるということで、なんとか試合したかったなあというのもありました。

会社(旭化成)の後輩たちが出ていることもあって、今でも全日本選手権はいつも見ています。延岡に住んでいるのでテレビで見ることばかりですが、たまには日本武道館で見たいなとは思います。やはりテレビで見ると、実際に現場で見るのは、空気が全然違いますからね。

今年はルールも変わったりして軽い選手もたくさん出ていて面白い大会になりそうですし、とても楽しみです。

全日本選手権を彩った名選手たち



大瀧賢司

◎出場4回(平成4~6年、10年)

初めて全日本選手権に出場したのは平成4年、明治大学4年の時でした。私が大学に入った時、4年生に小川直也さん、3年生に石田輝也さん、2年生に吉田秀彦さん、その他にも錚々たる先輩方がいて、練習は本当にきつかったです。当時、練習は日本一長かったんじゃないかなと思います。乱取でも、時間を計るような練習はしてなくて、一人の相手と30分~40分やるのが普通で、1日で乱取する相手は4~5人くらいだったと思います。高校時代に125kgくらいあった体重が、大学に入って1か月で20kg落ちました。

全日本選手権を知ったのは、中学か高校の頃だったと思います。今の人々は夢と言ったらオリンピックというかもしれません、私の夢は、

全日本選手権に出場することでした。ただ、実際に目標というか、出たいという気持ちになったのは、大学に入ってからでした。

初めて出場した平成4年の大会は、自分でもよく分からぬうちに、決勝まで上がっちゃったんですよね。1回戦は、3年前の決勝で小川さんと戦った関根英之さん、3回戦は中村佳央さん、で準決勝は三谷浩一郎さん。本当に強い選手ばかりでしたが、チャレンジャーという気持ちで向かっていったのがよかったです。緊張を感じることもなく意外に冷静に戦えました。

決勝は小川さんでした。この年はバルセロナ五輪の年だったんですけど、小川さんはとにかく強かったです。私自身は決勝に上がったことで、実力は十分に出せたし、小川先輩の援護射撃というわけじゃないけど、少しは大学や先生方に結果で恩返しできたかなという気持ちでした。決勝はどれだけいい試合をして、いい負け方ができるかとそんなことを考えていました。普段の練習では、小川さんと毎日30~40分やっていて、1週間やって2回くらいしか投げれない、それほどの実力差でしたから、小川さんに勝つことは考えられなかったです。

その後、全日本選手権には3回出場しましたが、2回、養父直人さんに判定で負けています。彼とは、なんか相性が悪かったです。

私はそんなに技の切れる選手ではありませんでしたが、よかったことは左右の技を同じように掛けられたことですかね。もともとは右組みだったんですが、当時「左は世界を制す」なんて言っていたんで左に変えようとしたんですけど、中途半端に両方使うようになっちゃったんです。

いまは、会社(日本中央競馬会)の後輩や母校(明治大)の活躍、それと高校生の息子の試合を楽しみにしていますが、やはり全日本選手権は、今でも楽しみですよね。息子を全日本選手権に連れて行った時に、プログラムを見て、息子の私に対する評価が少し上がったみたいで、ちょっと嬉しかったです(笑)。



高橋宏明

◎出場8回(平成12~19年出場)

初めて全日本選手権の舞台に立ったのは、旭化成に入って2年目です。中央大学を卒業、東京から延岡に行き、下出善紀さんや松村浩二さん、繁昌久哲さんなど全日本選手権で活躍された先輩たちとガングン練習することで、自分でも「力がついている」と実感できました。延岡の水が合ったんでしょうね、特にギャップを感じなかった。全日本の強化選手でもあったので、延岡での練習と代表合宿、両方のバランスも良かったと思います。

8回出場した中で一番印象に残っているのは、初出場の時、3回戦

で対戦した三谷浩一郎さんの試合です。三谷さんは当時もうベテランの域に入っていましたが、技の切れ味は健在、よく稽古もつけていただけていました。左の相四つで大外刈をかけたら、大外返からの払腰で「技あり」を奪われました。三谷さん得意の「後の先」です。観客の沸き方が凄かったのをよく覚えています。この時、なぜだか「次に掛けたら投げられるんじゃないかな」と思ったんです。今度は自分が投げて観客を沸かせたいという気持ちもありました。そして試合の後半、もう一度思い切って大外刈に入ったら、今度は「一本」になった。後で講道館の先生から「教本にしたいくらいの技だった」と声を掛けいただき、嬉しかったですね。

全日本選手権は誰もが憧れ、出たい、出られたら今度は勝ちたい、そして勝てたら今度は上位入賞したいと思う大会です。当時、篠原信一さん、井上康生さん、鈴木桂治さん、棟田康幸さんなど錚々たるメンバーと戦いました。その辺りのメンバーとは壁がありましたね。当時は出場しないといけない大会も多く、うまくピークを合わせるのが難しかった。ヒザや足首、腰などケガと付き合いながら出場し、力を出し切れなかったり、ちょっとしたミスをしたり。結局3回ベスト8に進みながら一度も3位入賞を果たせなかった。そこは心残りです。いま娘の瑠璃(SBC湘南美容クリニック、2019年世界ジュニア選手権78kg超級優勝)も全日本女子選手権の優勝を目指しています。うまくピークを合わせることを考えていると思います。ぜひ皇后盃のタイトルを手にしてほしいですね。

現役を引退してからは講道館の指導員となり、母校・中央大学のコーチも務めました。全日本選手権は、見る側になんでも心躍る大会ですね。最高峰の大会で多くの期待を受けて戦った経験は、私にとって誇りになっています。

KU SAKURA サウナスーツ

あらゆるシーンで必要な、ウェイトコントロールを支える
サウナスーツが完成。
着用することで、深部体温を上げ、発汗を促進します。

サウナスーツ 上衣
JSS1C□B ¥12,100(税込)
サウナスーツ ズボン
JSS1P□B ¥12,100(税込)

※□=サイズ

- 素材:
本体／ポリエステル89%
ポリウレタン11%
(裏／ポリウレタン100%)
リブ部分／ポリエステル100%
- カラー: ブラック
- 中国製



コンパクトに収納。
持ち運びに便利なポーチ付。

ネックリブは、深部
の熱を逃がさない
設計。



パンツの裾口も、フライス幅を広げることで
フィット感と、動きやすさがあります。



袖のリブはワイドなデザインを採用し、グリップへの
汗の侵入を軽減。



手首のフライス幅を広げることでフィット感があり、
道衣の中に着用しても、
もたつきがありません。

※ワイドサイズ／ノースリーブもございます
お問い合わせください

サウナスーツ 適合サイズ

※下記サイズはあくまでも目安です。ご了承ください。

サイズ	0号	1号	2号	3号	4号	5号	6号
身長	130~150cm	140~160cm	150~170cm	160~180cm	170~190cm	180~200cm	190cm~
胸囲	50~70cm	60~80cm	70~90cm	80~100cm	90~110cm	100~120cm	110~130cm
ウエスト	~50cm	50~60cm	60~70cm	70~80cm	80~90cm	90~100cm	100cm~
体重	~40kg	40~53kg	53~66kg	66~80kg	80~94kg	94~105kg	105~116kg



軽量で伸縮性があり、動作の妨げにならない設計。

おすすめの着用方法

トップス：地肌にコンプレッションウェアを着用しその上から当製品を着用

パンツ：地肌にロングスパッツを着用しその上から当製品を着用

着用時のご注意

発汗作用を促進することを目的とした製品です。高温多湿や体調がすぐれない場合は使用をお控えください。

また、トレーニング時には適切な水分補給を行ってください。体調の異常を感じたらすぐに使用を中止してください。

九櫻は、柔道に取り組む すべての人を応援します。

JOV 大将®
国内・国際選手用

IJF公認

全柔連規格基準合格品

全柔連認証番号
JOVC:JU0148
JOVP:JU0149

JOVC(上衣)
¥29,700(税込)

JOVP(ズボン)
¥14,300(税込)

合計価格¥44,000(税込)

色／ホワイト

上衣／綿70%・ポリエステル30%

ズボン／綿100%

防縮加工済柔道衣

上下ロゴ赤S刺しゅう(ゴールド二重影)入

※二重織刺子生地引張り強度

縦横共:2200N以上

※帯別売り



JOF
国内・国際選手用

IJF公認

全柔連規格基準合格品

全柔連認証番号
JOFC:JU0127
JOFP:JU0128

JOFC(上衣)

¥24,750(税込)

JOFP(ズボン)

¥13,750(税込)

合計価格¥38,500(税込)

色／ホワイト

上衣／綿70%・ポリエステル30%

ズボン／綿100%

防縮加工済柔道衣

上下ロゴ赤S刺しゅう(ゴールド影)入

※二重織刺子生地引張り強度縦横共:2200N以上

※帯別売り

kusakura.co.jp

kusakurasashiko.com

xaglass.com



 株式会社 九 櫻

大阪支店 TEL072-973-1021
東京支店 TEL03-3868-2795
九州支店 TEL0942-83-3800

審判規程上の 禁止技変遷

津村弘三

(講道館技術専門官)

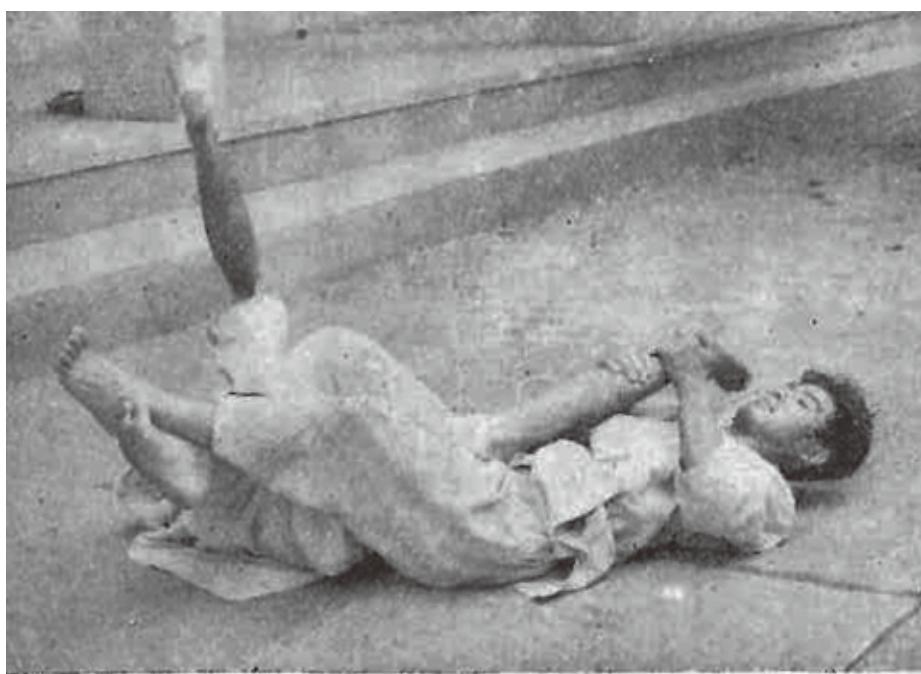
講道館の審判規程は「創設の翌年ころから出来ていた」(嘉納治五郎師範記述『新日本史武道篇』大正15年)ようだがその詳細はわかつてない。しかし、明治17、8年頃に講道館では月次勝負、紅白勝負が始まったとされているので、当然何らかの規則、申し合わせが存在したことは間違いないだろう。

明治20年頃には警視庁肝煎りで講道館柔道を含む柔術流派の試合が度々開催されたと記録されている。この試合における規程についても不明だが、その模様を磯貝一十段(段位は最終段位、以下同じ)は以下のように語られている。明治24年(1891)入門の磯貝十段は、この一連の試合は御覧になつていいはずなので、講道館の先輩方から聞いたことなのだろう。“試合内容を技術的に検討してみると、用いられた技は殆んど足払い・小内刈・膝車・大内刈・返し技という小技のみで、この軽妙な洗練された小技が、戸塚楊心流の大外刈及び寝技を圧したという訳になる”(磯貝一十段口述・長谷川泰一九段著『我が七十年を語る』昭和17年)。

警視庁武術大会と言うと、柔道と柔術の関ヶ原、気絶するか参るまでの壮絶な試合というように小説や劇画などで往々描かれ、確かに西郷四郎六段が見事な山嵐で勝ったり、宗像逸郎七段、後の訓育指南役・講道館元老が相手を絞め落したりといった壮絶な試合も中にはあったようだが、十段の口述からみれば、現在の試合とほぼ同じような勝敗決定方法だったであろうことが推察できる。

確認できる最も古い成文の審判規程は、明治32年(1899)制定の“大日本武徳会柔術試合審判規程”である。この規程は武徳会範士でもあった嘉納師範を委員長に、講道館、大東流、四天流、楊心流、良移心頭流、起倒流、竹内三統流、関口流の大家らを委員としてまとめられたものだった。諸流の歴々が参画して定められた規程であるから、この時代の一般的な柔道・柔術の勝負・試合における決めごとに従っていたことだろう。

この規程では先ず「武徳会ニ於テ柔術ノ試合ヲ執行スルトキハ投業又ハ固業ヲ以テ勝負ヲ決セシム」とあり、当身技は用いないことが定められている。そして固業について「関節業中手足ノ指ノ関節業及ヒ足首ノ関節業ハ勝負ノ数ニ加ヘサルモノトス」と、手足の指と足首の関節をとることを禁じている。これについて師範は、“手でも足でも指の関節は誠に掛け易い”と危険であることを理由に挙げられている。その一方で、“指の一本



足 挫 十 字 固

写真1
金光彌一兵衛九段著『柔道の本義』(昭和28年)に見られる“足の大逆”らしき技法

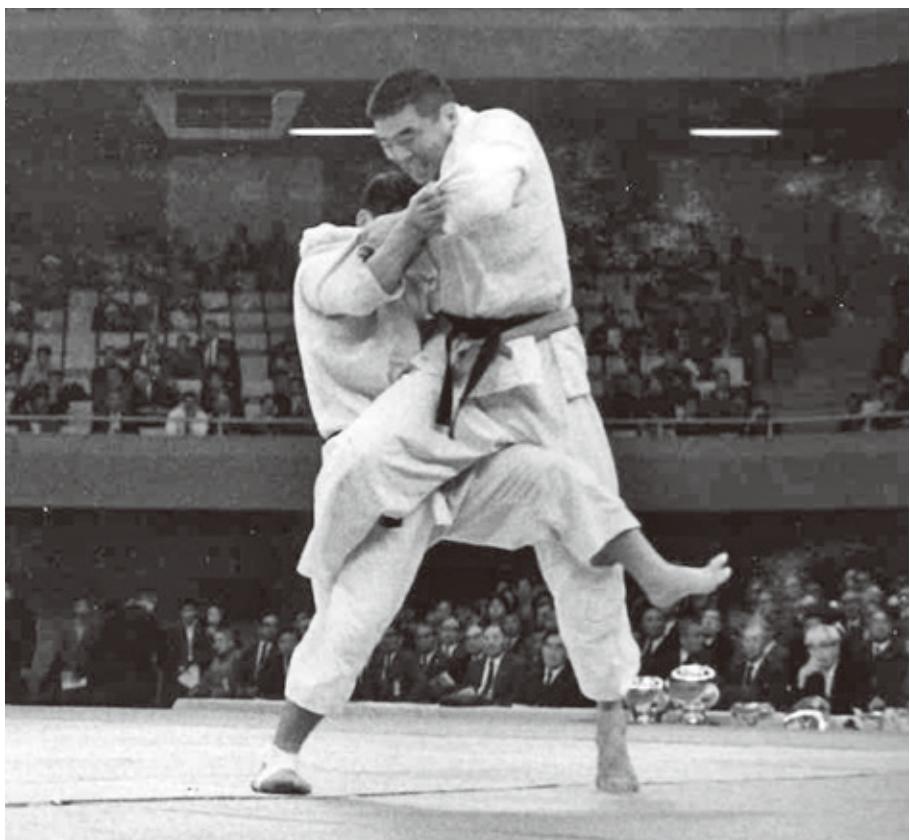


写真2
刈っていないので反則とはならない中谷雄英九段の“楔止め”（昭和42年全日本柔道選手権大会）

や二本を挫いても真剣勝負には比較的大切でない。又、足首の関節も勝負上大切でなくて、割合に掛けやすい”（『国士』明治33年6月）と、師範が据えられた講道館柔道の目的“勝負・修心・体育”的うちの勝負、すなわち武術としての見地をふまえた見解も述べられている。

この翌年、明治33年（1900）にはこれを土台に“講道館柔道乱取試合審判規程”が定められ、前年の武徳会の審判規程の禁止技に加えて「初段以下の試合に於て関節技は勝負の数に加へず」と、「初段以上の者と雖も乱捕試合の際手足の指の関節業及手首足首の関節業は之を用ふることを許さず」が付け加えられた。師範は武徳会規程との若干の違いを図る根拠として、“武徳会では色々の師匠に習った人が諸方から集まって來るのであるから、人々重きを置く点が違う。それで余り正確に定めにくい場合がある。然し講道館では一つの方針で修行して居る者が集まって試合をするのであるから、正確に定めておいてこれによらせることができる”と述べられ、また手首への関節技を禁止することについて“手首も随分怪我し易い場所であるから”と解説されている。（『国士』明治33年9月）

以下、講道館の審判規程における禁止技と、技の禁止に繋がる禁止行為が増えていった経過について列記する。

- 大正5年（1916）、「絞業中胴絞、関節業中指及手頸足頸ノ関節業及足緘ハ勝負ノ數に加工ザルモノトス」と、胴絞と足緘が禁止技に加えられた。師範は胴絞について“同輩の間では余り利く技ではないし、段の違った者の間では利くが余り我慢をすると内臓を損じることもあり、肋骨を傷めることもある”と、足緘については“急に利く技であって、少し我慢をすると直ぐ怪我をする”（『柔道』大正5年6月）とその理由について述べられている。
- 大正13年（1924）には「頸関節及ヒ脊柱ニ故障ヲ及ホスヘキ技ハ之ヲ用フルコトヲ許サス」と首と脊椎への関節技が禁止された。
- 翌大正14年（1925）、「絞技中胴絞並ニ関節技中肘関節以外ノ関節技ハ之ヲ用フルコトヲ許サス」と、関節技の禁止表現が改められた。ただし、前年に入れられた“頸関節及ヒ脊柱ニ故障ヲ及ホスヘキ技ハ之ヲ用フルコトヲ許サス”も併存し、技とはいえなくとも頸部や脊椎に対する危険な行為全般

を取り締まる余地を残している。“足緘”禁止が“肘関節以外”的関節技を禁止という表現になったのは、これに先立つ大正10年（1921）、第八回のいわゆる高専大会で、六高の選手が“足の大逆”と称する足緘とは異なる脚の関節を極める技法を用いたことで紛糾したことが起因しているのかもしれない。六高師範金光弥一兵衛九段は、このとき用いられた技法について“腕の十字逆のように、足を十文字に逆にいくのである”（『闘魂 高専柔道の回顧』湯本修治 昭和42年）と述べられていたようだ。（写真1）

師範ご存命中の変更は以上の通りで、以下はそれ以降の変遷となる。

- 昭和16年（1941）、師範の甥である南郷次郎第二代講道館長のもとで改定が実施され、「直接両足ヲ用ヒテ頸ヲ絞ムル技」が加えられた。
- 第二次世界大戦後の昭和26年（1951）、「寝技に移るために立ったままの姿勢から相手の足をとること」が加えられた。ただし、これは技としての禁止ではなく“寝技に移るため”という限定した目的のために脚を取る行為が禁止されたものだ。
- 昭和30年（1955）には、「払腰等を掛けられたとき相手の支えている足を内側から払うこと」いわゆる“楔刈り”が禁止された。なお、これは刈ったり払ったりした場合だけで、脚を差すことには問題なく“楔止め”と呼ばれた。かつて楔止めは小脛の技巧者が巨漢の相手の技を封じるために用いた高等技術だったが、現在ではまず見られることはない（写真2）。また、「河津掛で投げること」も現れた。醍醐敏郎十段は、河津掛が禁止になった理由について“体重無差別が普通だったから、相手に重ね餅になって倒れるのは危険だということだったのだろう。それに加えてこういう安易な技に頼ると、他にいっぱいあるいい技を身につける努力をしなくなってしまうからだというのが私の持論だ”とおっしゃっていた。
- 昭和41年（1966）の審判規程改定は、前年の国際柔道連盟（IJF）総会で、競技運営規程（オーガナイゼーションルール）と審判規程（コンテストルール）により成る“IJFスポーツイングコード”を作成することが決まったことを受け、その土台とするための改定だつ

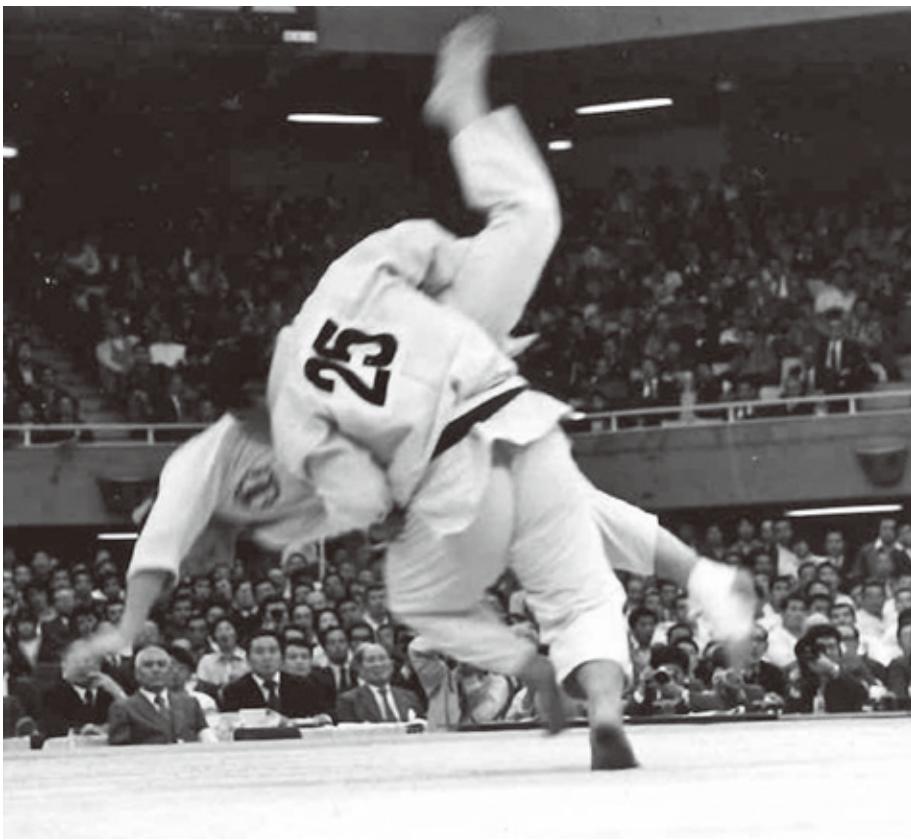


写真3
遠藤純男九段の掬投(昭和51年全日本柔道選手権大会決勝)

た。このとき、昭和26年(1951)に定められた「足を取ること」に「但し、巧みに相手を倒す場合を除く」が加えられ、投技としてならば脚を捉えることは認められることが明記された。

以下、カコミ内はIJFの審判規程

- ・昭和42年(1967)、IJFの審判規程が制定され、楔刈り、河津掛、胴絞、肘以外への関節技、脊椎を痛める技、寝技に移るために脚を取ることといった、講道館の規程と同じ技と技法が禁止された。
- ・昭和50年(1975)には、「立った姿勢から腋固め(ママ)を施す場合、一拳に体を捨ててとること」が禁止された。
- ・昭和54年(1979)には、IJF規程でも“体を捨てる腋固”の禁止が採り入れられた。
- ・昭和55年(1980)、立ち姿勢から脚を取る反則についての条項が「立ち姿勢からすぐに相手の脚(又は足)をとること、但し、巧みに相手を倒す場合を除く」となり“寝技に移るために”の条

件が取り除かれ、“すぐに”の表現が入れられた。

- ・昭和56年(1981)に取扱い統一条項に“蟹挟”的扱いが定められ、「高校生、中学生については、蟹挟を掛けることを禁止する。なお、一般については、当分の間、各大会責任者において、負傷につながないように特に留意し、その許容又は禁止については、試合参加者の程度を考慮し、適宜の処置をとる」となった。
- ・昭和60年(1985)、脚を取る反則が「防衛又は寝技に移るために、立ち姿勢又は寝姿勢から、立ち姿勢の相手の足(又は脚)を手でとること。ただし、巧みに相手を倒す場合を除く」となった。“寝技に移るために”的条件が再出するとともに、“防衛”が加えられている。また、立ち姿勢においてだけではなく、寝姿勢から立ち姿勢の相手の脚を取ることも禁じられた。さらに取扱い統一条項に、「双手刈、朽木倒、踵返等のように、作り、掛けが一瞬に施されて、投技の条件を充たしているときは、その効果を認め、反則としない。ただし、その技が瞬間に決まらないときは、「待て」と宣告し、試合を中

断する」と、認められる脚を捉える技法の概念が示され、これに合致しない脚取りの対処について示された。

- ・平成3年(1991)、IJFは既存の「相手を傷つけたり危険にさらしたりする可能性のある、又は柔道の精神に反する可能性のある行為を行うこと」の反則の付則として「例・蟹挟」と示すことにより、蟹挟を全面禁止とした。

平成7年(1995)頃から、IJFでは脚を取ることが盛んに議論されるようになった。審判委員会の議事録からその様子が窺える。

- ・審判員は下穿や脚を取る規則を厳格に適用しなければならない。スコアがわずかに優勢な選手が、特に試合時間終了間近に、攻撃することなく脚を取っている。これは直ちに取り締まらなければならぬ。(平成7年[1995]幕張)
- ・脚を取ることが問題となっている。“同時に投げ技を試みている場合を除く”と明確に定めているルールの適用が不可欠だ。(平成8年[1996]東京)
- ・柔道はレスリングではない。IJF審判委員会は、審判員がルールを厳格に適用する必要などで同意した。(平成9年[1997]パリ)
- ・IJF審判委員会が強調することは、審判員が“同時に攻撃している”的ルールに則らないで試合者に下穿の脚を握らせていること。柔道は柔道であり続けなければならず、レスリング技法になつたり、他の



写真4
IJFの審判規程では反則となる脚で握りを補助する両手絞(『講道館柔道の技名称』講道館編 昭和60年)

スポーツに変わったりしてはならない。(平成10年[1998]ミンスク)

- IJF審判委員会で何度も脚を取ることについて議論してきたが“同時に攻撃している”、つまりただちに結果が出ること又は相手が崩れていることを示している規程を厳守しなければならない。(平成11年[1999]バーミンガム)

- まるでフットボールのようにタックルして脚を取る。これが柔道の技といえるのか?(平成12年[2000]ローマ)

- IJF審判委員会は、脚を取った選手は即座に相手を崩していなければならぬことを再確認する。(平成12年[2000]ナブル)

この頃、巨大化したオリンピック大会の縮小、端的に言って実施種目の削減を国際オリンピック委員会(IOC)が検討している雰囲気を察した朴容晟IJF会長が、複数の“レッスル”(組み合う)系の種目は必要ないとIOCが判断した場合、古代オリンピックからの伝統競技であるレスリングが残され、新参の柔道が外されるかもしれないという危機感をいただき、“レスリングにはない柔道のアイデンティティ(特性)を強調した競技にせよ”と厳命したと聞き及んでいる。

- 平成15年(2003)、IJFは反則を“軽微な”違反(指導)と“重大な”違反(反則負け)の二種だけにした。

- 平成21年(2009)、IJFは相手の下穿を取ることを禁止とした。ただし、下穿を取らない双手刈、朽木倒は反則とはならない。

- 翌、平成22年(2010)、IJFは“下穿を取る”を“帯より下を取る”に変更。ただし連絡技や相手の技に対する変化技、また相手が標準的組み方でなかった場合には反則としないこととした。

- 平成26年(2014)、IJFは平成15年(2003)の改定以降、明文化した規程を発表してこなかったが、2014-2016規程という形でようやく規程文成を発表した。ここで「立ち勝負における片手(腕)又は両手(腕)による帯より下へのすべての攻撃と防禦は反則負けが与えられ

る。両試合者が明らかに寝勝負の姿勢にあり、立ち勝負の動作が終わっているときだけ脚を取ることができる」とされ、手で脚に触れることが一括りに禁じられた。これにより使えなくなった技は、双手刈、朽木倒、踵返、掬投、技法としては脚に触れる肩車、脚を取って掛ける大内刈、小内刈、小内巻込など多数にのぼる。《写真3》

- 平成30年(2018)には、IJFは立ち姿勢における関節技と絞技を禁止した。同年の規程中では以下のようない禁止技法が見られる。

- ・脚を取る、下穿を取る、相手の脚を手や腕で遮る、押すなどのことができるるのは、両者が明確な寝勝負の体勢にあり、立ち勝負の動作が終わっている場合だけ。**

- ・両者が立ち姿勢にあり、一方又は双方が関節技又は絞技を施した場合、“待て・指導”を宣告する。その行為が危険であるか、相手を傷つける可能性がある場合には、“反則負け”とする。**

- ・胴体を脚で挟んで胴絞を施すこ**

と、足を交差させ、両脚を伸ばして首や頭を挟むこと、両手絞などの絞技で、握りの補強のために脚を使うことは禁止。《写真4》

- 令和6年(2024)のIJFの規程では「取と受が向かい合う両手絞、取が受の背後にいる裸絞、脚で首を捉える三角絞などの絞技で、相手の腕が入っていない状態で握りを補助するために脚を使うことは“待て・指導”とする」と、絞技に補助・補強のために脚を使うことを禁止することが詳細に示された。

最近の柔道は“雑になった”という声がある。“単調になった”とも言われる。その一因に脚を捉える技が使えなくなつたことがあるとの見解を聞く。掬投や朽木倒があった時代には、これらの技が変化技、すなわち相手の技に対応する技として威力を發揮していた。迂闊に技を出すとまさしく“脚を掬われる”おそれがあったので、技を掛ける前にしっかりと“作り”を完成させることに気を配ったものだが、その懸念がなくなり十分に作



写真5
“掛け”る前にしっかり“作って”いる遠藤九段の掬投(写真3に続く)

らないままいきなり“掛け”に入るからだという意見だ。鮮やかな技を繰り出さには“作る”という手順が必要であるところをこれを怠っているということだ。

今回の選手権大会では、一部、と言うよりもかなりの範囲で脚を捉えることが認められている。もちろん一時期のように“始め”的声と同時に組まずにいきなりタックルという戦法が横行する時代に戻すわけにはいかない。これについてはかつてIJFの審判委員会でも苦惱したことは前述した。そこで、本大会では「組んでいない状態で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則とする」という申し合わせとなっている。また、“返し技を狙うようになり、技を出さなくなるのでは”という懸念もあるが、これは既存の他のルールで十分に対応できる。この英断を実現してくださった関係者の方々には敬意を表するとともに、“作り”と“掛け”が調和した美しい技が選手権の晴れ舞台で発揮されることに期待する。脚を

捉えた時点で“作り”が完成していて、それにより“勢い”と“はずみ”という投技に必須の条件が顕れてこそ、朽木倒、掬投といった技名称を冠するにふさわしい技が生まれる《写真5》。作りを伴わない、脚を取った時点で相手の体勢に崩れも何もないようなものは投技とは呼べず、“足取り”と表現するしかない単なる動作にすぎない。

報道等で“全日本選手権の新ルール”という表現が見受けられるが、“新ルール”ではない。“復旧ルール”とも言いたくない。“あるべき姿”に戻しただけだ。また、“体重無差別の選手権では小さな選手が大きな選手と戦うには”といったことを強調するものも見かけるが、脚を捉える技は決して小さな選手だけが掛けるものではない。大きな選手もまた小さな選手の攪乱戦法に対して、リーチを活かし、脚を捉えて豪快に掬い上げていただきたい。

今年も本大会では決まり技判定員を務

めさせていただく。投技の名称決定は、技の形状だけでなく、その技が決まった理合い、さらには“趣”まで勘案して判断する。足を捉えて仰向けに倒したとしても、体重が移るところを刈った踵返か、押し倒した朽木倒か、掬い上げた掬投かを見極めなければならない。今次大会で“決まり技「踵返」”と指示する瞬間がくることを楽しみにしている。

他道の方に柔道の技名称、いわゆる100技のリストを見せると、その多種多様さに驚かれるとともに、羨望の声をいただくことがある。バラエティーに富んだ様々な技法による変幻自在の攻防の展開こそが柔道の魅力であり、誇りなのである。

※審判の規程は、“規程”となっているもの、“規定”となっているものがあるが、本稿では「規程」に統一した。

武道 心技体人を育てる総合誌
月刊

武道

教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載！
毎月28日発行 定価 556円(税込) 定期購読1年間 6,666円(税込)



ニュース 全日本柔道選手権大会

各種武道大会の様子を豊富な写真とともに紹介。(記事は2025年6月号に掲載予定)

●好評連載中

- ・武道人の肖像・私の修業時代
- ・柳生新陰流兵法—術理と精神—
- ・マンガ・日本武道ヒストリア



記事は2024年8月号のもの

日本武道館の単行本 柔道 その歴史と技法

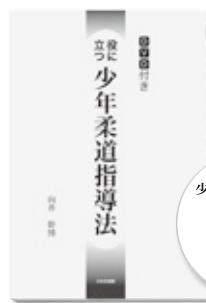


筑波大学名誉教授 藤堂良明 著

柔道の技法が、どのように形づくられてきたのかを、体術の起こり、柔術諸流派の歴史に遡り、丁寧にひもとく。さらには、全日本選手権やオリンピックを始めとした各種競技大会にみられる技法を分析し、今後の課題を探る。

四六判・上製・330頁・定価2,640円(税込)

役に立つ少年柔道指導法



公益財団法人講道館 道場指導部長 向井幹博 著

少年柔道指導の現場で役立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくい部分を映像で収録。

収録時間170分を超える解説DVD付属!
A5判・並製・414頁・DVD付
定価2,640円(税込)



年度	優勝	第二位	第三位
昭和 23	松本 安市	伊藤 徳治	吉松 義彦 香月 雄光
24	石川 隆彦 木村 政彦		醍醐 敏郎 伊藤 德治
25	石川 隆彦	広瀬 巍	松本 安市 醍醐 敏郎
26	醍醐 敏郎	吉松 義彦	石川 隆彦 羽鳥 輝久
27	吉松 義彦	石川 隆彦	醍醐 敏郎 山本 博
28	吉松 義彦	伊藤 秀雄	石川 隆彦 松本 安市
29	醍醐 敏郎	中村 常男	柄本 芳孝 夏井 昇吉
30	吉松 義彦	夏井 昇吉	曾根 康治 伴庭 一秀
31	(第1回世界選手権代表決定戦のため中止)		
32	夏井 昇吉	曾根 康治	山舎 公義 橋元 親
33	曾根 康治	山舎 公義	小田 雄三 河野 雅英
34	猪熊 功	神永 昭夫	渡辺喜三郎 高橋 彰
35	神永 昭夫	猪熊 功	重松 正成 小田 雄三
36	神永 昭夫	猪熊 功	山岸 均 田中 章雄
37	竹内 善徳	長谷川博之	佐藤 和久 松永 满雄
38	猪熊 功	長谷川博之	刀禰 政弘 村井 正芳
39	神永 昭夫	坂口 征二	長谷川博之 猪熊 功
40	坂口 征二	松阪 猛	古賀 武 前田 行雄
41	松永 满雄	坂口 征二	松阪 猛 前島 延行
42	岡野 功	佐藤 宣践	佐藤 幸二 松阪 猛
43	松阪 猛	岡野 功	佐藤 宣践 松永 满雄
44	岡野 功	前田 行雄	村井 正芳 園田 勇
45	篠巻 政利	河原 月夫	園田 勇 安齊 奏人
46	岩釣 兼生	佐藤 宣践	村井 正芳 二宮 和弘
47	関根 忍	岩田 久和	西村 昌樹 佐藤 宣践
48	上村 春樹	高木長之助	藤猪 省三 諸井 三義
49	佐藤 宣践	二宮 和弘	重松 義成 遠藤 純男
50	上村 春樹	高木長之助	山下 泰裕 篠巻 政利
51	遠藤 純男	上口 孝文	高木長之助 上村 春樹
52	山下 泰裕	遠藤 純男	二宮 和弘 高木長之助
53	山下 泰裕	高木長之助	遠藤 純男 河原 月夫
54	山下 泰裕	遠藤 純男	松井 熱 上村 春樹
55	山下 泰裕	遠藤 純男	松井 熱 河原 月夫
56	山下 泰裕	遠藤 純男	松井 熱 白瀬 英春
57	山下 泰裕	松井 熱	日蔭 暢年 齊藤 仁
58	山下 泰裕	齊藤 仁	藤原 敬生 正木 嘉美
59	山下 泰裕	齊藤 仁	松井 熱 正木 嘉美
60	山下 泰裕	齊藤 仁	滝吉 直樹 正木 嘉美

61	正木 嘉美	藤原 敬生	松井 斉藤 斉藤 敏仁
62	正木 嘉美	元谷金次郎	岡田 龍司 岡田 弘隆
63	齊藤 仁	正木 嘉美	森 成寿 大迫 明伸
平成 元	小川 直也	関根 英之	渡辺 直勇 山本 旗六
2	小川 直也	古賀 稔彦	三谷浩一郎 金野 潤
3	小川 直也	金野 潤	吉田 秀彦 中谷 弘
4	小川 直也	大瀧 賢司	甲斐 康浩 三谷浩一郎
5	小川 直也	金野 潤	養父 直人 増地 克之
6	金野 潤	吉田 秀彦	養父 直人 小川 直也
7	小川 直也	篠原 信一	養父 直人 中村 佳央
8	小川 直也	三谷浩一郎	賀持 竹村 道明 典久
9	金野 潤	村元 辰寛	石田 輝也 増地 克之
10	篠原 信一	井上 康生	中村 佳央 増地 克之
11	篠原 信一	棟田 康幸	猿渡 琢海 三谷浩一郎
12	篠原 信一	井上 康生	藤原 康博 下出 善紀
13	井上 康生	篠原 信一	村元 辰寛 小嶋 新太
14	井上 康生	棟田 康幸	大村 昌弘 猿渡 琢海
15	井上 康生	鈴木 桂治	篠原 信一 森 大助
16	鈴木 桂治	井上 康生	棟田 康幸 森 大助
17	鈴木 桂治	村元 辰寛	生田 秀和 高井 洋平
18	石井 慧	鈴木 桂治	生田 秀和 泉 浩
19	鈴木 桂治	石井 慧	片渕 慎弥 井上 康生
20	石井 慧	鈴木 桂治	棟田 康幸 高井 洋平
21	穴井 隆将	棟田 康幸	生田 秀和 立山 広喜
22	高橋 和彦	立山 広喜	穴井 隆将 棟田 康幸
23	鈴木 桂治	穴井 隆将	本郷 光道 高井 洋平
24	加藤 博剛	石井 竜太	百瀬 鈴木 桂治 優
25	穴井 隆将	原沢 久喜	石井 竜太 垣田 恭兵
26	王子谷剛志	上川 大樹	永瀬 貴規 西潟 健太
27	原沢 久喜	七戸 龍	王子谷剛志 西潟 健太
28	王子谷剛志	上川 大樹	七戸 龍 原沢 久喜
29	王子谷剛志	ウルフ アロン	七戸 加藤 博剛
30	原沢 久喜	王子谷剛志	加藤 小川 博剛
31	ウルフ アロン	加藤 博剛	小川 太田 雄勢
令和 2	羽賀龍之介	太田 鮎雅	石内 裕貴 佐々木健志
3	太田 鮎雅	羽賀龍之介	王子谷剛志 垣田 恭兵
4	齊藤 立	影浦 心	原沢 久喜 小川 勝
5	王子谷剛志	羽賀龍之介	田嶋 剛希 太田 鮎雅
6	中野 寛太	原沢 久喜	王子谷剛志 グリーンカラニ海斗

全日本柔道連盟が求める指導者



1. 講道館柔道の魅力を正しく伝えることができる指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、嘉納師範の遺された以下の「理想の柔道教師」像をよく理解し、その実践に努めることができる。

理想として、柔道指導者は、攻撃防禦の技術に堪能で、勝負上の理論も心得、同時に、体育家として必要となる知識を有し、かつその方法にも修熟し、また教育者としては、道徳教育の理論にも精通し、稽古の方法にも達し、さらに柔道の原理を社会生活に応用する上において、精深なる知識を有し、方法をわきまえている事が必要である。
(意訳)

2. 社会に有益な人材を育成する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、目先の勝敗に拘ることなく、生涯を通じた人間的成长を長期的視点にたって支援することができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、社会に有益な人材を育成し、豊かな文化の創造や柔道の社会的価値を高めることができる。

3. 人権を尊重し多様性に配慮する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、いかなる差別や暴力・暴言や、ハラスメントも容認せず、すべての人々の権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる。

4. 安全に配慮しコンプライアンスを徹底する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、事故を起こさないとの確たる信念を持ち、事故を予防するための十分な知識を有し、事故を予防する行動をとることができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、法令や社会的規範を守り、社会の一員として模範となる態度・行動をとることができる。

5. 柔道 MIND を実践する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、礼節を重んじ、自らの意思で正しい行動を選択して堂々とふるまい、他者からの尊敬を得られるよう努めることができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、人々が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・融和・協調（「相助相讓」）できる環境をつくることができる。

6. 自己研鑽により成長を続ける指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、柔道修行の究極の目的をよく理解し、目的が達成できるように真摯に取りくみながら、柔道実践者と共に成長することができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、常に高い向上心を持って学び続け、最新のルールや指導法等にも精通し、それらを柔道実践者に言語的に伝達することができる。

全日本柔道連盟では、「世界で活躍できる選手の発掘・育成は、日々熱心に指導されている指導者の皆さまの並々ならぬ努力と熱意の賜物である」と考えております。そこで、当連盟としては、さらなる柔道の普及・振興を推進するため、平成26年から優秀な成績を収めた選手を育成した指導者を表彰しております。

今年度は、パリ2024オリンピック・パラリンピックと2024世界選手権アブダビ大会のメダリストが指導を受けた指導者を表彰いたします。
(以下、一覧※敬称略)

No.	指導者名	所属(当時)	選手名	選手所属(大会時)	該当大会	階級	メダル
1	かみや 神谷 兼正	大成中学校	永山 竜樹	SBC湘南美容クリニック	パリ2024オリンピック	男子 60kg級	銅メダル
2	のぶかわ 信川 厚	神港学園神港高等学校	阿部一二三	パーク24株式会社	パリ2024オリンピック	男子 66kg級	金メダル
3	はやしだ 林田 和孝	東海大学付属 相模高等学校・中学校	橋本 壮市	パーク24株式会社	パリ2024オリンピック	男子 73kg級	銅メダル
4	ひらお 故・平尾 勝司	養心会	永瀬 貴規	旭化成株式会社	パリ2024オリンピック	男子 81kg級	金メダル
5	はしもと 橋本 省吾	姫路市立灘中学校	村尾三四郎	ジャパンエレベーターサービス ホールディングス 株式会社	パリ2024オリンピック	男子 90kg級	銀メダル
6	つのだ 角田 佳之	河野道場	角田 夏実	SBC湘南美容クリニック	パリ2024オリンピック	女子 48kg級	金メダル
7	やさき 矢壽 雄大	富士学苑中学校	舟久保遙香	三井住友海上火災保険 株式会社	パリ2024オリンピック	女子 57kg級	銅メダル
8	まつもと 松本 好司	いわき市立平第一中学校	半谷 静香	トヨタルーブス	パリ2024パラリンピック	女子 48kg級	銀メダル
9	なかもと 仲元 歩美	世田谷区柔道会 (株式会社 KALOR (カラー))	小川 和紗	伊藤忠丸紅鉄鋼	パリ2024パラリンピック	女子 70kg級	銅メダル
10	かわの 川野 成道	国士館中学校	中村 太樹	国士館大学	2024世界選手権アブダビ大会	男子 60kg級	銅メダル
11	すぎの 杉野 光由	精道館道場	田中 龍馬	SBC湘南美容クリニック	2024世界選手権アブダビ大会	男子 66kg級	金メダル
12	とくはら 徳原 勉	足立学園中学校	武岡 翼	パーク24株式会社	2024世界選手権アブダビ大会	男子 66kg級	銀メダル
13	おぎわら 荻原 克己	新田スポーツ少年団	石原 樹	ジャパンエレベーターサービス ホールディングス 株式会社	2024世界選手権アブダビ大会	男子 73kg級	銀メダル
14	たじま 田嶋 誠	下志津柔道クラブ	田嶋 剛希	パーク24株式会社	2024世界選手権アブダビ大会	男子 90kg級	金メダル
15	あらい 新井 定男	栄武館 新井道場	新井 道大	東海大学	2024世界選手権アブダビ大会	男子 100kg級	銅メダル
16	てしま 手島 和洋	藤村女子高等学校	玉置 桃	三井住友海上火災保険 株式会社	2024世界選手権アブダビ大会	女子 57kg級	銅メダル
17	おおえき 大浴 辰夫	田布施スポーツ少年団	田中 志歩	JR 東日本	2024世界選手権アブダビ大会	女子 70kg級	銅メダル
18	きただ 北田 典子	講道学舎少年部	富田 若春	コマツ	2024世界選手権アブダビ大会	女子 78kg超級	金メダル



職人のこだわり
お届けします

宮内庁御用達
懐石料理

青山
AOYAMA
SINCE 1954

仕出し・お弁当・冷凍総菜

東京都渋谷区桜丘町29-31



Tel: 03-3462-5511

Fax: 03-3462-5540

<https://www.kaiseki-aoyama.jp/>

はじめてでもわかる！ 皇后盃・全日本選手権大会のルール

監修：全日本柔道連盟審判委員会

大会申し合わせ事項

■試合時間

準決勝まで5分間、決勝戦は8分間

■試合の決着

- ・「一本」を取った場合
- ・「技あり」を2回取った場合(合わせ技一本)
- ・試合終了時に「有効」もしくは「技あり」のスコアで差が出た場合
- ・相手選手が軽微な違反により「指導」を4回受けた場合(累積による反則負け)
- ・相手選手が負傷等により棄権した場合
- ・相手選手が危険行為等を行い「反則負け」となった場合
- ・試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決する

スコア

柔道の技の種類は投技が68本、固技が32本あり、併せて100本になります。
「皇后盃全日本女子柔道選手権大会」および「全日本柔道選手権大会」におけるスコアには「一本」「技あり」「有効」の3種類があります。



一本

技あり



有効

①投技

技を掛けるか、相手の技を返して、4つの基準「スピード、力強さ、背中が着く、相手をコントロールする」を満たして相手を投げた場合

②抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が20秒逃げられなかった場合

③絞技・関節技

絞技または関節技により相手が「参った」をした場合、もしくは戦闘不能となった場合

①投技

4つの基準「スピード、力強さ、背中が着く、相手をコントロールする」のどれか1つでも満たしていない場合

②抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が15秒以上20秒未満逃げられなかった場合

①投技

4つの基準「スピード、力強さ、背中が着く、相手をコントロールする」の中で2つを満たしていない場合

②抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が10秒以上15秒未満逃げられなかった場合



旗判定

試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決します。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較し、攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判断の材料とはしません。

ペナルティ

ペナルティには、重大な違反に対する「反則負け」と軽微な違反に対する「指導」があります。

重大な違反とは、相手あるいは自身に危害を及ぼす行為や柔道精神(相手を敬う礼の精神)に反する行為が該当し、軽微な違反とは、消極的な姿勢あるいは消極的な組手が該当します。

本大会は、立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしません。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とします。

令和7年全日本柔道選手権大会
第40回皇后盃全日本女子柔道選手権大会
審判規程の解説動画



2025-2028国際柔道連盟試合審判規程の変更点について

2025年1月1日より施行

審判規程変更の趣旨

今回のルール変更は、柔道に関わる選手、指導者、審判員並びに柔道ファンに対して、できるだけ分かりやすく、面白く、柔道が発展していくことを念頭に行われた。

やはり柔道の魅力は技の醍醐味であるため、できるだけ技で試合を決着させるようなルールでなければならないことを主眼に変更がなされた。

近年の大会では、ゴールデンスコア(GS)が頻繁に発生し、「指導」狙いの試合が増加していることから、そこを抑制していくために、ペナルティの緩和と簡素化が行われ、併せて幅広くなった「技あり」の評価を適正化するために、技の評価を細分化し「有効」を加えることで、技による試合決着を選手自身が目指すことを求めた。



変更点解説動画

審判規程変更の経緯

ルール変更の経緯は、2024年10月に、IJFの審判理事及び各大陸の審判理事によるミーティングが行われ、ルール変更の検討が行われた。その会議には、日本側(講道館並びに全柔連)の意見も集約され、提出された。

このミーティングで検討された中には、大幅な脚取りの緩和や判定の復活及びセンタージュリー介入の抑制等も含まれていた。そして、2024年12月にイスタンブールで行われたIJF テクニカルセミナーにおいて、今回のルール変更がアナウンスされた。

主な改正点

・「有効」ポイントの復活

・ペナルティの緩和(組み手、逆背負投、ベアハグ、ダイビングヘッド、危険技及び場外「指導」・押し出し「指導」の解釈変更)、偽装攻撃の見極めをしっかり行うことなど

このルールの適用は、2025年2月のGS パリからスタートし、その後の国際大会における運用状況を検証し、2025年6月のブダペスト世界選手権大会後に見直し(微調整)が行われる。

国内においては、2025年4月の全日本選抜体重別選手権大会から導入する。

1 技の定義

- ・「一本」「技あり」に加えて3つ目のスコアとして、「有効」が追加される
- ・「有効」の累積は、「技あり」に加算されない
- ・「一本」の定義は変更なし
①スピード ②力強さ ③背中が着く ④コントロールしている 4つが評価基準となる
- ・「抑え込み」時間
「一本」20秒 「技あり」10秒 「有効」5秒
ゴールデンスコア方式の延長戦では、「抑え込み」5秒で「有効、それまで」となる

2 「技あり」の定義

- ・従来とおり「一本」の4つの評価基準の内、1つを満たしていない場合に「技あり」が与えられる
- ・最初の着地から2回目の着地まで中断があるものは「技あり」が与えられる
※2ランディング(1アクションではなく2アクションでの着地、側面の着地から背中の着地、尻餅から背中の着地等)
- ・体側面が着地し背中側に肩のラインが90度を超えて倒れた場合も「技あり」が与えられる

2025-2028国際柔道連盟試合審判規程の変更点について

2025年1月1日より施行

3 「有効」の定義

- ・尻餅(上半身が背中側に90度以上傾く)
※両肘/両手/片肘と片手が着いた場合は「指導」なし
- ・背中上部の着地
- ・肘の着地(背中側に90度以上傾く)
※脇が空いていてもスコアとなる
- ・体側面の着地(背中側に90度あるいは若干うつ伏せ)



※両肘/両手/片肘と片手が着いた場合は「指導」なし

背中上部の着地



肘の着地(背中側に90度以上傾く)



肘から着地際に、肩のラインが背中側に90度以上傾いておれば、脇が空いていても「有効」となる。

補足説明

体側面から着地した際に、畠に対して肩のラインが90度は「有効」であり、それを超えて背中側に倒れていれば「技あり」となる。

そして、やや90度には満たない場合も、体側面が畠についている場合も「有効」となる。

但し、肩のラインは90度近くあっても、お腹から落ちたり、両膝から着地する(特に、身体の柔らかい選手は、肩は90度弱でも、下半身はうつ伏せに近い状態)場合は、「ノースコア」となる。

IJF テクニカルセミナーにおいて、審判理事から「有効」だけに限らず投技の評価は、着地面だけでは無く、スピード、力強さ、技のキレイをトータルで判断すべきことが、求められた。

4 「ノースコア」の定義

肩のラインが90度弱でも

- ・両膝が着いている状態
 - ・腹ばいの状態
 - ・腰の前側がついている状態
 - ・尻餅で上半身が胸腹側に倒れている状態
- も「ノースコア」となる



・両膝がついている

・腰の前側がついている

・うつ伏せ状態

・尻餅で上半身が胸腹側に倒れている状態

2025-2028国際柔道連盟試合審判規程の変更点について

2025年1月1日より施行

5 ベアハグ

- 袖及び襟を掴んでいない状態から、直ちにベアハグを施すことは認められるが、手と腕で輪を作りベアハグを施した場合は「指導」が与えられる

※従来は、ベアハグによる「指導」が与えられる判断基準は「組手の有無(袖または襟を掴んでいるかどうか)」であったが、今後の「指導」を与える判断基準は、「ベアハグの組み方(手と腕で輪を作っているかどうか)」となる

- 内股上部(両脚足の付け根の水平ライン)から下部への双手刈等は認められず、施した場合は「指導」が与えられる

ベアハグが認められるケース



ベアハグ「指導」ケース



6 逆背負投(通称)

- シニア、ジュニア大会では、認められる
- カデ大会では認められず、「待て、指導」とする

8 ダイビング(通称) ※真正面・真後に飛び込む

- ユージングザヘッド(通称)は認められるが、従来通り内股、袖釣込腰等で真正面に飛び込む、あるいは肩車等で相手を担ぎ上げて真後ろに飛び込む行為は、ダイビング(通称)として「反則負け」が与えられる
- ダイビング(通称)は、頭部と両肩が着地した場合とし、頭部と片方の肩が着いた場合はダイビング(通称)としない

7 ユージングザヘッド(通称) ※頭部を使っての投技

- シニア、ジュニア大会では、認められる
- カデ大会では認められず、「待て、指導」とする

9 ヘッドディフェンス(通称) ※頭部を使っての防御

- シニア、ジュニア大会では、認められる
- カデ大会では認められず、「待て、指導」とする
- ブリッジについては、従来通り「一本」と評価する

10 帯から下への攻撃・防御

- 帯から下への攻撃・防御については、内股上部(両脚足の付け根の水平のライン)までのレベルであれば掴む(握る)ことが認められる
- 内股上部より下に腕(肘)や手で脚を引っ掛けたり、脚を抱えたり、下履きを掴んだり、触れる行為は禁止され、「指導」が与えられる
- 上衣や内股上部までの組手がネガティブ(ディフェンスやブロッキング)なものであった場合は「指導」が与えられる



2025-2028国際柔道連盟試合審判規程の変更点について

2025年1月1日より施行

11 立ち姿勢における関節技

- ・従来通り、肘関節を固定し、相手の逃げ場を無くして、一気に体を捨てる危険行為には「反則負け」が与えられる
- ・但し、相手に逃げる余地がある場合は、「指導」が与えられる

12 組み方

- ・立ち姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組手を取ることを認めるが、下履きの裾に指を入れて組手を取ると「指導」が与えられる
- ・寝姿勢において、相手の袖・下履きの裾の中に指を入れることは認められる



・立姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組手を取ることを認めるが、下履きの裾に指を入れて組手を取ると「指導」が与えられる。



・寝姿勢の攻防において、相手の上衣の袖口及び下履きの裾口の中に、指を入れることは認められる。

13 偽装攻撃

下記の場合は、偽装攻撃として「指導」が与えられる。

- ・取が投げる意思がない場合
- ・取が組手を持たずに攻撃する、またはすぐに組手を放す場合
- ・取が単発の偽装攻撃や、相手のバランスを崩さない状態で繰り返し攻撃を行う場合
- ・取が脚を受けの両脚の間に入れて、攻撃の可能性を妨ぐ場合
- ・取が現実的に投げる可能性がない場合

※いわゆるバッドアタックを繰り返したことに対して、相手側に消極的として「指導」を与えないように留意する

15 標準的でない組手

- ・標準的な組手(釣手、引手を持つ)の場合、攻撃をするまでに30秒が与えられる
- ・標準的ではない組手(クロスグリップ等)はポジティブな状態であれば継続とする
- ・標準的ではない組手でも、従来より長めにみること

14 場外「指導」と押し出し「指導」

- ・立ち姿勢、寝姿勢において、故意によらず試合場から出た場合は「待て」、故意の場合は「指導」が与えられる
- ・どちらかが、片脚だけでも場内において、投技が施されれば、両者が完全に場外に出ても技の継続が認められ、技が決まればスコアが認められる
- ・場外にいる側が、返し技を施しても技の効果は認められる

16 「抑え込み」の定義

- ・「抑え込み」が宣言される為には、講道館の技名称にある抑込技で、相手に覆い被さり圧力を掛け、制していることが必要である
- ・相手の側方から、相手の胴体を脚で挟む等して、コントロールして、たとえ相手が動けなくても、それは「抑え込み」ではない
- ・今まででは、抑込技の名称が付かないような浅い形で相手をコントロールしている状態で、早い「抑え込み」の宣言をする場面があったが、今後はしっかりと抑え込みの形(抑込技の名称が付く形)になってから「抑え込み」の宣言をする
- ・寝技における積極的な攻撃は考慮される

Always Security OK



ここに、ALSOK。

24時間365日駆けつけ。お家に非常ボタンがある安心を。

HOME ALSOK Connect コネクト

24時間
365日受付



0120-39-2413



◀詳細はこちらへ



医療法人 仁寿会

〒569-0802

大阪府高槻市北園町 13 番 19 号

TEL 072-684-3377 / FAX 072-684-2333



社会福祉法人 春樹会

〒569-1131 大阪府高槻市郡家本町 13 番 18 号

TEL 072-681-2020 / FAX 072-681-5151

地域の医療

福祉の明日を見つめる



日本エースサポート株式会社

〒569-0802 大阪府高槻市北園町 13 番 19 号

TEL 072-684-2217 / FAX 072-684-2266

令和6年 全日本柔道選手権大会 戦績表&ダイジェスト



四回戦。王子谷剛志が意表を突く背負投などで優位に攻めて西尾徹に判定勝ち(3-0)



四回戦。押領司龍星の素早い動きと担ぎ技に苦戦を強いられるも、中野寛太が大外刈などで攻めて判定勝ち(3-0)。



四回戦。グリーンカラニ海斗と佐藤和哉の一戦は、終盤、グリーンが浮技で「有効」を先行し佐藤も背負投で「有効」を取り返すポイントの取り合いに。最後は、グリーンが引込返で「有効」を奪って勝負を決めた



四回戦。原沢久喜と影浦心の試合は、微妙な判定となるも軍配は2-1で原沢に



準決勝。中野が同門の先輩・王子谷を小外掛で破り決勝へ



準決勝。原沢が好調・グリーンから谷落で「技あり」を奪う



決勝。中野と原沢の決勝は接戦の末、判定2-1で中野に軍配が上がった



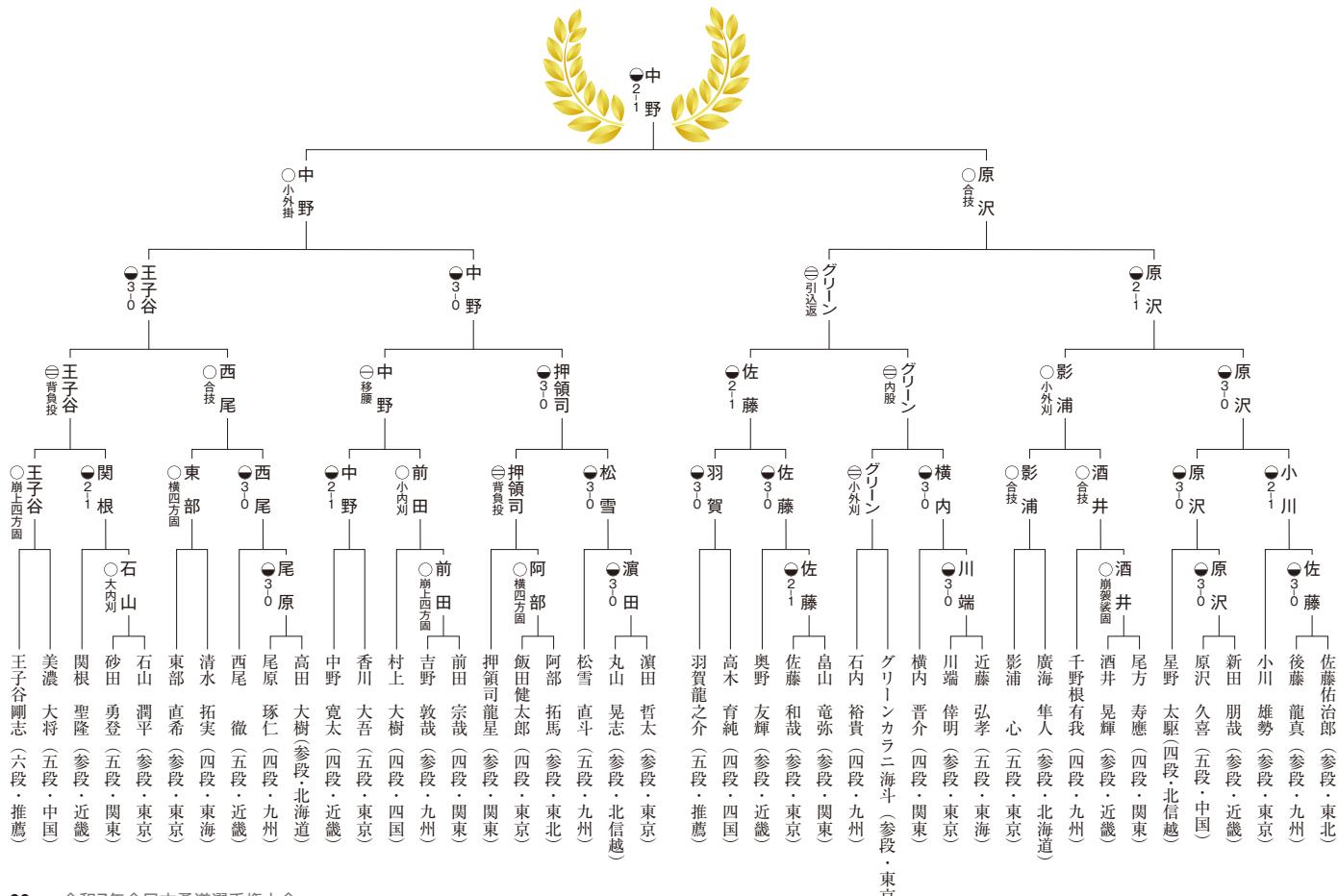
ベスト8の選手たち



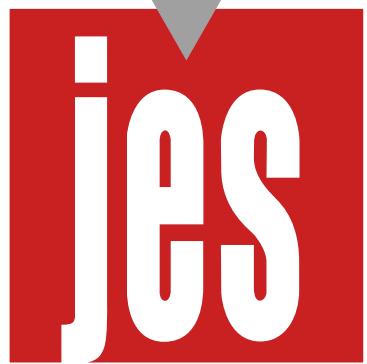
中村真一大会会長から天皇杯を授受する中野寛太



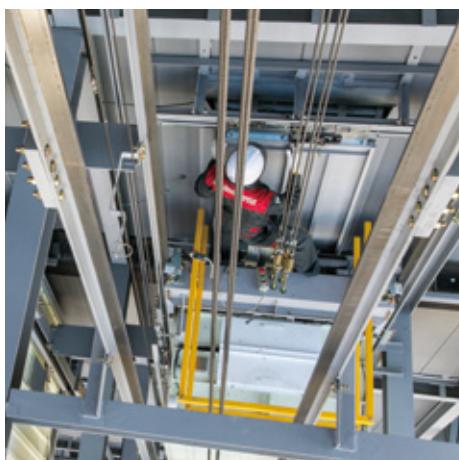
旭化成の同僚たちから胴上げで祝福される初優勝の中野



japan elevator service



何よりも安全のために
見えないからこそ手を抜かない
信頼を礎に



エレベーター等昇降機メンテナンス・リニューアル

エスカレーターメンテナンス

立体駐車場メンテナンス

japan elevator service



japan elevator service

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13東京建物日本橋ビル5階 設立:1994年10月/東証プライム市場(6544) <https://www.jes24.co.jp/>

2025世界選手権 日本代表選手

男子

 <p>60 kg級</p> <p>永山 竜樹 NAGAYAMA Ryuji パーク24(株)</p> <p>1996年4月15日生(29歳) 北海道出身 大成中学→大成高校→東海大学 世界選手権: 2018年, 19年3位 オリンピック: 2024年パリ大会銅メダリスト</p>	 <p>66 kg級</p> <p>阿部 一二三 ABE Hifumi パーク24(株)</p> <p>1997年8月9日生(27歳) 兵庫県出身 神戸生田中学校→神港学園高校→日本体育大学 世界選手権: 2017年, 18年, 22年, 23年優勝, 19年3位 オリンピック: 2021年東京大会、24年パリ大会金メダル</p>	 <p>66 kg級</p> <p>武岡 毅 TAKEOKA Takeshi パーク24(株)</p> <p>1999年6月5日生(25歳) 大阪府出身 興本扇学園中学→足立学園高校→國學院大学 世界選手権: 2024年2位</p>
 <p>73 kg級</p> <p>石原 樹 ISHIHARA Tatsuki ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)</p> <p>2001年6月26日生(23歳) 群馬県出身 宝泉中学→前橋商業高校→日本体育大学 世界選手権: 2024年2位</p>	 <p>81 kg級</p> <p>永瀬 貴規 NAGASE Takanori 旭化成(株)</p> <p>1993年10月14日生(31歳) 長崎県出身 長崎大学教養学部付属中学→長崎日大高校→筑波大学 世界選手権: 2015年優勝, 22年, 23年3位 オリンピック: 2016年リオ大会銅メダル, 21年東京大会, 24年パリ大会金メダル</p>	 <p>90 kg級</p> <p>村尾三四郎 MURAO Sanshiro ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)</p> <p>2000年8月28日生(24歳) アメリカ出身 姫路灘中学校→桐蔭学園高校→東海大学 世界選手権: 2023年3位 オリンピック: 2024年パリ大会2位</p>
 <p>90 kg級</p> <p>田嶋 剛希 TAJIMA Gouki パーク24(株)</p> <p>1997年7月27日生(27歳) 千葉県出身 国士館中学→国士館高校→筑波大学 世界選手権: 2024年優勝</p>	 <p>100 kg級</p> <p>新井 道大 ARAI Douta 東海大3年</p> <p>2005年1月29日生(20歳) 埼玉県出身 埼玉栄中学→埼玉栄高校 世界選手権: 2024年3位</p>	 <p>100 kg級</p> <p>太田 彪雅 OTA Hyoga 旭化成(株)</p> <p>1997年12月9日生(27歳) 栃木県出身 足利第一中学→白鷗大足利高校→東海大学</p>

団体戦代表

 <p>73kg以下</p> <p>田中 裕大 TANAKA Yudai パーク24(株)</p> <p>2001年12月29日生(23歳) 千葉県出身 轟町中学→大牟田高校→国士館大学</p>	 <p>90kg超</p> <p>中野 寛太 NAKANO Kanta 旭化成(株)</p> <p>2000年9月30日生(24歳) 奈良県出身 天理中学→天理高校→天理大学</p>
--	---

ブダペスト大会

6/13-20

6月13日(金)から20日(木)まで(20日は男女混合団体戦)、ハンガリーのブダペストで開催される2025年世界柔道選手権大会。パリオリンピック後初の世界選手権となる今大会には、世界中から2028年ロスオリンピック

を目指す強豪たちが集結します。日本から出場する選手は、パリオリンピックのメダリストもいれば、今回が世界初挑戦となる新銃もいます。代表選手たちに、ぜひ熱い声援をお願いします!

女子



48
kg級

古賀 若菜

KOGA Wakana
JR東日本

2001年6月28日生(23歳) 福岡県出身
田主丸中学→南筑高校→山梨学院大学
世界選手権: 2021年2位, 23年3位



52
kg級

阿部 詩

ABE Uta
パーク24株

2000年7月14日生(24歳) 兵庫県出身
夙川学院中学→夙川学院高校→日本体育大学
世界選手権: 2018年, 19年, 22年, 23年優勝
オリンピック: 2021年東京大会金メダル



52
kg級

大森 生純

OMORI Kisumi
JR東日本

2000年11月28日生(24歳) 大阪府出身
高槻第七中学→帝京高校→帝京大学



57
kg級

玉置 桃

TAMAOKI Momo
三井住友海上火災保険株

1994年9月16日生(30歳) 北海道出身
岩見沢市立光陵中学→藤村女子高校
世界選手権: 2021年2位, 24年3位



63
kg級

嘉重春樺

KAJU Haruka
株ブイ・テクノロジー

2000年2月26日(25歳) 徳島県出身
藍住中学→東大阪敬愛高校→環太平洋大学



70
kg級

田中 志歩

TANAKA Shiho
JR東日本

1998年6月29日生(26歳) 山口県出身
高川学園中学→聖光高校→環太平洋大学
世界選手権: 2024年3位



78
kg級

池田 紅

IKEDA Kurena
コマツ

2002年11月17日生(22歳) 東京都出身
藤村女子中学→藤村女子高校→東海大学



78
kg超級

新井 万央

ARAI Mao
日本体育大4年

2003年5月23日生(21歳) 東京都出身
東松山北中学→埼玉栄高校



78
kg超級

高橋 瑠璃

TAKAHASHI Ruri
SBC湘南美容クリニック

2000年7月13日生(24歳) 宮崎県出身
帝京中学→帝京高校→山梨学院大学



渕田 萌生

FUCHIDA Megumi
自衛隊体育学校

2000年7月7日生(24歳) 石川県出身
北辰中学→津端高校→山梨学院大学



本田 万結

HONDA Mayu
東海大3年

2004年10月7日(20歳) 兵庫県出身
二見中学→比叡山高校→東海大学

団体戦代表

年間スポンサー一覧

Times

PARK24 GROUP

MIZUNO

Knt

近畿日本ツーリスト



東洋水産

SEIKO

KOMATSU

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP



JAL

POCARI SWEAT

JR東日本

 **シミズオクト**

大和証券
グループ

 **V-TECHNOLOGY**



airweave



羽田タートルサービス(株)

AsahiKASEI

日本エースサポート
仁寿会

 **japan elevator service**
ジャパンエレベーターサービスグループ

 **センコー**

COUNTRY

 **ALSOK**
ALways Security OK

 **NIPPON EXPRESS**
日本通運株式会社

TPR


豆蔵
MAMEZOU
K2TOP HOLDINGS

 **伊藤超短波**

 **KUSAKURA**

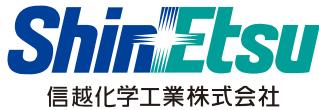
 **BESTERRA**
搬することを、美しく。ベステラ

 **寿山**

JR九州

私たちは全日本柔道連盟を応援しています

特別賛助会員一覧



信越化学工業株式会社



双日株式会社



匿名1社

2025年3月10日現在 五十音順

賛助会員一覧(法人・団体)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

ニッセイ保険エージェンシー株式会社

株式会社タナチヨー

日本中央競馬会

公益社団法人愛知県柔道整復師会

公益社団法人青森県柔道整復師会

EBAテック株式会社

有限会社伊志嶺商会

ACSジャパン株式会社

SISビジョン株式会社

公益社団法人大阪府柔道整復師会

株式会社オオヤギ

公益社団法人香川県柔道整復師会

公益社団法人神奈川県柔道整復師会

神奈川県柔道連盟 警察地区

川崎市柔道協会

公益社団法人岐阜県柔道整復師会

京葉ガス株式会社

健心館畠中道場

医療法人光仁会 光仁会病院

宗教法人 高念寺

光文堂株式会社

株式会社光陽社

興和ティムス株式会社

興和ビルメンテナンス株式会社

公益社団法人埼玉県柔道整復師会

有限会社サハスネット

三荘企業株式会社

株式会社三友社

公益社団法人静岡県柔道整復師会

湘南地区柔道協会

鈴木レディースクリニック

関彰商事株式会社

公益財団法人全国高等学校体育連盟柔道専門部

株式会社ゾーケン

株式会社大興

医療法人社団高橋胃腸科内科医院

公益社団法人千葉県柔道整復師会

株式会社ディーウェイスペース

学校法人東海大学 望星学塾

東京広告株式会社

医療法人積心会 富沢病院

株式会社東洋マーシャルアーツ・ディストリビューション

公益社団法人徳島県柔道整復師会

公益財団法人戸高育英会

公益社団法人栃木県柔道整復師会

公益社団法人長野県柔道整復師会

公益社団法人新潟県柔道整復師会

株式会社西鐵工所

日鉄鋼板株式会社

日鉄建材株式会社

日鉄バイブルайн&エンジニアリング株式会社

公益社団法人日本柔道整復師会

学校法人花田学園 日本柔道整復専門学校

公益財団法人日本中学校体育連盟柔道競技部

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

株式会社ピックパン

医療法人社団白毫会

公益社団法人広島県柔道整復師会

公益社団法人福岡県柔道整復師会

株式会社フジテレビジョン

株式会社不動テトラ

株式会社ブレイズ・ネットワーク

公益社団法人北海道柔道整復師会

公益社団法人宮城県柔道整復師会

公益社団法人山口県柔道整復師会

横須賀地区柔道協会

匿名10社

敬称略、五十音順

2024年11月1日現在

子どもたちの明日を育てるために

賛助会員募集

嘉納治五郎師範が終生取り組まれた、礼節を重んじ、柔道を通じた人づくり。柔道で培った逞しさと品性、知性といった精神性を併せ持つ、りっぱな青年をつくりあげて社会に送り出すことを目指しておられました。本連盟では、この原点に立ち返り、青少年の育成に取り組んでおります。賛助会員制度とは、みなさまから賜りましたご支援をそのために活用させていただく制度です。柔道を愛するみなさまの深いご理解とご賛同をお待ちしております。

年会費

法人・団体会員 **1□ 50,000円**

個人会員 **1□ 5,000円**



<法人・団体会員>

入会方法

ご入会は連盟ホームページ <http://www.judo.or.jp> をご確認のうえ、下記の方法でお申込みください。

(1) WEBフォーム 右記QRコードを読み取ってお申込みいただけます。

(2) FAX 03-3812-3995

(3) 郵送 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館本館5階
公益財団法人全日本柔道連盟 企画課宛



<個人会員>

会員資格 有効期限

入金日が所属する年度の4月1日から翌年3月31日まで
ただし、1月1日から3月31日までの期間に入金した場合には、翌年度の会員資格を得ます。

会員種別

お申込み口数により賛助会員の種別が異なります。

ゴールド会員：10□以上

シルバー会員：5～9□

ブロンズ会員：1～4□

特典

会員種別に応じた特典を設けさせていただいております。

資格を得た時点から遡って特典を受けることはできません。

	法人会員			個人会員		
	ゴールド	シルバー	ブロンズ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
連盟ホームページ・各種紙面への氏名掲載	任意	任意	任意	任意	任意	任意
広報誌「まいんど」送付(年4回)	●	●	●	●	●	●
記念色紙	3枚	3枚	2枚	2枚	1枚	—
柔道手帳	2冊	2冊	1冊	2冊	2冊	1冊
新年会・壮行式へのご招待	●	—	—	—	—	—
各種大会へのご招待						
全日本選抜体重別選手権大会	—	—	—	—	—	—
皇后盃全日本女子選手権大会	指定席10枚	指定席6枚	指定席2枚	指定席4枚	指定席2枚	指定席1枚
全日本選手権大会	1F指定席4枚	1F指定席2枚	自由席2枚	指定席2枚	自由席2枚	自由席1枚
講道館杯全日本体重別選手権大会	自由席 1□毎に各日2枚(上限各日10枚)			自由席4枚	自由席2枚	—
グランドスラム東京	自由席 1□毎に各日2枚(上限各日10枚)			自由席4枚	自由席2枚	—

※各種大会へのご招待につきましては、社会情勢等により変更になる場合がございますのでご了承ください。

講道館公式YouTubeチャンネル



- すべての技の動画が無料でご覧いただけます。
- 安全な指導法、名選手・指導者の技動画も好評更新中。

試合の決まり技の確認や稽古にご活用ください!

チャンネル登録
お願いします

The screenshot shows the KODOKAN YouTube channel page. At the top, there's a large banner with the KODOKAN logo. Below it, the channel name 'KODOKAN' is displayed along with a red and white flower icon. The channel has 14.3 million subscribers and 229 videos. A message encourages users to subscribe. Below the channel info, there are tabs for '新しい順' (Newest), '人気の動画' (Popular), and '古い順' (Oldest). Four video thumbnails are shown:

- NAGE-NO-KATA**: 令和7年講道館鏡開式 捜の形 / Kodokan Kagami Biraki ceremony 2025 Nage-no-Kata (6:57)
- 講道館鏡開式**: 講道館鏡開式ダイジェスト / Kodokan Kagami Biraki Ceremony 2025... (8:50)
- KATO Hirotaka 5th dan Katame-waza**: 加藤博剛②「固技」 / KATO Hirotaka②「Katame-waza」 (26:01)
- 講道館 KODOKAN**: 令和7年講道館鏡開式 YouTube Live (3:39)

Below the thumbnails, there are descriptions and view counts:

- 令和7年講道館鏡開式 捜の形 / Kodokan Kagami Biraki ceremony 2025 Nage-no-Kata: 1.2万回視聴・6日前
- 講道館鏡開式ダイジェスト / Kodokan Kagami Biraki Ceremony 2025...: 3329回視聴・2週間前
- 加藤博剛②「固技」 / KATO Hirotaka②「Katame-waza」: 2.3万回視聴・3ヶ月前
- 【告知】令和7年講道館鏡開式 LIVE配信 / 【Info】Live streaming Kodokan Kagami...: 2720回視聴・3ヶ月前

講道館ホームページ

本大会に関する情報も掲載中!

- 大会概要
- 地区予選結果
- 組み合わせ
- チケット情報
- 全日本柔道選手権大会とは

URL <https://kdkjudo.org/>

講道館の機関誌『柔道』



1898(明治31)年10月創刊以来、
柔道界の正確な記録と
指導者の教養作りを
担ってまいりました。
『故きを温ねて新しきを知る』ために、
ぜひご活用ください。

雑誌『柔道』購読

全国の主要な書店で購入するか、講道館編輯部へ直接お申し込みください。
定価 590円(税込)
※お申し込み
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館編輯部
Tel.03-3818-4191 / Fax.03-3811-5765



好立地、アクセス抜群! 講道館の宿泊施設を ぜひご利用ください!!



東京の中心・水道橋という好立地にある
講道館国際柔道センター新館3階の宿泊施設は
館員であればどなたでも利用可能です。
講道館での合宿等はもちろん、
プライベート、ビジネス利用を問わず、
都内へお越しの際にはぜひご利用ください。



大部屋



シンガルルームの洗面台



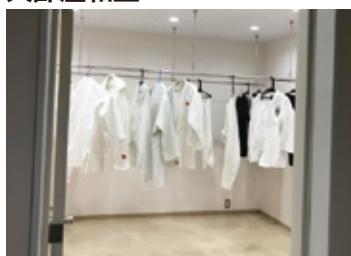
特別シンガルルーム



特別ツインルーム



大部屋和室



乾燥室

■料金表		※税込価格	
大部屋(12人部屋) : 和室 1、2段ベッド部屋 4	5部屋 (内1部屋は女子専用)	1名1泊	4,400円
シンガルルーム	16部屋	1名1泊	7,700円
特別シンガルルーム (バス・トイレ付)	4部屋	1名1泊	9,900円
特別ツインルーム (バス・トイレ付)	2部屋	1室1泊	16,500円
ソファーベッドご利用料金 (シンガルルーム、特別シンガルルーム、 特別ツインルームでご利用いただけます)		1名1泊	4,400円

※2025年6月1日より料金を改定させていただきます。

お問い合わせ

(公財)講道館 総務部 Tel.03-3811-7155 Fax.03-3818-3614

※キャンセルポリシー

- 31日前まで : 10%
- 30日前から : 30%
- 14日前から : 50%
- 7日前から : 80%
- 当日 : 100%

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”的な振舞いのことです。指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



柔道界から 暴力・パワハラ・セクハラ をなくそう!



(公益財団法人)全日本柔道連盟 コンプライアンス委員会

これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることがなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問い合わせに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的にし、「自分自身にも起こりうること」として考えができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶことも多くあります。「勝敗」以外にも大事なものがあることを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとっても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思ってはいけません

3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう

柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「M 礼節」と「I 自立」の相互作用により正々堂々とした「N 高潔」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり「D 品格」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



実践！グッドコーチング
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～
PHP 研究所



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「精力善用」（善を目的に心身の力を最も有効に使用すること）

「自他共栄」（自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること）

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為に有用であるばかりでなく、望ましい社会を作りだすことにも大きく貢献できる要素を持っています。



柔道界における 暴力 パワハラ セクハラ

最近の主な実例

分類

内 容

1 身体への攻撃

暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイッタしても絞め続ける行為も含む)

Q1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないか?

Q2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね?

Q3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか?

事例1 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔面をプラスチック製バットで殴打し、ケガを負わせた。

事例2 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気にいらないと、出場した2名に対して顔面を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。

事例3 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



Answer 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為には必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)

Q1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをすると指導者に叱られる」という緊張感は必要なのではないですか?

Q2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか?

事例1 ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気にくわないと、「死ね」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返し浴びせた(暴力・体罰を伴う)

事例2 ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、「連帯責任」という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。

事例3 ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めて「お前にはしない」と言い放った。



Answer 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考え方で、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉かけや矯正を目的とした言葉かけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てるにつながります。指導者と選手に上下ではなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

2 精神的な攻撃

隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

③ 人間関係からの切り離し

Q1 生意気で指導者の言うことを聞かない選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なではないですか？

Q2 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なではないですか？

事例1 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。

事例2 ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかつた為、選手は孤立した。



Answer 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

Q1 ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですよね？

Q2 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですよね？

事例1 ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過激な練習をさせてるので、生徒や保護者は怪我をしないかとても不安だが、怖くて言ひだせない。

事例2 ある指導者は、なかなか技の要領を覚えない生徒に対していらだちを隠せず、「ろくに柔道の稽古ができるないやつは、グラウンドでも走っている」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。



Answer ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特性等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるような指導を心掛けましょう。

合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

Q1 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですよね？

Q2 ちょっとしたことでケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですよね？

事例1 ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないと、「もう何もしなくていい」「道場の隅で正座でもしてろ」「帰れ」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。

事例2 ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出でていけ」と追い出したきり、その後何のフォローもしなかった。



Answer 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間にも丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。

④ 過大な要求

⑤ 過小な要求

私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私の領域に踏み込む行為

6 プライバシーの侵害

- Q1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知つておく必要があるのではないですか？
- Q2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですよね？

事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー（恋人、家族関係など）に立ち入ってきて、いろいろなことを言ってくるので後輩たちは皆まいっている。

事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせて評判が悪い。



Answer 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詐索することは、ハラスメントとなります（その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ）。また、個人情報を相手の許可なく漏洩することは違法な行為となる場合もあります。「立場を利用して、無意識にプライベートを詐索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えたり、活動環境を悪化させること

- Q1 「胸が大きいな」「ケツでかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですよね？
- Q2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですよね？
- Q3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですよね？

事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。

事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。

事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。

事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びている時を狙って写真を撮ってくる。



Answer セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活、合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触（稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等）が当然のことのように行われている現状があります。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

7 セクシャルハラスメント

生徒間の暴力・指導者/関係者の黙認・指導者の指示による学生間の暴力・私的交流におけるトラブル

- 事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認** – 校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。
- 事例2 パワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観** – 問題行動があった生徒に対し、ある指導者が「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。
- 事例3 指導者の指示による学生間の暴力** – ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。
- 事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル** – 県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが従わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔面を殴る等の暴力を加えた。



Answer 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常に持って指導に当たることが大切です。自身が気を付けるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ることを心掛けましょう。

ご相談の窓口

全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談の窓口」へ進んでください。

都道府県柔道連盟(協会)

都道府県柔道連盟に関するることは、都道府県窓口担当者にご相談ください。

全日本柔道連盟「柔道目安箱」



- **対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- **受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談の窓口」から「柔道目安箱」を選択し、**「投稿フォーム」**に記入してご送付ください。
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- **郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- **メール送付先**：rinri@judo.or.jp

全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- **対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員
※全柔連HPの「ご相談の窓口」から内部通報制度（コンプライアンスホットライン）を選択し、**「受付表」**に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。（メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください）
- **郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807 号
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士 気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- **メール送付先**：akahori@atarashibashi.com
- **郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5 階
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士 気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- **メール送付先**：n.yamada@yamada-ozaki.com

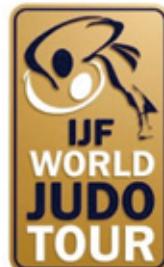
国際柔道連盟（IJF）が運営する「JUDO TV」で
IJFワールド柔道ツアーを楽しもう！

大会のライブ配信、結果速報、選手のプロフィール
などの情報を無料でご覧いただけます。

プレミアム会員でアーカイブ映像や広告なしでの視聴
も可能です。みなさんの応援が選手の力になります！



日本限定のプレミアム会員
割引コードは
全柔連ホームページにて！
(年間100€⇒90€に割引)



▲アカウント登録方法はこちら

2025年度 国内国際大会日程表

2025.4.1 現在

月	日付	国 内 大 会	日付	国 際 大 会
4	5~6	全日本選抜体重別選手権大会（福岡国際センター）		
	20	全日本女子選手権大会（横浜武道館）		
	29	全日本選手権大会（日本武道館）	25~28	アジア選手権大会（タイ）
5	4~5	全国少年大会（講道館）	2~4	グランドスラム ドゥシャンベ（タジキスタン）
	31	全日本形競技大会（講道館）	9~11	グランドスラム カザフスタン（カザフスタン）
6	7~8	全日本実業団体対抗大会（北海道立総合体育センター／北海きたえーる）	13~20	ブダペスト世界選手権大会（ハンガリー）
	28~29	全日本学生優勝大会（日本武道館）	14~15	日本ベテランズ国際大会（鹿児島県／西原商会アリーナ）
7	22~24	金鶯旗高校大会（照葉積水ハウスアリーナ）	23~26	FISU ワールドユニバーシティゲームズ（ドイツ）
			25~27	グランドスラム ウランバートル（モンゴル）
8	3	全日本少年少女武道錬成大会（日本武道館）		
	3	全国高等学校定時制通信制大会（講道館）		
	13~17	インターハイ柔道競技（ジップアリーナ岡山）		
	19~22	全国中学校柔道大会（照葉積水ハウスアリーナ）		
	24	全日本小学生育成プロジェクト（横浜武道館）		
	23~24 (予定)	全日本実業個人選手権大会（尼崎市・ベイコム総合体育館）	27~31	ソフィア世界カデ選手権大会（ブルガリア）
9	2	全国警察選手権大会（日本武道館）		
	6~7	全日本ID（知的障害者）大会（日本文化大学）		
	13~14	全日本ジュニア体重別選手権大会（埼玉県立武道館）		
	21	マルちゃん杯全日本少年大会（東京武道館）		
	27~28	全日本学生体重別選手権大会（日本武道館）		
10	5~7	国民スポーツ大会柔道競技（湖北THGツインアリーナ）	未定	世界ジュニア選手権大会（未定）
	18~19	全日本学生体重別団体優勝大会（尼崎市・ベイコム総合体育館）		
	20	全国警察大会（日本武道館）	17~19	グランドスラム アブダビ（UAE）
11	1~2	講道館杯全日本体重別選手権大会（千葉ポートアリーナ）	未定	グランプリ ポルトガル（ポルトガル）
	23	全日本産業別大会（講道館）	14~16	グランプリ ザグレブ（クロアチア）
			16~18	東京デフリンピック柔道競技（東京武道館）
12	13	文武両道杯全国高校大会（講道館）	6~7	グランドスラム 東京（東京体育館）
1				
2	21~22	全日本シニア体重別選手権大会（堺市・大浜だいしんアリーナ）		
3	20~21	柔道マガジン杯全国中学生大会（横浜武道館）		
	27~28	全国高等学校選手権大会（日本武道館）		

大会係員

〈敬称略・順不同〉

◎…主任

○…副主任

総務部	◎郷田 博史	○黒田 正人	○大辻 広文			
総務係	佐久間俊輔					
インフォメーションデスク	上田 晶子	清水ジェイ道行	下山 陽邦			
競技部	◎小池 雅彦	○渡辺 崇	南保 徳双			
進行係	吉田 敏男	福地賢志郎				
時計係	山岸 裕二	高野 真	高橋 靖信	西田 一幸		
記録係	村田 豊	大川 和也	福田美奈子			
放送係	内海 秀一	福島 千紘				
選手係	松岡 圭一	小坂 良行	新井 栄二	関根 喜晴	本田 綾香	田中 嘉朗
	小林 樹青	千品 洋一	田中 泰三	田中このみ		
審判員係	石山 隆英	岩村 衝				
VTR係	村井 晓音	井桁 美優	長澤 朋輝			
大型ビジョン係	鈴木 尊輝	渋谷 海斗	橋上 葵			
式典係	関口 裕喜	多田 美穂	小林 幹佳	佐々木由美	新井 美香	武井 智子
	石川 和幸	岩永 憲門	中村 吉郎			
総務係	渡辺 崇	寺下 浩陽				
	井上登志晴	杉並 伸勉				
広報部	◎大塚 由香					
広報係	時田 瞳	神長倉 咲	仲島 拓志			
動画配信係	今川文也ジャスティン	斎藤 康則				
接遇部	◎山本三四郎	○黒田 正人	○仮屋 力			
受付係	高橋 秀明	増田沙由美	小山 凜雄	若杉 幸司	種谷 亨	
来賓係	○平野 弘幸	○有川 勇貴	石川 和幸			
VIP控室係	倉科 理恵	鈴木 綾子	秋山日向子	新井 胡桃		
食堂係	藤中 拓馬	内藤 純子	櫻井千恵子	篠原 季帆		
会場部	◎長沼 太	○竹村 誠司	渡辺 崇	畠山 洋平	宮本 健司	
場内整理警備係	真境名元司	城地 直輝	シミズオクト			
財務部	◎金子 浩幸					
経理係	三浦 健一	前田 徳重	長谷川 孝	チケットぴあ		
プログラム販売係	○前田 梨衣	笹原 綾香				
雑誌柔道編纂部	◎春日井淳夫	佐藤伸一郎	前川 直也	桐生 習作	鮫島 康太	
医療衛生部	○渡辺 通平	大坪 幸夫				
救護係	○紙谷 武	樋山 尚紀	築瀬 司			
看護師	三浦 理沙					
救護補助係	助川 悟志	古賀 和久	稲川 郁子	寺崎 綾音		



村尾三四郎（ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社） 永山竜樹（SBC湘南美容クリニック） 橋本壯市（パーク24株式会社） 舟久保遙香（三井住友海上火災保険株式会社）
永瀬貴規（旭化成株式会社） 角田夏実（SBC湘南美容クリニック） 阿部一二三（パーク24株式会社）



MIZUNO JUDO

● mizuno.jp ☎ 0120-320-799

※記載価格は消費税抜きのメーカー希望小売価格です



商品の詳細はコチラ



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。



東洋水産は全日本柔道連盟の
オフィシャルサプライヤーです。

東洋水産は、 柔道を応援しています。

1986年より“マルちゃん杯少年柔道大会”を主催。年々規模を拡大し、現在では全国7地区にて開催。

また、2012年からは、全日本柔道連盟のオフィシャルサプライヤーとして、日本柔道の支援を行っています。

